

文京区環境基本計画の改定に係る
基礎調査報告書

資料編

平成 28 年 3 月

文京区環境基本計画の改定に係る基礎調査報告書
資料編

目 次

1. 区民、事業者、団体及び小中学生への意識調査（詳細編）	1
1.1 区民	2
1.1.4 区民の属性	2
1.1.5 環境問題への関心	10
1.1.6 環境問題に配慮した取組の状況	12
1.1.7 あなたが希望する文京区の未来の環境について	37
1.1.8 区民・事業者・団体・行政の役割	41
1.1.9 区に期待する環境施策	53
1.2 事業者（大規模）	55
1.2.4 事業者（大規模）の属性	55
1.2.5 環境問題への関心	59
1.2.6 環境保全の取組の状況	60
1.2.7 貴事業所が希望する文京区の未来の環境について	66
1.2.8 区民・事業者・団体・行政の役割	67
1.2.9 区に期待する環境施策	69
1.3 事業者（中小規模）	71
1.3.4 事業者（中小規模）の属性	71
1.3.5 環境問題への関心	75
1.3.6 環境保全の取組の状況	77
1.3.7 貴事業所が希望する文京区の未来の環境について	98
1.3.8 区民・事業者・団体・行政の役割	100
1.3.9 区に期待する環境施策	102
1.4 団体	104
1.4.4 団体の属性	104
1.4.5 環境問題への関心	107
1.4.6 貴団体の活動内容	108
1.4.7 貴団体が希望する文京区の未来の環境について	109
1.4.8 区民・事業者・団体・行政の役割	110
1.4.9 区に期待する環境施策	112
1.5 小学生	114
1.5.4 小学生の属性	114

1.5.5 環境問題への関心.....	115
1.5.6 知りたい環境問題.....	116
1.5.7 環境問題に配慮した取組の状況.....	118
1.5.8 あなたが希望する文京区の未来の環境について.....	119
1.6 中学生.....	120
1.6.4 中学生の属性.....	120
1.6.5 環境問題への関心.....	121
1.6.6 知りたい環境問題.....	122
1.6.7 環境問題に配慮した取組の状況.....	124
1.6.8 あなたが希望する文京区の未来の環境について.....	125

1. 区民、事業者、団体及び小中学生への意識調査（詳細編）

区民、事業者（大規模、中小規模）、団体及び小中学生のアンケート集計分析結果を以下に示します。単純集計の結果を考察するとともに、質問ごとに年代や住居形態、従業員数規模などの回答との関連性の高いと考えられる属性でクロス集計を実施することで、より詳細な傾向等を抽出しています（表 1 参照）。サンプル数の少ない大規模事業者及び団体と、回答者属性を把握していない小中学生はクロス集計の対象外としています。

なお、集計結果は端数処理の関係により、合計が 100% とならないことがあります。

※ 大規模事業所とは、燃料、熱及び電気の使用量は、原油換算で年間 1,500kl 以上の事業所のこと。

表 1 クロス集計を実施した質問と属性の組み合わせの一覧

対象	質問の種類	属性
区民	環境問題への関心	年齢別
	環境に配慮した取組の状況	年齢別、世帯別
	最も希望する文京区の未来の環境について	年齢別、世帯別
	区民・事業者・団体・行政の役割	年齢別、世帯別
中小規模事業者	環境問題への関心	職業別
	環境に配慮した取組の状況	職業別、建物所有形態別
	最も希望する文京区の未来の環境について	職業別

【結果の見方について】

設問内容及び集計分析結果の説明は、以下に示す記載様式で統一してまとめています。

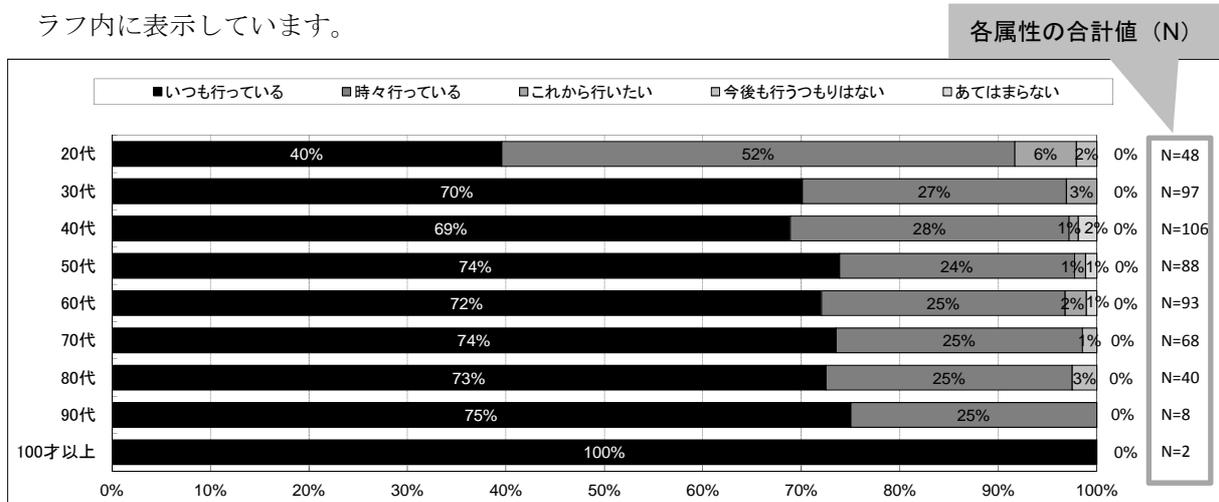
□設問内容（記載イメージ）

あなたは環境問題に関心がありますか。該当する番号に○をつけてください。	
1. とても関心がある	1. とても関心がある
2. 少し関心がある	2. 少し関心がある

□集計分析結果説明（記載イメージ）

「とても関心がある」、「少し関心がある」が平成 8 年度、平成 27 年度ともに 94% 以上となっている。ただし、平成 8 年度と比較すると、「とても関心がある」が 6% 減少しているため、やや関心度が薄れている可能性がある。

クロス集計では、各属性の回答数にばらつきがあるため、参考として各属性の合計値（N）をグラフ内に表示しています。



1.1 区民

1.1.4 区民の属性

(1) 性別

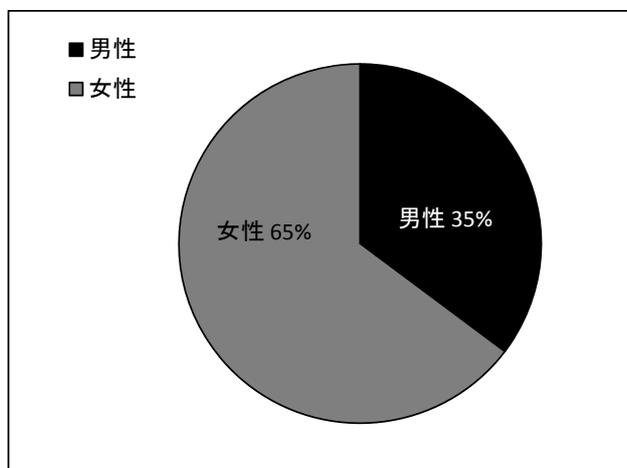


図 1 性別

表 2 性別

	H27 結果 (回答数)	H27 結果 (%)
1. 男性	195	35%
2. 女性	358	65%
計(無回答を除く)	553	-
無回答	2	-

(2) 年代

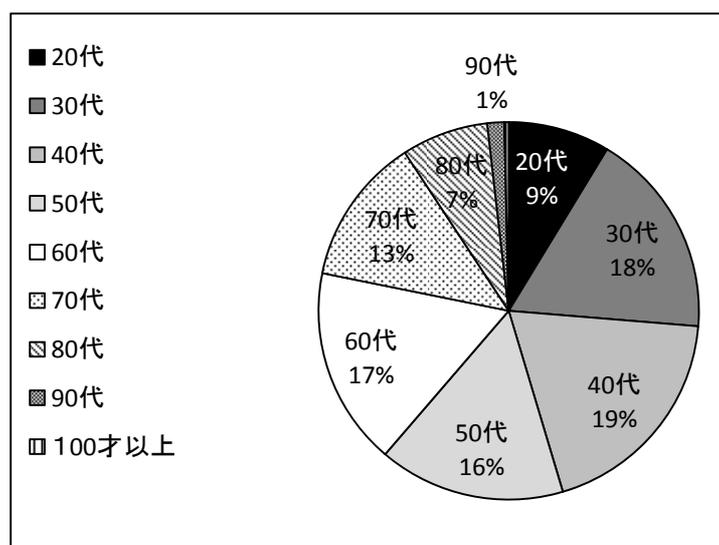


図 2 年齢

表 3 年齢

	H27 結果 (回答数)	H27 結果 (%)
1. 20 代	48	9%
2. 30 代	98	18%
3. 40 代	106	19%
4. 50 代	88	16%
5. 60 代	94	17%
6. 70 代	70	13%
7. 80 代	41	7%
8. 90 代	8	1%
9. 100 才以上	2	0%
計(無回答を除く)	555	-
無回答	0	-

(3) 世帯の人数

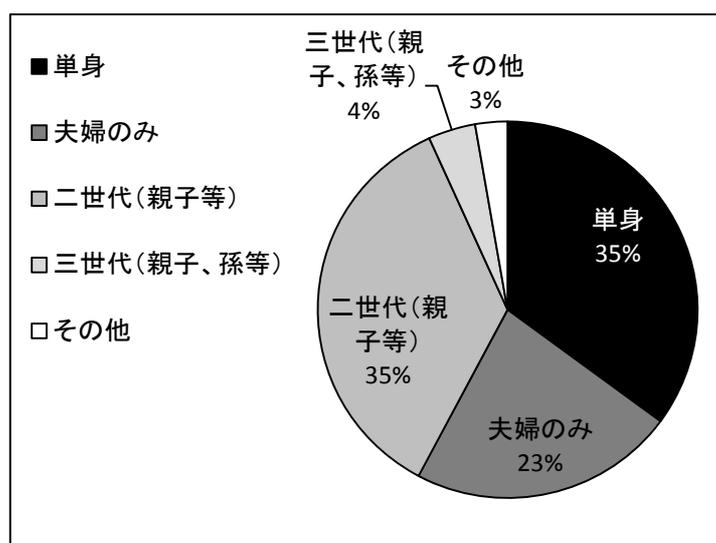


図 3 家族構成

表 4 家族構成

	H27 結果 (回答数)	H27 結果 (%)
1. 単身	192	35%
2. 夫婦のみ	124	23%
3. 二世世代(親子等)	194	35%
4. 三世世代(親子、孫等)	22	4%
5. その他	15	3%
計(無回答を除く)	547	-
無回答	8	-

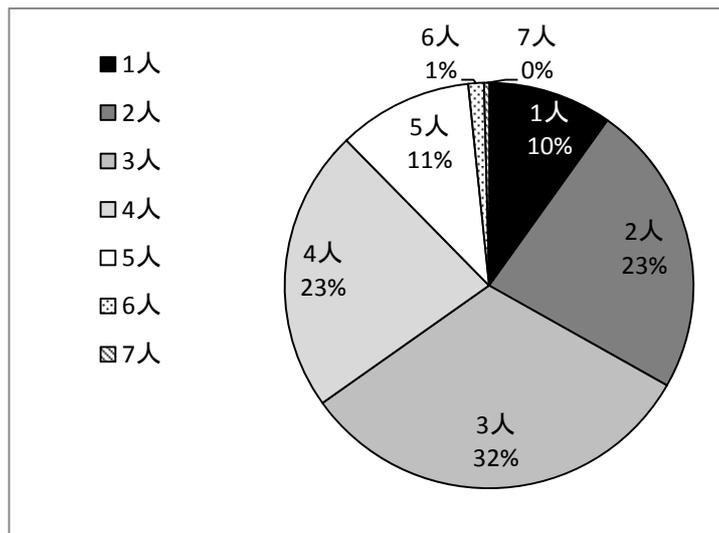


図 4 家族人数

表 5 家族人数

	H27 結果 (回答数)	H27 結果 (%)
1. 1 人	24	10%
2. 2 人	57	23%
3. 3 人	78	32%
4. 4 人	55	23%
5. 5 人	26	11%
6. 6 人	3	1%
7. 7 人	1	0%
計(無回答を除く)	244	-
無回答	311	-

(4) 住居形態

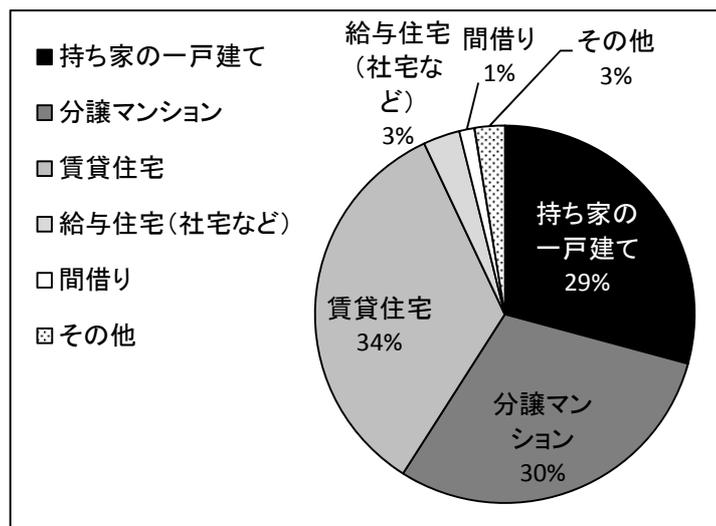


図 5 住居形態

表 6 住居形態

	H27 結果 (回答数)	H27 結果 (%)
1. 持ち家の一戸建て	159	29%
2. 分譲マンション	162	30%
3. 賃貸住宅	185	34%
4. 給与住宅(社宅など)	17	3%
5. 間借り	7	1%
6. その他	14	3%
計(無回答を除く)	544	-
無回答	11	-

(5) 居住地域

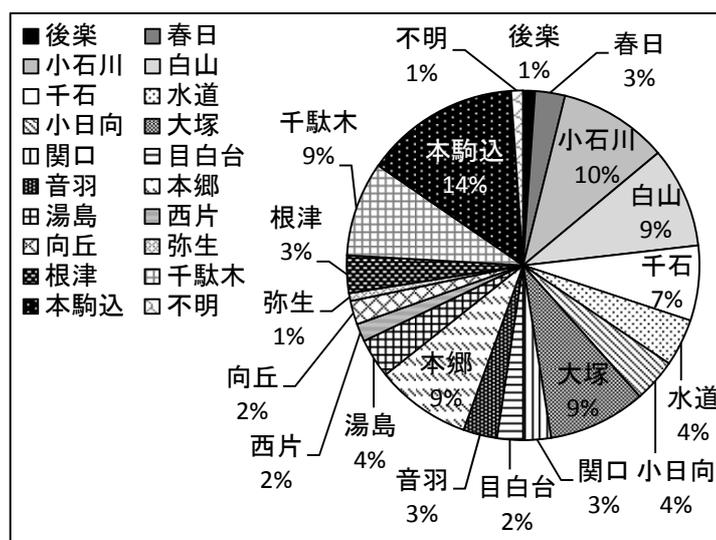


図 6 居住地域

表 7 居住地域

	H27 結果 (回答数)	H27 結果 (%)
1. 後楽	6	1%
2. 春日	15	3%
3. 小石川	55	10%
4. 白山	51	9%
5. 千石	38	7%
6. 水道	24	4%
7. 小日向	22	4%
8. 大塚	49	9%
9. 関口	14	3%
10. 目白台	13	2%
11. 音羽	17	3%
12. 本郷	48	9%
13. 湯島	20	4%
14. 西片	9	2%
15. 向丘	12	2%
16. 弥生	4	1%
17. 根津	19	3%
18. 千駄木	48	9%
19. 本駒込	78	14%
20. 不明	6	1%
計(無回答を除く)	548	-
無回答	7	-

(6) 居住年数

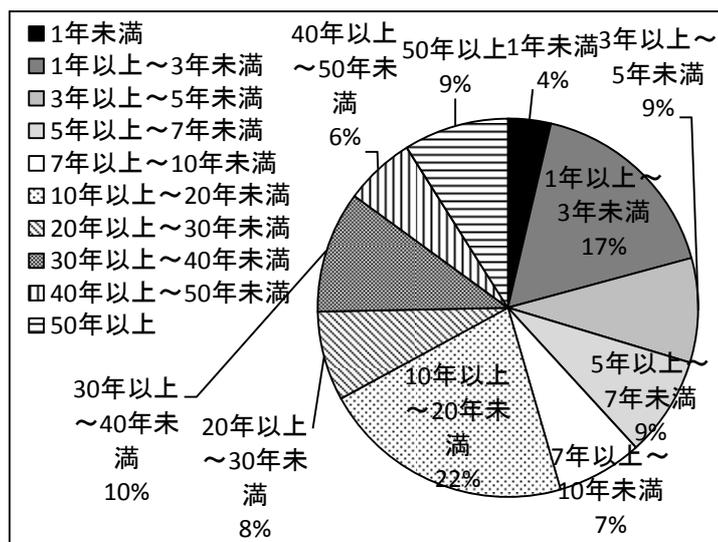


図 7 住居形態

表 8 住居形態

	H27 結果 (回答数)	H27 結果 (%)
1. 1年未満	20	4%
2. 1年以上～3年未満	94	17%
3. 3年以上～5年未満	49	9%
4. 5年以上～7年未満	47	9%
5. 7年以上～10年未満	40	7%
6. 10年以上～20年未満	118	22%
7. 20年以上～30年未満	42	8%
8. 30年以上～40年未満	57	10%
9. 40年以上～50年未満	33	6%
10. 50年以上	49	9%
計(無回答を除く)	549	-
無回答	6	-

(7) 職業

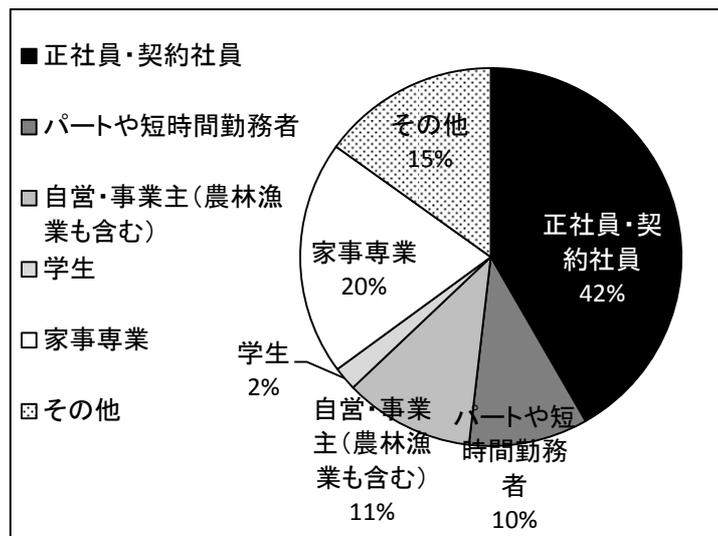


図 8 職業

表 9 職業

	H27 結果 (回答数)	H27 結果 (%)
1. 正社員・契約社員	227	42%
2. パートや短時間勤務者	55	10%
3. 自営・事業主(農林漁業も含む)	60	11%
4. 学生	11	2%
5. 家事専業	109	20%
6. その他	82	15%
計(無回答を除く)	544	-
無回答	11	-

1.1.5 環境問題への関心

あなたは環境問題に関心がありますか。該当する番号に○をつけてください。	
1. とても関心がある	3. あまり関心がない
2. 少し関心がある	4. 全く関心がない

(1) 全体

「とても関心がある」、「少し関心がある」が平成8年度、平成27年度ともに94%以上となっている。ただし、平成8年度と比較すると、「とても関心がある」が6%減少しているため、やや関心度が薄れている可能性がある。

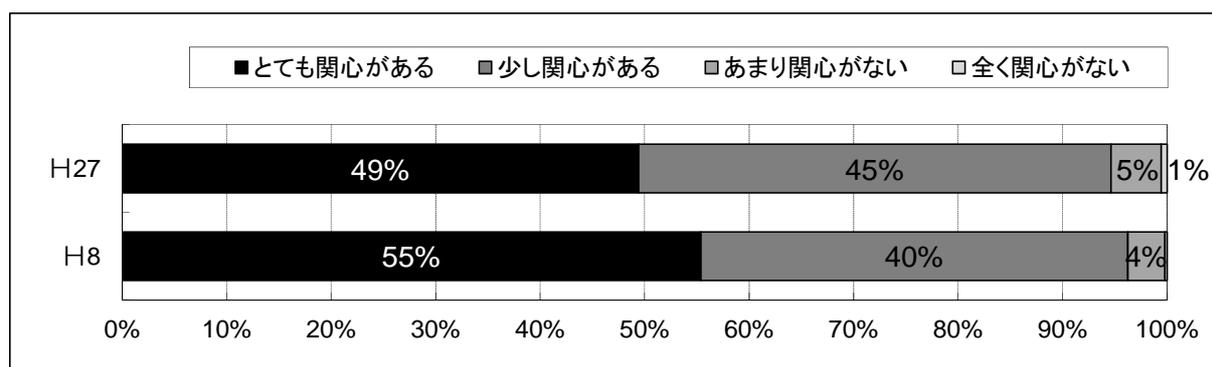


図 9 環境問題への関心

表 10 環境問題への関心

	H27 結果 (回答数)	H27 結果 (%)	H8 結果 (%)
1. とても関心がある	258	49%	55%
2. 少し関心がある	236	45%	40%
3. あまり関心がない	25	5%	4%
4. 全く関心がない	3	1%	0%
計(無回答を除く)	522	-	-
無回答	33	-	-

(2) 年齢別分析 環境問題への関心

いずれの年代においても「とても関心がある」、「少し関心がある」が80%以上と、関心度が高いと言える。

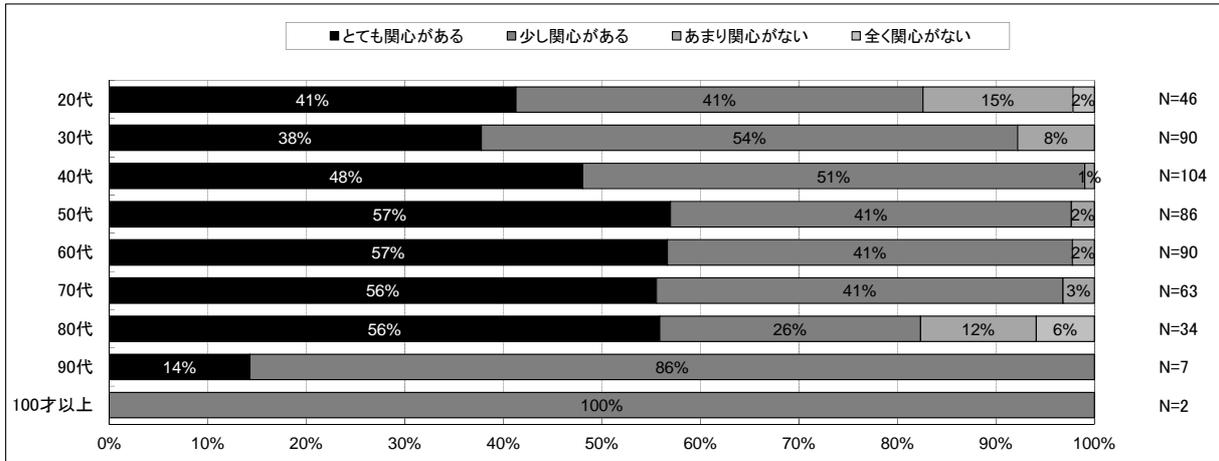


図 10 年齢別分析 環境問題への関心

(3) 世帯別分析 環境問題への関心

いずれの世帯人数においても「とても関心がある」、「少し関心がある」が高い割合を占めている。

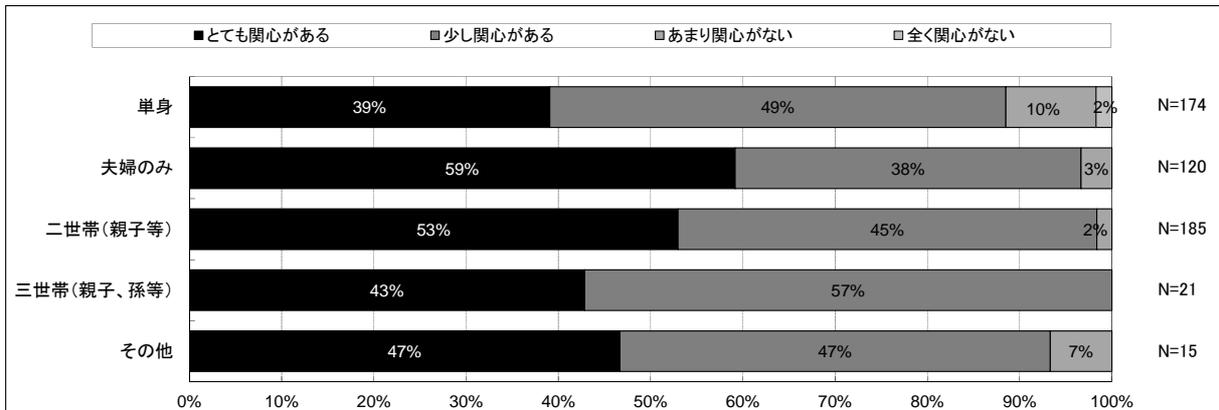


図 11 世帯別分析 環境問題への関心

1.1.6 環境問題に配慮した取組の状況

あなたのご家庭では環境のために、日常生活の中で次のようなことを行っていますか。該当する番号に○をつけてください(行動ごとに○を1つ)。
 質問に該当するものを持っていない場合などは、「あてはまらない」に○をつけてください。
 <例>①3の行動について、自動車を持っていない場合など

1. いつも行っている	3. これから行いたい
2. 時々行っている	4. 今後も行うつもりはない

(1) 全体

1) 省エネルギーに配慮した行動

いずれの行動においても「行っている」割合が80%以上と、比較的高い割合で取組んでいる。

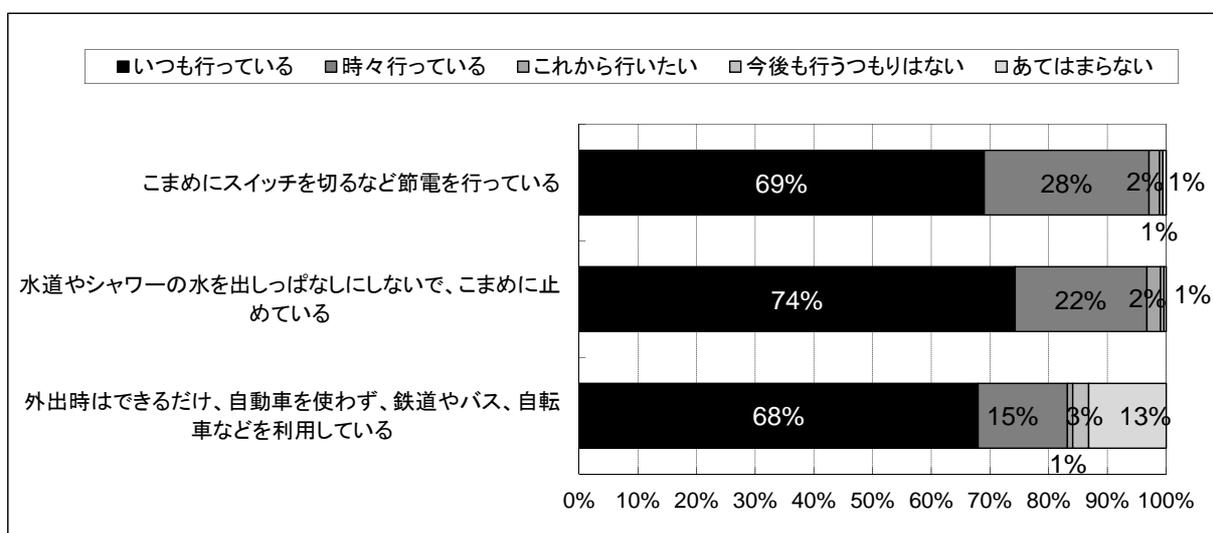


図 12 省エネルギーに配慮した行動について

表 11 省エネルギーに配慮した行動について

	いつも行っている	時々行っている	これから行いたい	今後も行うつもりはない	あてはまらない	計(無回答を除く)
1. こまめにスイッチを切るなど節電を行っている	379	154	10	3	3	549
	69%	28%	2%	1%	1%	-
2. 水道やシャワーの水を出しっぱなしにしないで、こまめに止めている	407	123	13	3	2	548
	74%	22%	2%	1%	0%	-
3. 外出時はできるだけ、自動車を使わず、鉄道やバス、自転車などを利用している	372	83	5	15	72	547
	68%	15%	1%	3%	13%	-

その他

- ・窓ガラスを真空ペアガラスに替えた
- ・LED 電球を入れている
- ・エアコンをなるべく使わず、服で調節
- ・待機電力を減らす。ブレーカーアンペアを下げた
- ・省エネの家庭電化製品を選び購入しています
- ・コンセントタップは節電延長コードを使用し目でわかるようにしている
- ・洗濯は、風呂の残り湯を使用している
- ・エアコンとサーキュレーターを併用

2) 資源の循環利用に配慮した行動

「ごみは分別して捨てている」の割合が、99%と高い割合で取組んでいる。一方で、「びんを洗って再利用したり、フリーマーケットを利用するなど、ものを繰り返し使用している」の割合は、63%と比較的低い割合となっている。

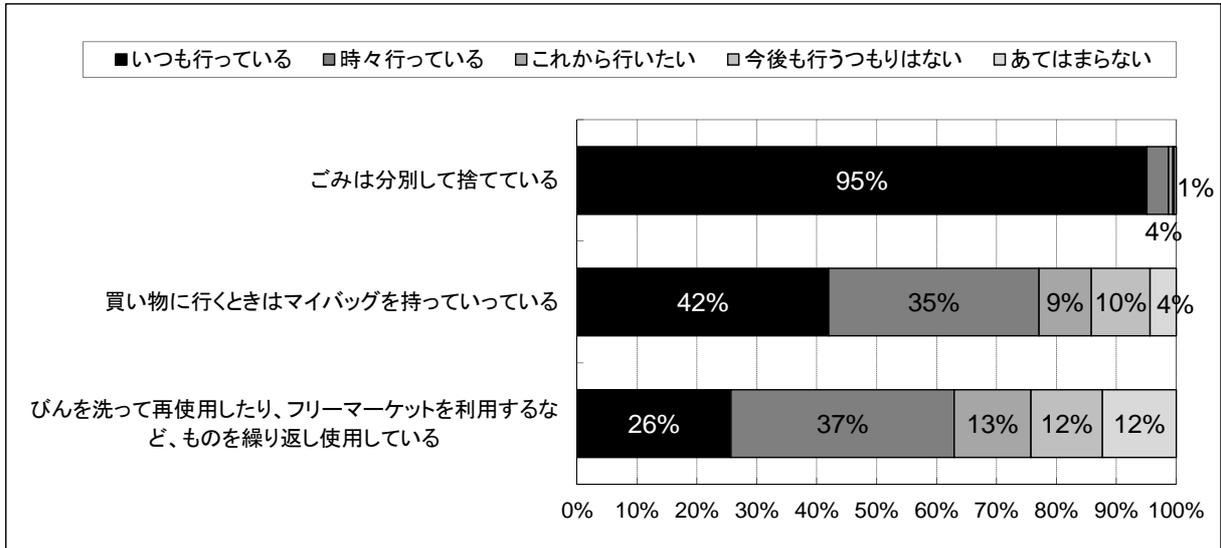


図 13 資源の循環利用に配慮した行動について

表 12 資源の循環利用に配慮した行動について

	いつも行っている	時々行っている	これから行いたい	今後も行うつもりはない	あてはまらない	計(無回答を除く)
1. ごみは分別して捨てている	523	20	4	1	2	550
	95%	4%	1%	0%	0%	-
2. 買い物に行くときはマイバッグを持っていく	231	193	48	54	24	550
	42%	35%	9%	10%	4%	-
3. びんを洗って再利用したり、フリーマーケットを利用するなど、ものを繰り返し使用している	140	203	70	65	67	545
	26%	37%	13%	12%	12%	-

その他

- ・町会の資源回収に協力
- ・割り箸・プラスチック・スプーン等はできる限りもらわない
- ・無駄な物は買わない
- ・裏紙を使っている
- ・洗剤、シャンプーなどは詰め替え用をいつも買う
- ・野菜は茎や皮なども料理に使用
- ・プランターの植え替え時には、野菜クズ、コーヒーを入れたときの粉、落ち葉などで腐葉土をつくっている
- ・皿を洗う前に使い古しの布や紙で汚れを取り除いてから洗う
- ・廃油を石けんにして時々再利用している

3) 自然環境に配慮した行動

「川や水辺との関わりを大切にしている」の割合が 45%と比較的低い割合となっている。

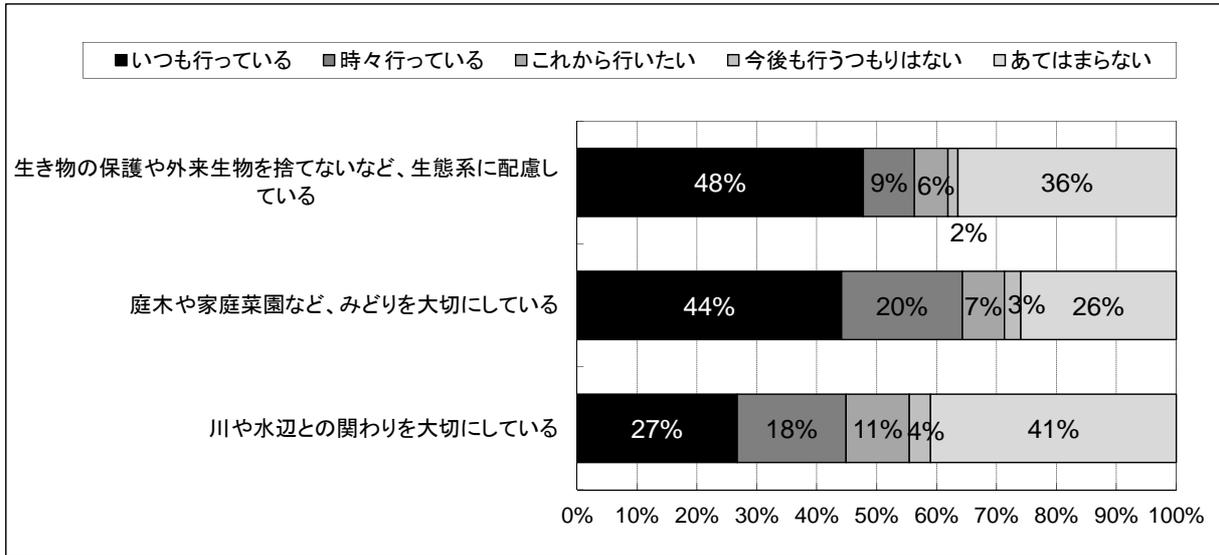


図 14 自然環境に配慮した行動について

表 13 自然環境に配慮した行動について

	いつも行っている	時々行っている	これから行いたい	今後も行うつもりはない	あてはまらない	計(無回答を除く)
1. 生き物の保護や外来生物を捨てないなど、生態系に配慮している	257	46	30	9	196	537
	48%	9%	6%	2%	36%	-
2. 庭木や家庭菜園など、みどりを大切にしている	240	110	38	15	141	544
	44%	20%	7%	3%	26%	-
3. 川や水辺との関わりを大切にしている	144	98	57	19	221	539
	27%	18%	11%	4%	41%	-

その他

- ・家の1部壁面をつたで緑化
- ・街路樹を大切にしています
- ・屋上に芝生を植えて夏のひざしをふせいでいる
- ・庭に木を植え、小鳥を観察している

4) 暮らしの快適・安全に配慮した行動

「音やにおい、排水などで近隣に迷惑をかけないように配慮している」、「気候の変化に伴う健康被害(熱中症など)に気を付けている」の割合が90%以上と比較的高い割合で取り組んでいる。一方、「避難所や災害時でも電気が確保できる場所を確認している」、「自宅周辺の清掃活動を行っている」の割合が40%未満と比較的低い割合となっている。

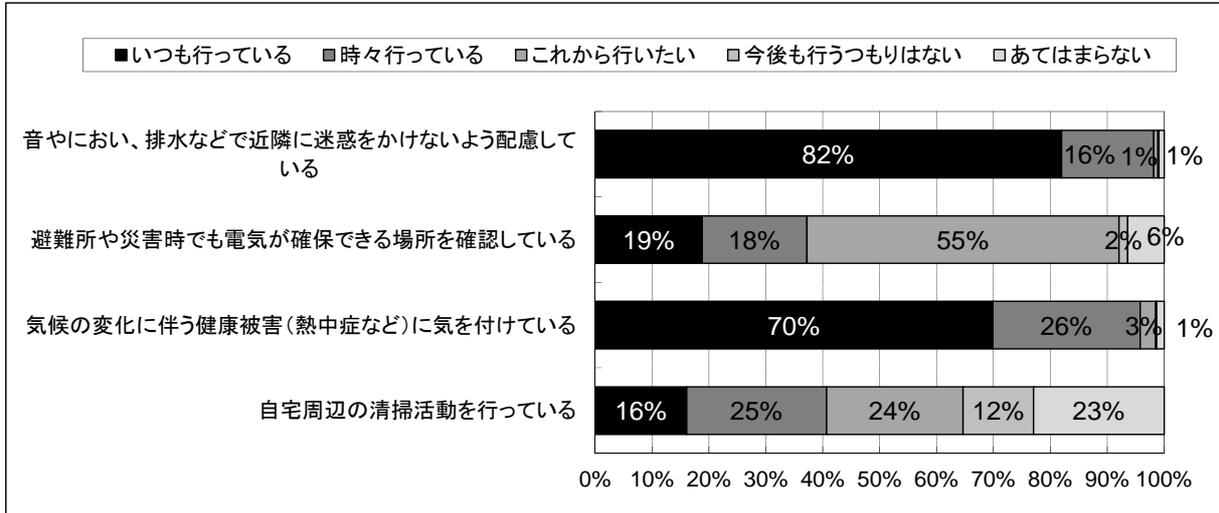


図 15 暮らしの快適・安全に配慮した行動について

表 14 暮らしの快適・安全に配慮した行動について

	いつも行っている	時々行っている	これから行いたい	今後も行うつもりはない	あてはまらない	計(無回答を除く)
1. 音やにおい、排水などで近隣に迷惑をかけないように配慮している	450	89	4	1	5	549
	82%	16%	1%	0%	1%	-
2. 避難所や災害時でも電気が確保できる場所を確認している	100	98	292	8	34	532
	19%	18%	55%	2%	6%	-
3. 気候の変化に伴う健康被害(熱中症など)に気を付けている	383	142	15	1	7	548
	70%	26%	3%	0%	1%	-
4. 自宅周辺の清掃活動を行っている	87	133	130	67	124	541
	16%	25%	24%	12%	23%	-

その他

- ・ 共同住宅の公共スペース清掃
- ・ 水を確保できる場所も確認したい。近くの鼠坂も時々清掃している
- ・ (強風などで) 建物から物が落ちない、飛ばない等気を付けている
- ・ 防災用具、保存食、保存水の準備をしている

5) 地域の歴史や文化に配慮した行動

「地域の歴史・文化に機会があれば接するようになっている」の割合が 66%と比較的高い割合となっているが、「地域の歴史・文化を未来に伝える取組をしている」の割合が 14%と比較的低い割合となっている。

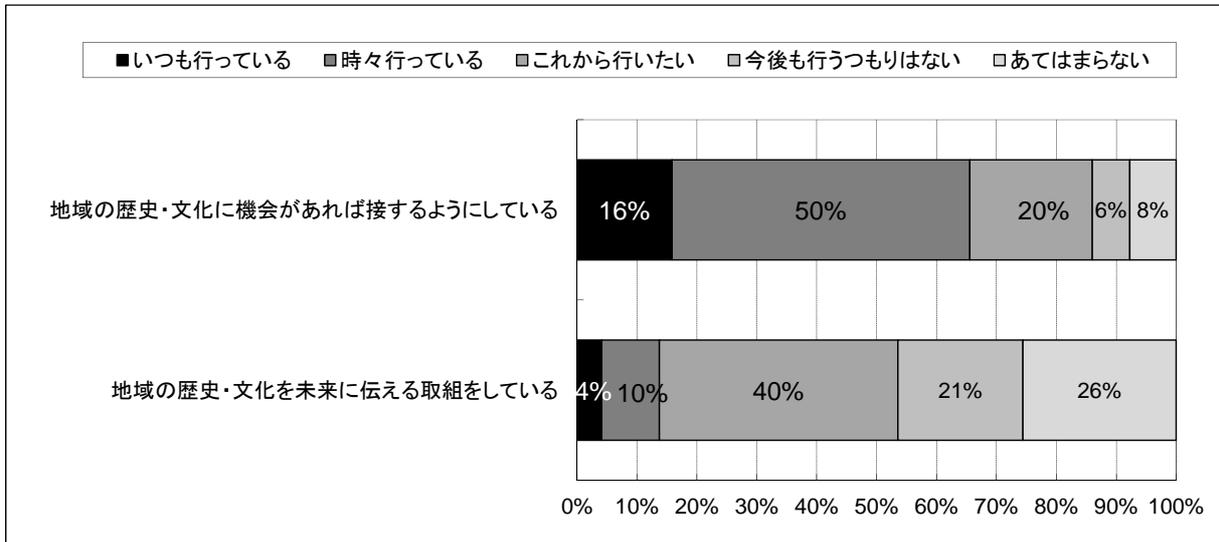


図 16 地域の歴史や文化に配慮した行動について

表 15 地域の歴史や文化に配慮した行動について

	いつも行っている	時々行っている	これから行いたい	今後も行うつもりはない	あてはまらない	計(無回答を除く)
1. 地域の歴史・文化に機会があれば接するようになっている	86	270	111	34	42	543
	16%	50%	20%	6%	8%	-
2. 地域の歴史・文化を未来に伝える取組をしている	22	51	212	111	136	532
	4%	10%	40%	21%	26%	-

その他

- ・祭礼・ラジオ体操などに参加している
- ・子供に史跡を説明
- ・商店街のおまつりやもちつきなど
- ・外国人の友人に歴史ある寺社、公園を案内し説明。古文書、歴史小説を読む
- ・歴史など由来で記された立札を目にして読むことがある

6) 環境に配慮した取組を行うための連携・学習について

「環境問題について学んでいる（本、テレビ番組、講演会、インターネットなど）」の割合が 55%と比較的高い割合となっているが、「環境保全に取り組む団体の活動に協力・参加している」の割合が 14%と比較的低い割合となっている。

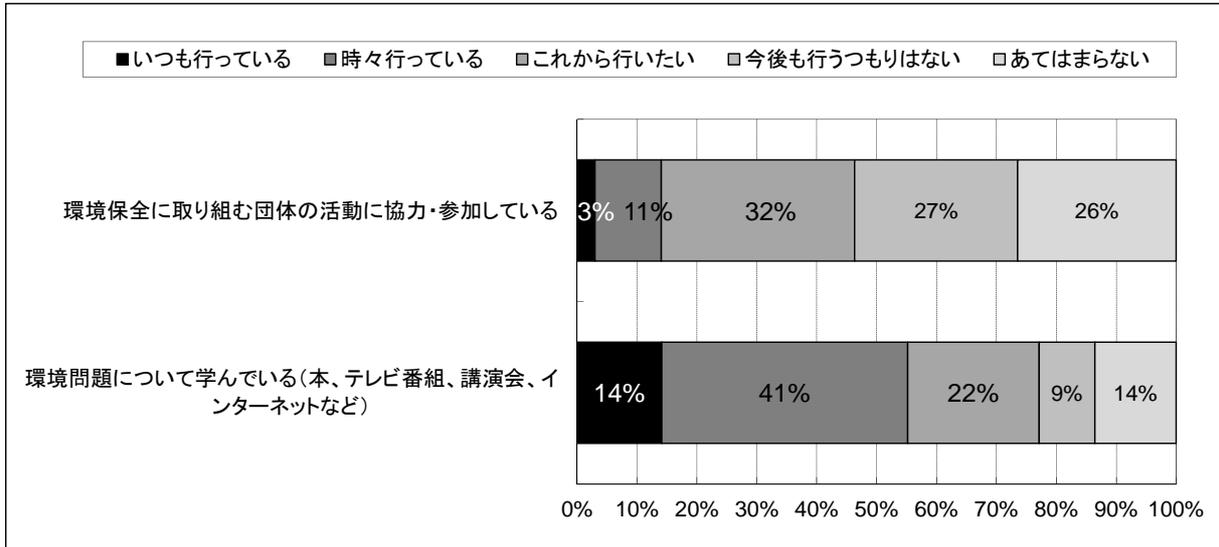


図 17 環境に配慮した取組を行うための連携・学習について

表 16 環境に配慮した取組を行うための連携・学習について

	いつも行っている	時々行っている	これから行いたい	今後も行うつもりはない	あてはまらない	計(無回答を除く)
1. 環境保全に取り組む団体の活動に協力・参加している	16	59	172	145	141	533
	3%	11%	32%	27%	26%	-
2. 環境問題について学んでいる(本、テレビ番組、講演会、インターネットなど)	76	221	118	50	73	538
	14%	41%	22%	9%	14%	-

その他

- ・積極的に行動していないが、メディアを通じて情報や知識を得るのは好きだ
- ・町会行事に参加している
- ・TVで環境問題の番組をみたり、シンポジウムに参加したりする。英語、日本語にかかわらず聞きます。

(2) 年齢別分析

1) 年齢別分析 こまめにスイッチを切るなど節電を行っている

いずれの年代においても、「いつも行っている」、「時々行っている」の割合が 90%以上と高い割合となっている。20代の「いつも行っている」の割合が40%と、他の年代と比較して低くなっている。

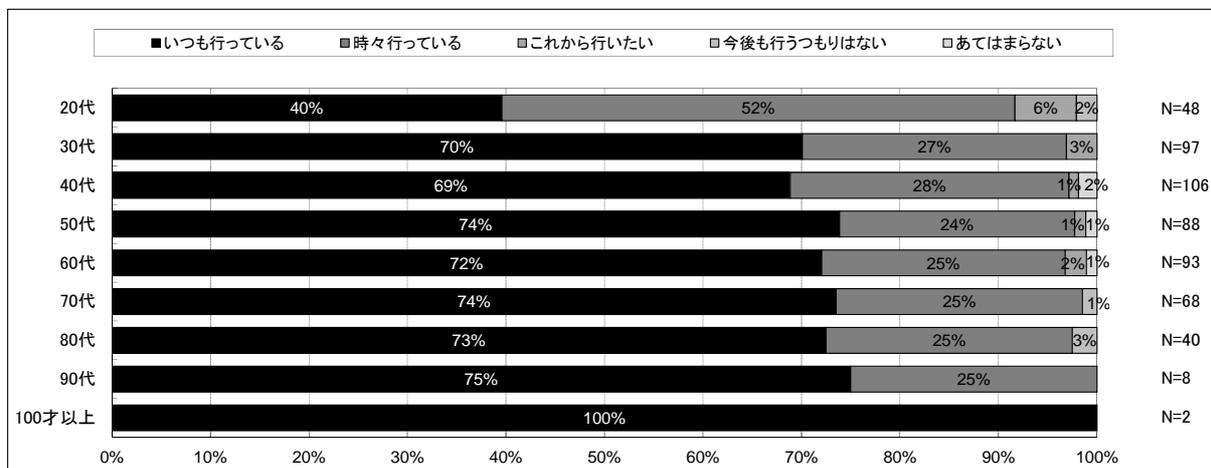


図 18 年齢別分析こまめにスイッチを切るなど節電を行っている

2) 年齢別分析 水道やシャワーの水を出しっぱなしにしないで、こまめに止めている

いずれの年代においても、「いつも行っている」、「時々行っている」の割合が 90%以上と高い割合となっている。

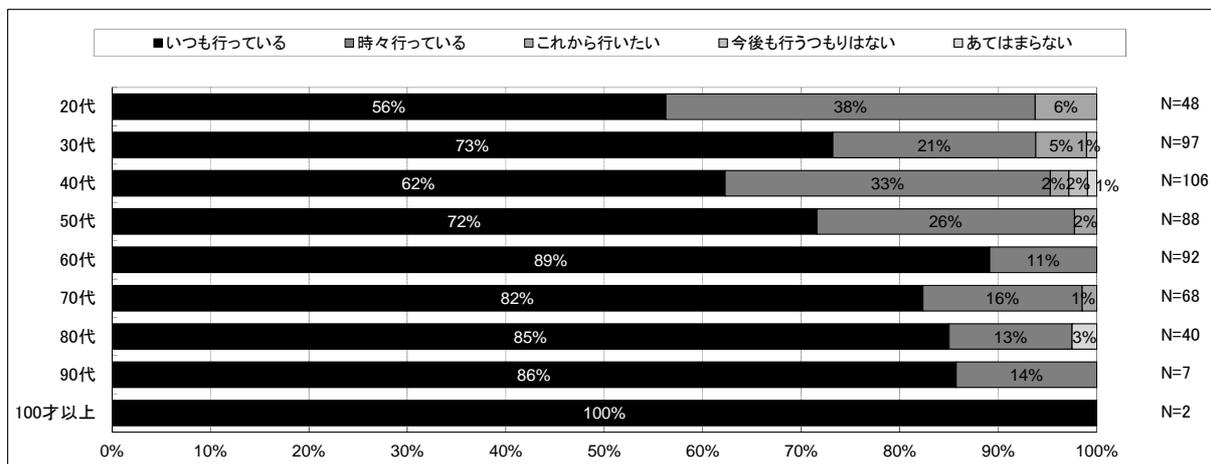


図 19 年齢別分析 水道やシャワーの水を出しっぱなしにしないで、こまめに止めている

3) 年齢別分析 外出時はできるだけ、自動車を使わず、鉄道やバス、自転車などを利用している

年齢別の傾向が見られない。

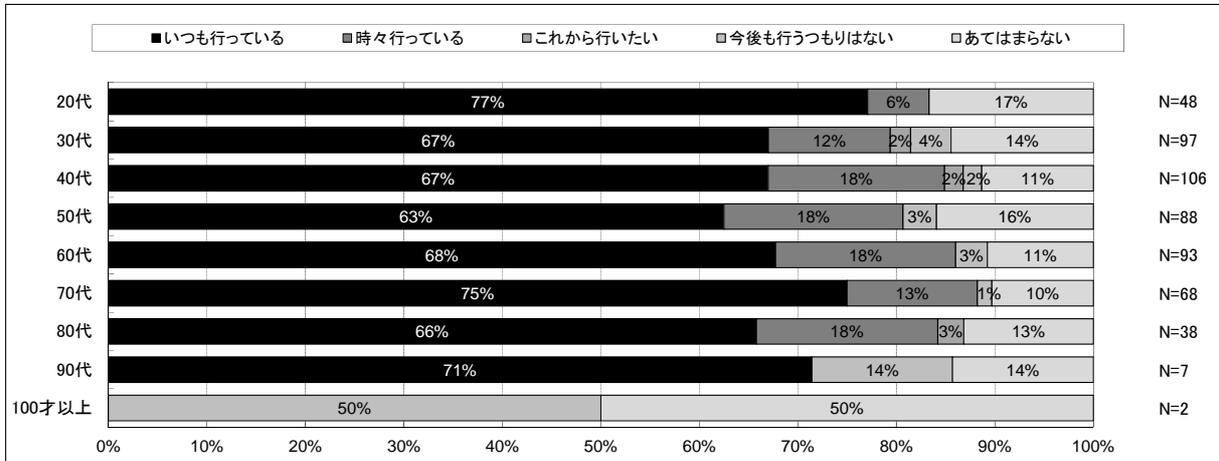


図 20 年齢別分析 外出時はできるだけ、自動車を使わず、鉄道やバス、自転車などを利用している

4) 年齢別分析 ごみは分別して捨てている

いずれの年代においても、「いつも行っている」、「時々行っている」の割合が 97%以上と高い割合となっている。

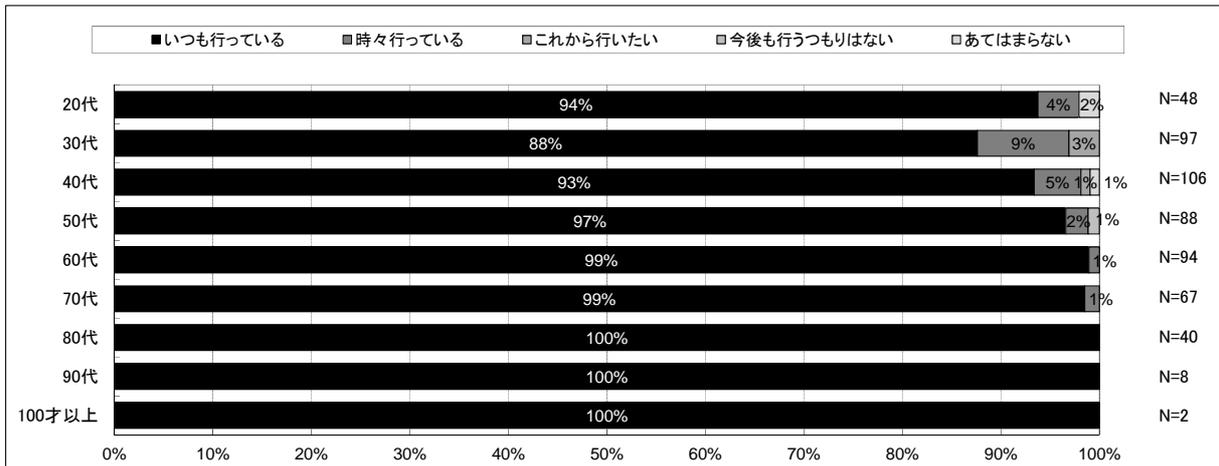


図 21 年齢別分析 ごみは分別して捨てている

5) 年齢別分析 買い物に行くときはマイバッグを持っていつている

おおむね、年代が上がるに従い、「いつも行っている」の割合が高くなる傾向がある。20代の「いつも行っている」、「時々行っている」の割合が56%と、各年代と比較すると実施率は低くなっている。

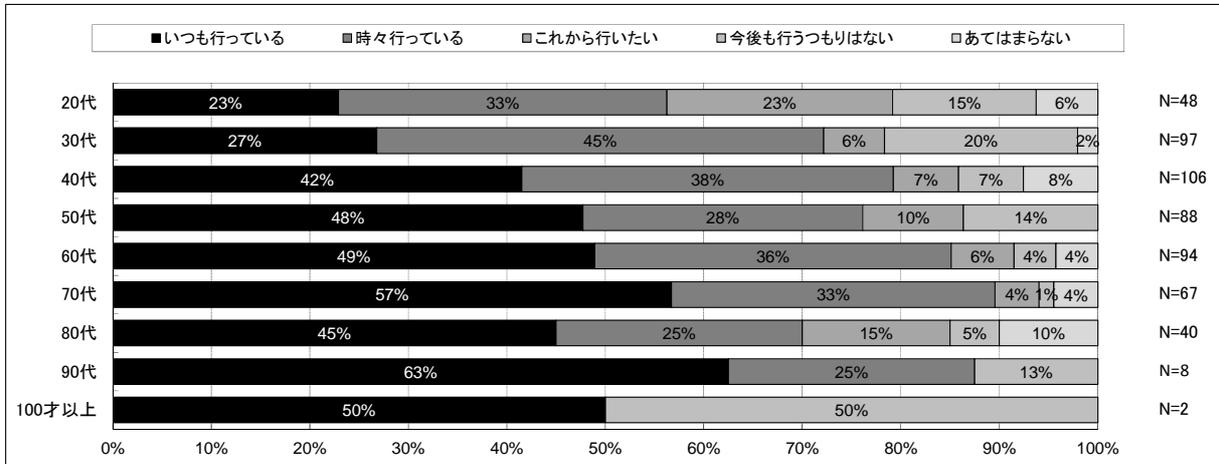


図 22 年齢別分析 買い物に行くときはマイバッグを持っていつている

6) 年齢別分析 びんを洗って再使用したり、フリーマーケットを利用するなど、ものを繰り返し使用している

おおむね、年代が上がるに従い、「いつも行っている」、「時々行っている」の割合が高くなる傾向がある。

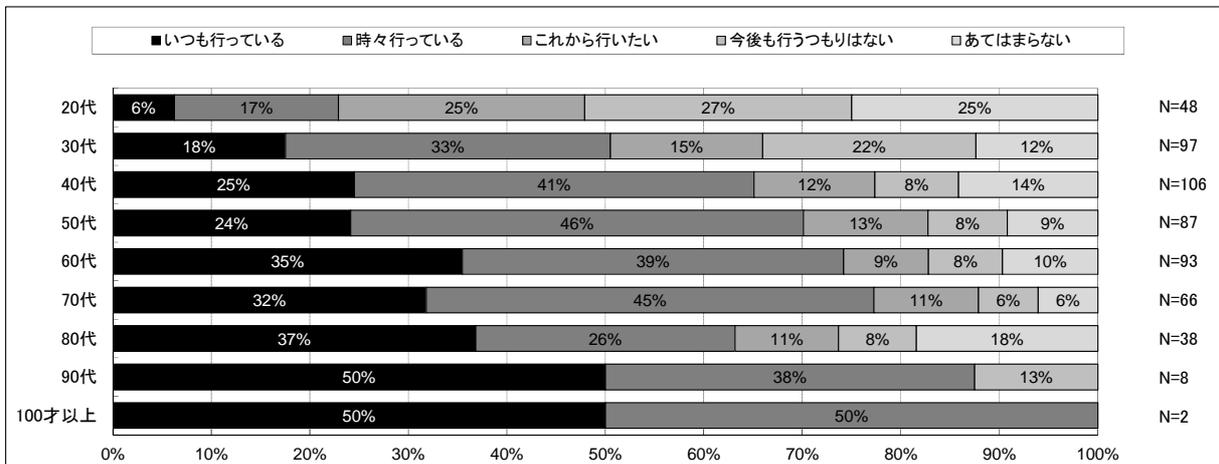


図 23 年齢別分析 びんを洗って再使用したり、フリーマーケットを利用するなど、ものを繰り返し使用している

7) 年齢別分析 生き物の保護や外来生物を捨てないなど、生態系に配慮している

年齢別の傾向が見られない。

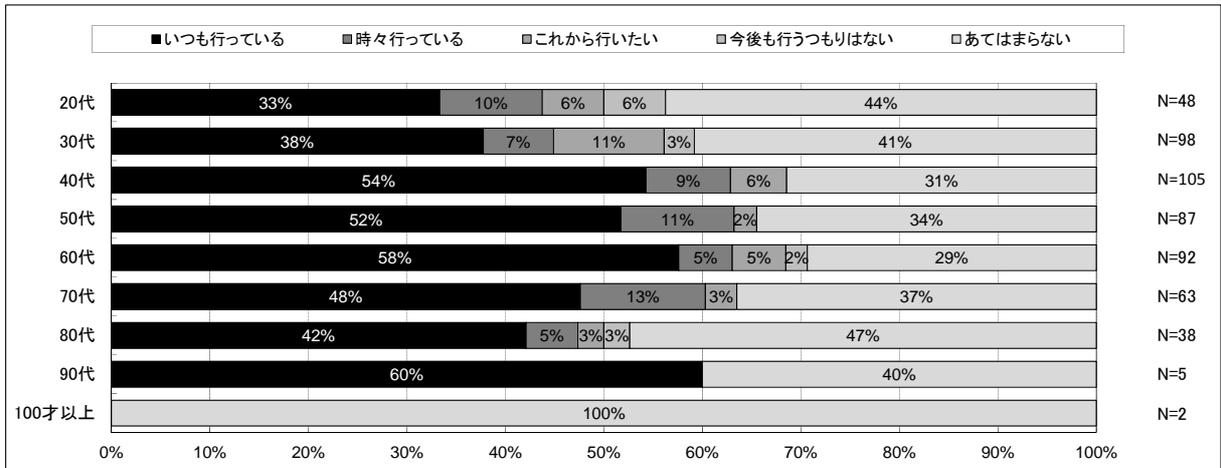


図 24 年齢別分析 生き物の保護や外来生物を捨てないなど、生態系に配慮している

8) 年齢別分析 庭木や家庭菜園など、みどりを大切にしている

60代以上は「いつも行っている」の割合が50%以上となっている。

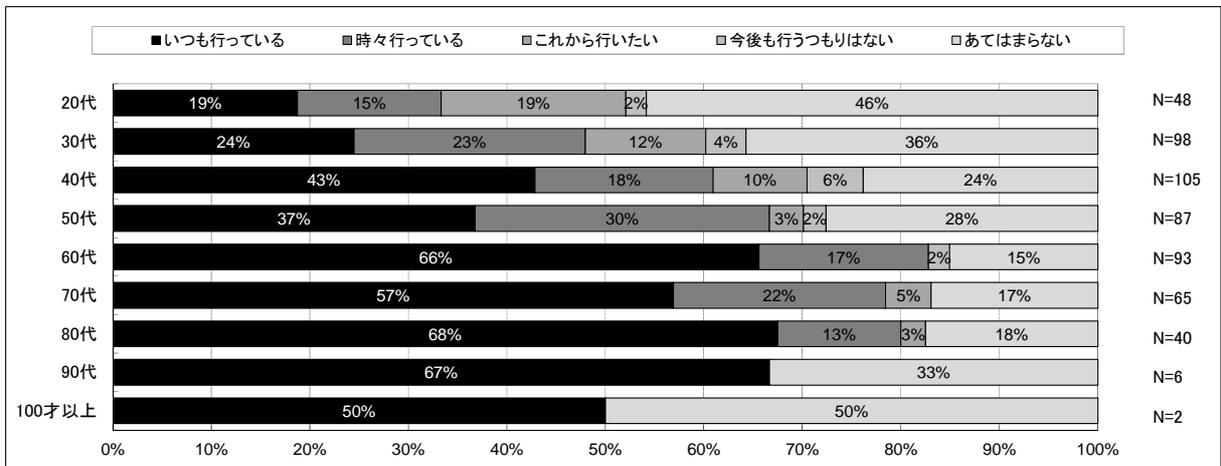


図 25 年齢別分析 庭木や家庭菜園など、みどりを大切にしている

9) 年齢別分析 川や水辺との関わりを大切にしている

年齢別の傾向が見られない。

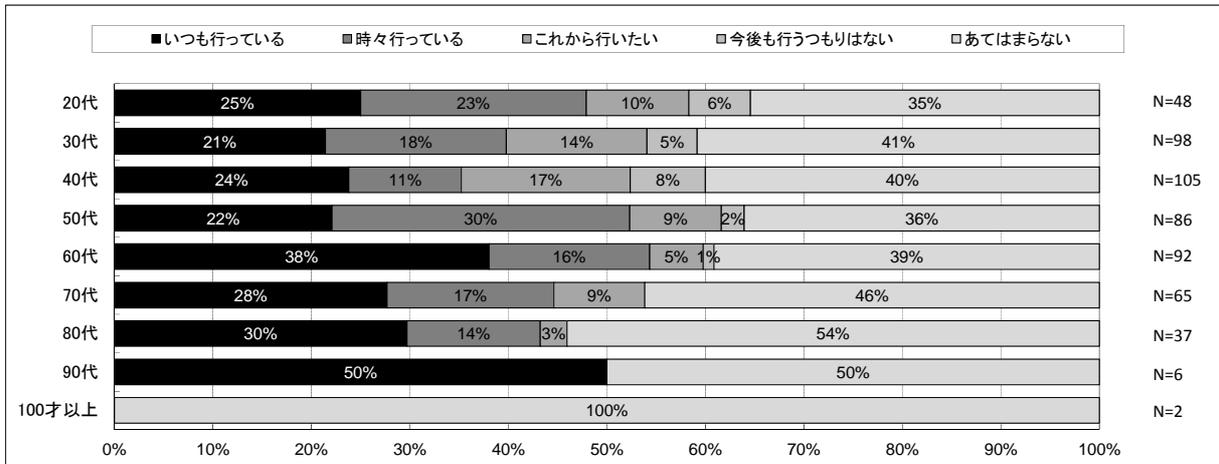


図 26 年齢別分析 川や水辺との関わりを大切にしている

10) 年齢別分析 音やにおい、排水などで近隣に迷惑をかけないように配慮している

おおむね、年代が上がるに従い、「いつも行っている」の割合が高くなる傾向がある。

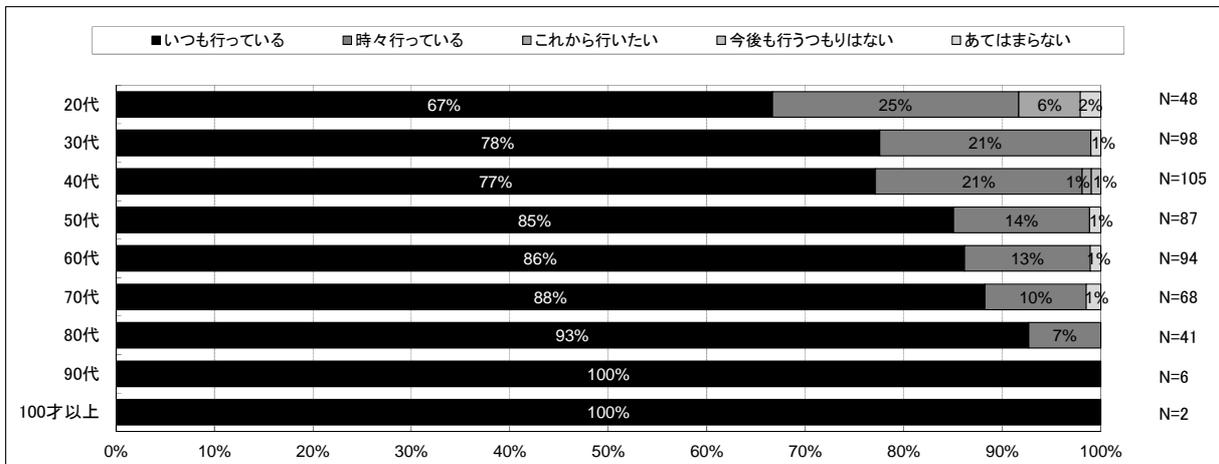


図 27 年齢別分析 音やにおい、排水などで近隣に迷惑をかけないように配慮している

11) 年齢別分析 避難所や災害時でも電気が確保できる場所を確認している

おおむね、年代が上がるに従い、「いつも行っている」、「時々行っている」の割合が高くなる傾向がある。

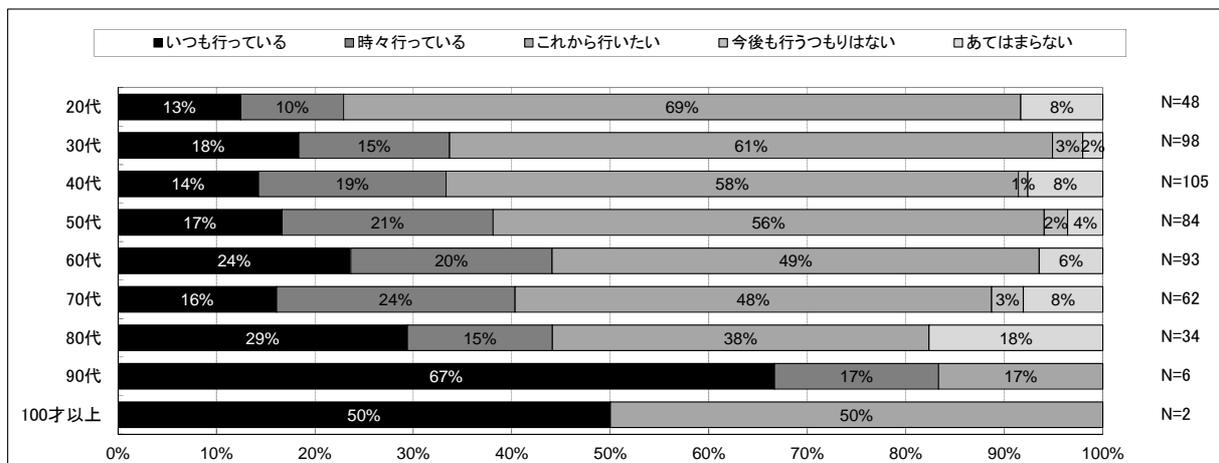


図 28 年齢別分析 避難所や災害時でも電気が確保できる場所を確認している

12) 気候の変化に伴う健康被害（熱中症など）に気を付けている

おおむね、年代が上がるに従い、「いつも行っている」の割合が高くなる傾向がある。

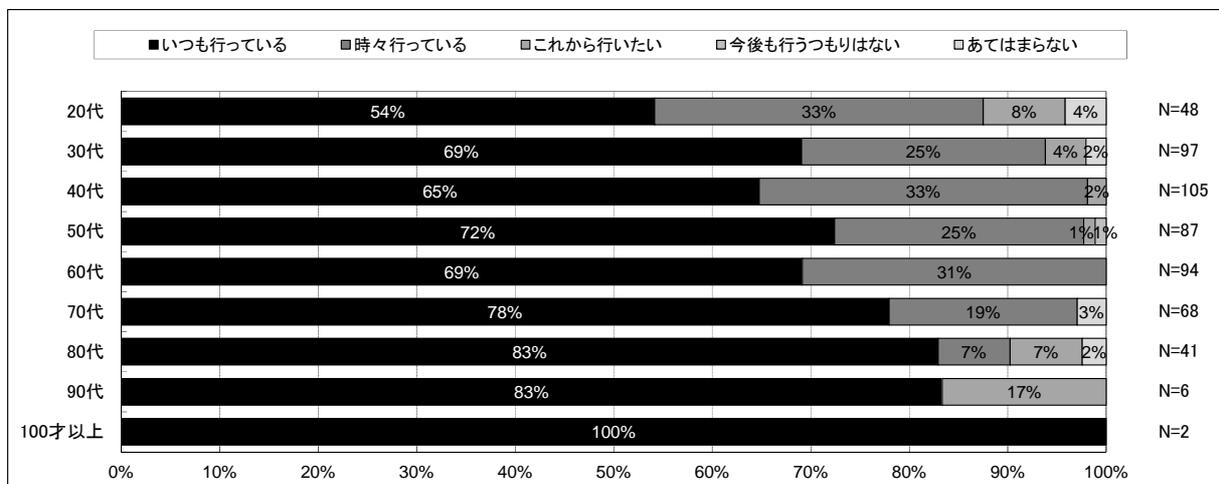


図 29 年齢別分析 気候の変化に伴う健康被害（熱中症など）に気を付けている

13) 年齢別分析 自宅周辺の清掃活動を行っている

おおむね、年代が上がるに従い、「いつも行っている」の割合が高くなる傾向がある。

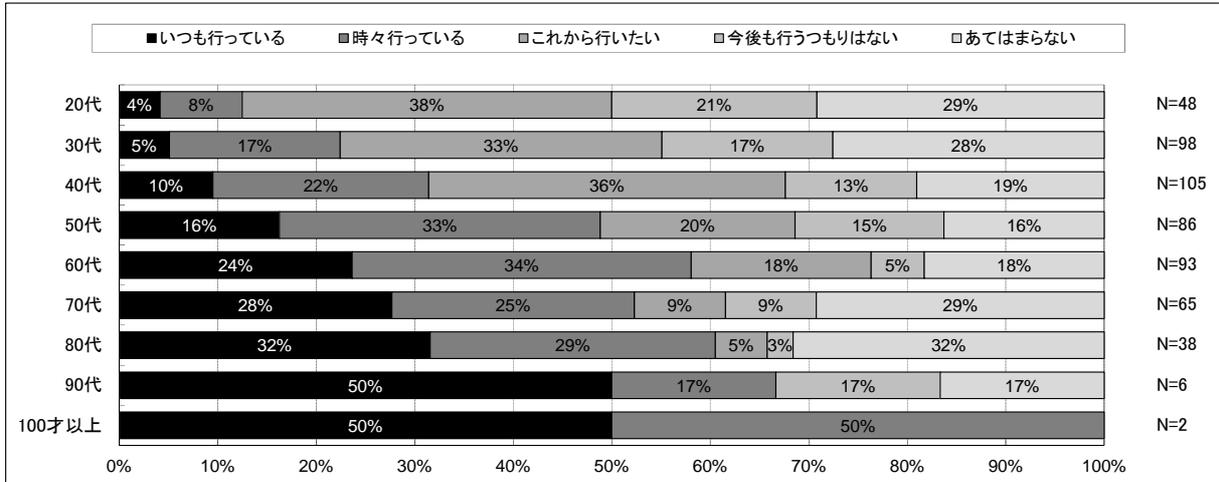


図 30 年齢別分析 自宅周辺の清掃活動を行っている

14) 年齢別分析 地域の歴史・文化に機会があれば接するようにしている

年齢別の傾向が見られない。

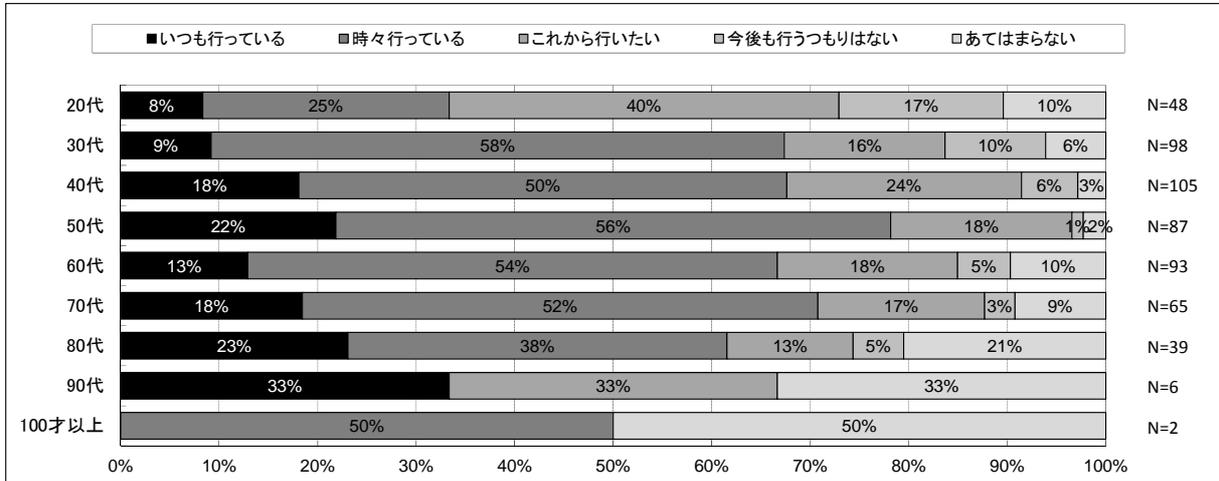


図 31 年齢別分析 地域の歴史・文化に機会があれば接するようにしている

15) 年齢別分析 地域の歴史・文化を未来に伝える取組をしている

年齢別の傾向が見られない。

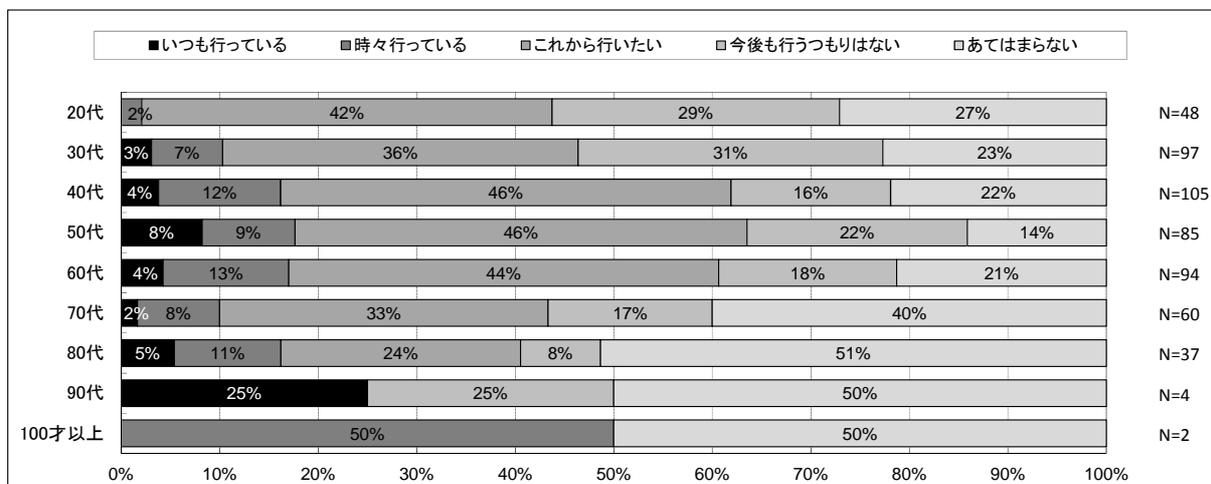


図 32 年齢別分析 地域の歴史・文化を未来に伝える取組をしている

16) 年齢別分析 環境保全に取り組む団体の活動に協力・参加している

20代から60代にかけては、おおむね、年代が上がるに従い、「いつも行っている」、「時々行っている」の割合が高くなる傾向がある。

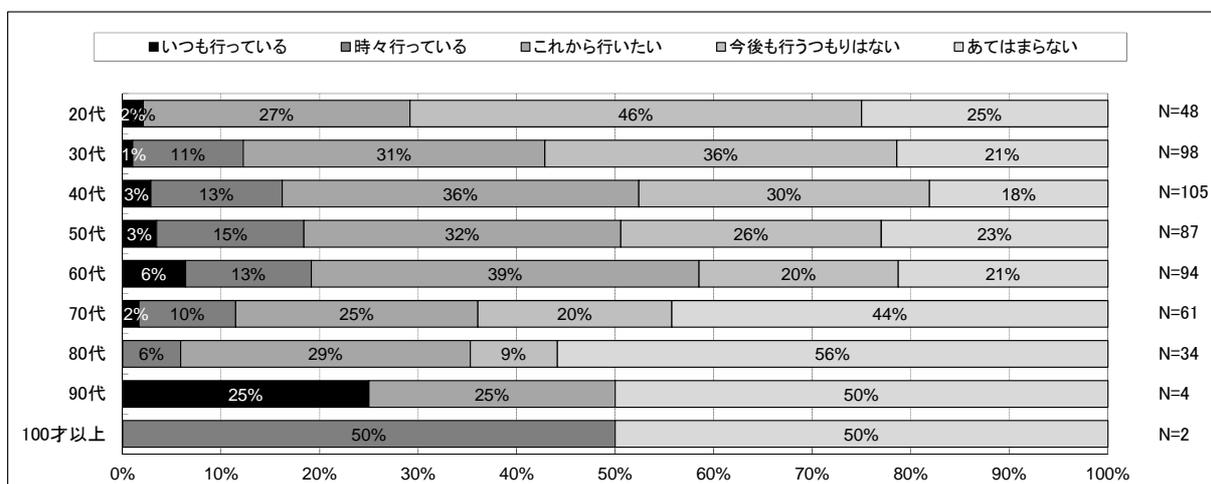


図 33 年齢別分析 環境保全に取り組む団体の活動に協力・参加している

17) 年齢別分析 環境問題について学んでいる（本、テレビ番組、講演会、インターネットなど）

年齢別の傾向が見られない。

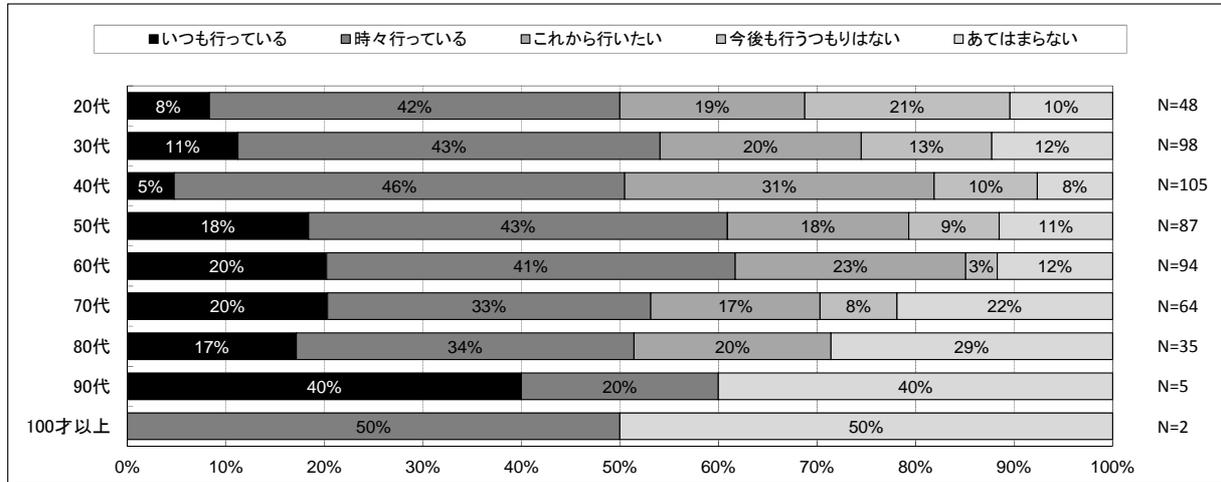


図 34 年齢別分析 環境問題について学んでいる（本、テレビ番組、講演会、インターネットなど）

(3) 世帯別分析

1) 世帯別分析 こまめにスイッチを切るなど節電を行っている

世帯別の傾向が見られない。

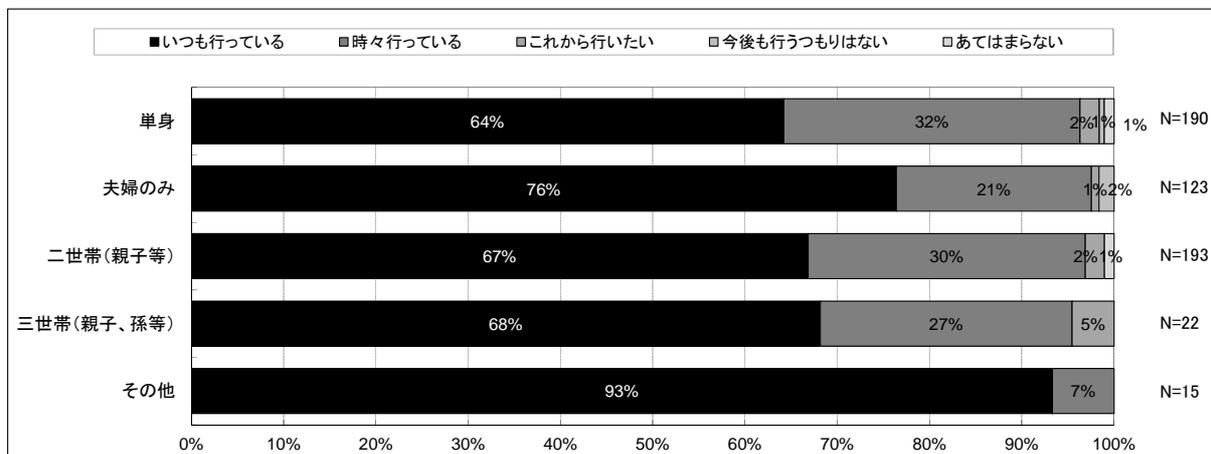


図 35 世帯別分析 こまめにスイッチを切るなど節電を行っている

2) 世帯別分析 水道やシャワーの水を出しっぱなしにしないで、こまめに止めている

世帯別の傾向が見られない。

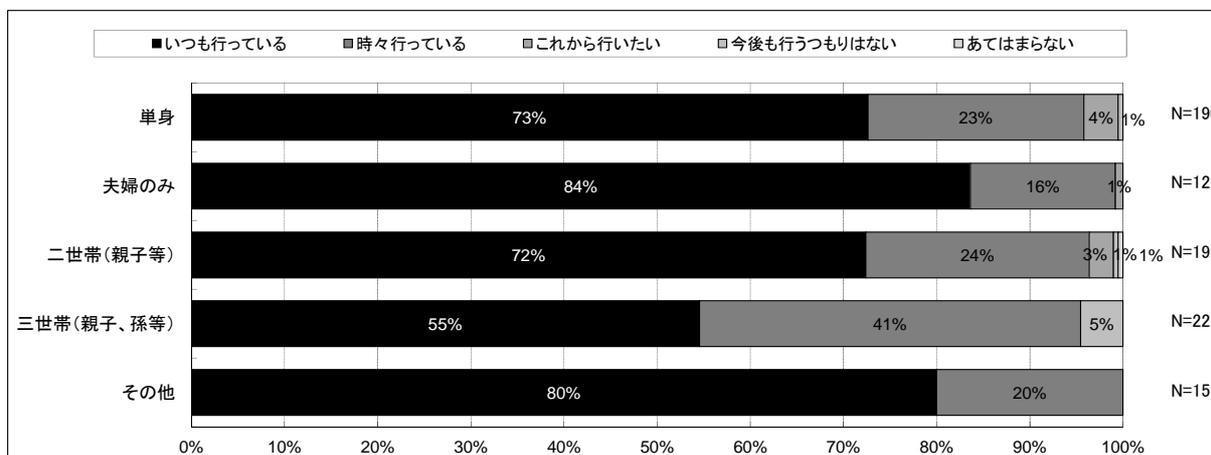


図 36 世帯別分析 水道やシャワーの水を出しっぱなしにしないで、こまめに止めている

3) 世帯別分析 外出時はできるだけ、自動車を使わず、鉄道やバス、自転車などを利用している

世帯別の傾向が見られない。

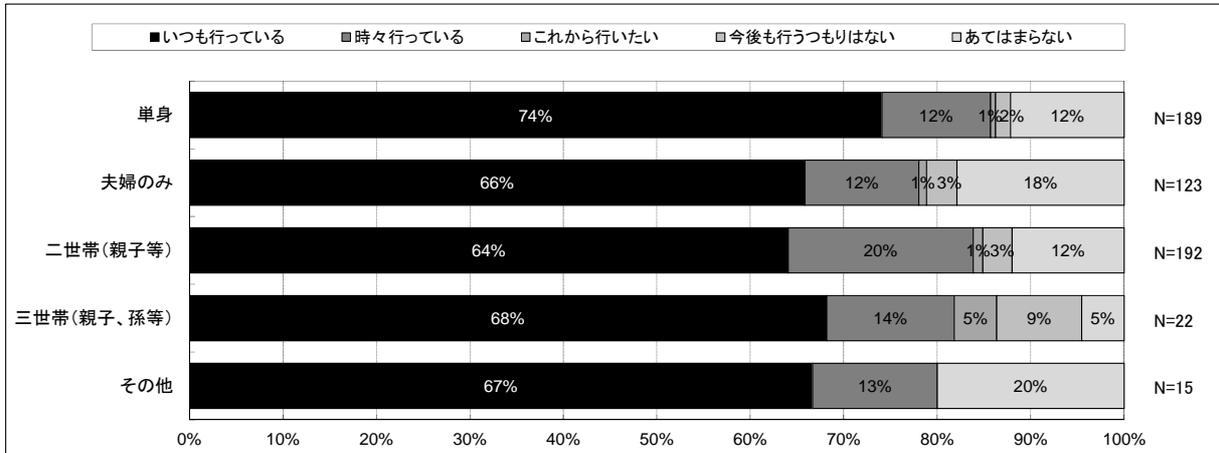


図 37 世帯別分析 外出時はできるだけ、自動車を 使わず、鉄道やバス、自転車などを利用している

4) 世帯別分析 ごみは分別して捨てている

世帯別の傾向が見られない。

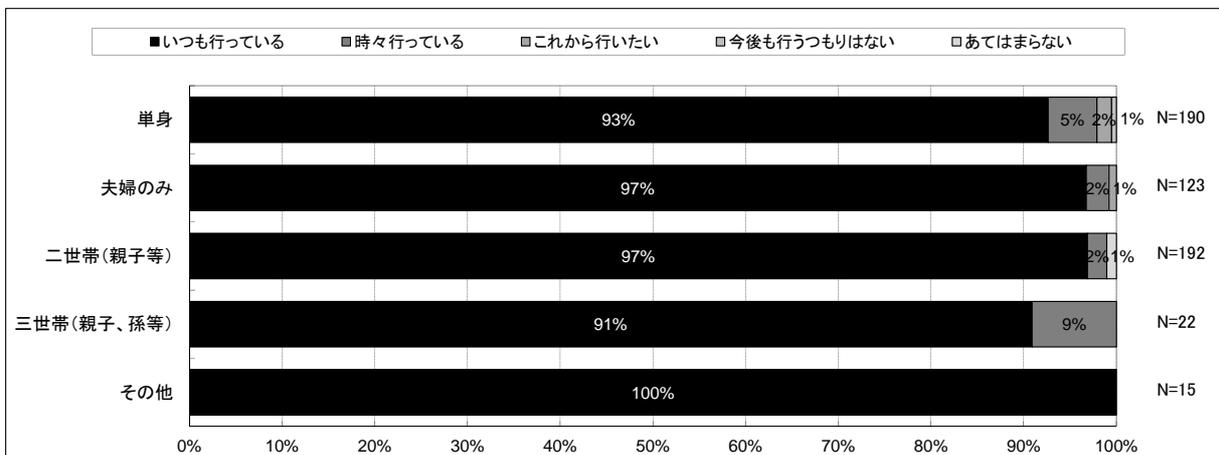


図 38 世帯別分析 ごみは分別して捨てている

5) 世帯別分析 買い物に行くときはマイバッグを持っていっている

世帯別の傾向が見られない。

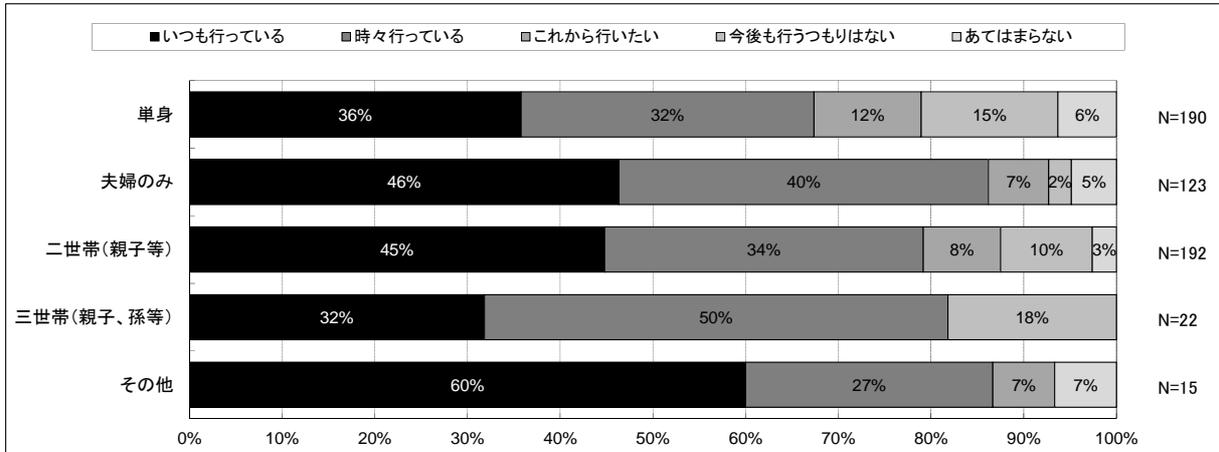


図 39 世帯別分析 買い物に行くときはマイバッグを持っていっている

6) 世帯別分析 びんを洗って再使用したり、フリーマーケットを利用するなど、ものを繰り返し使用している

三世帯(親子、孫等)を除くと、おおむね、世帯人数が多くなるに従い、「いつも行っている」、「時々行っている」の割合が高くなる傾向がある。

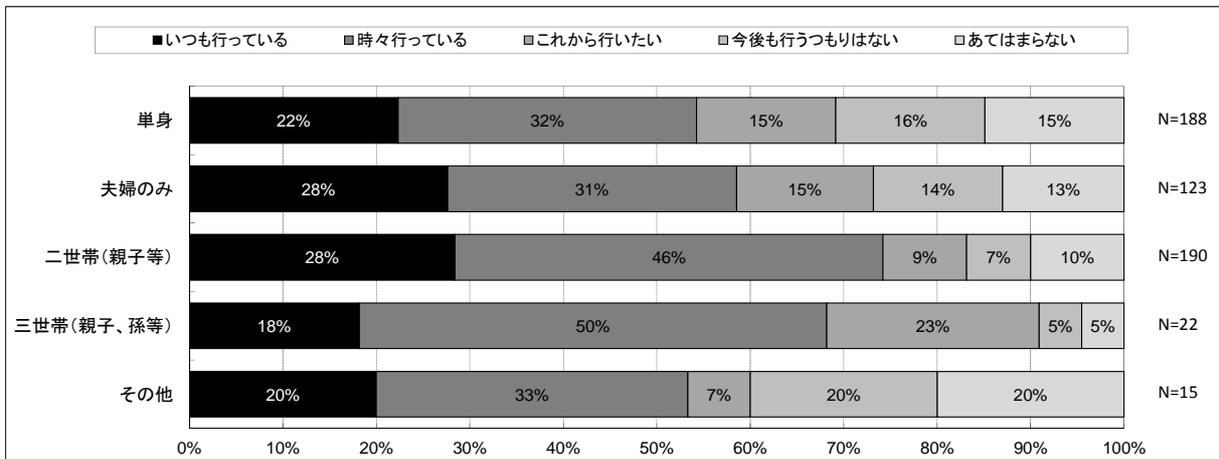


図 40 世帯別分析 びんを洗って再使用したり、フリーマーケットを利用するなど、ものを繰り返し使用している

7) 世帯別分析 生き物の保護や外来生物を捨てないなど、生態系に配慮している

おおむね、世帯人数が多くなるに従い、「いつも行っている」、「時々行っている」の割合が高くなる傾向がある。

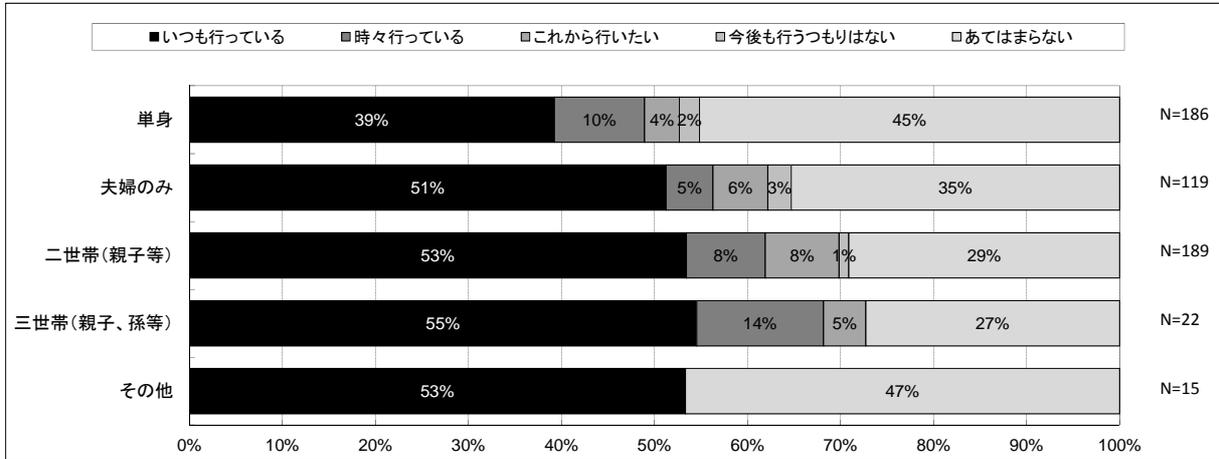


図 41 世帯別分析 生き物の保護や外来生物を捨てないなど、生態系に配慮している

8) 世帯別分析 庭木や家庭菜園など、みどりを大切にしている

世帯別の傾向が見られない。

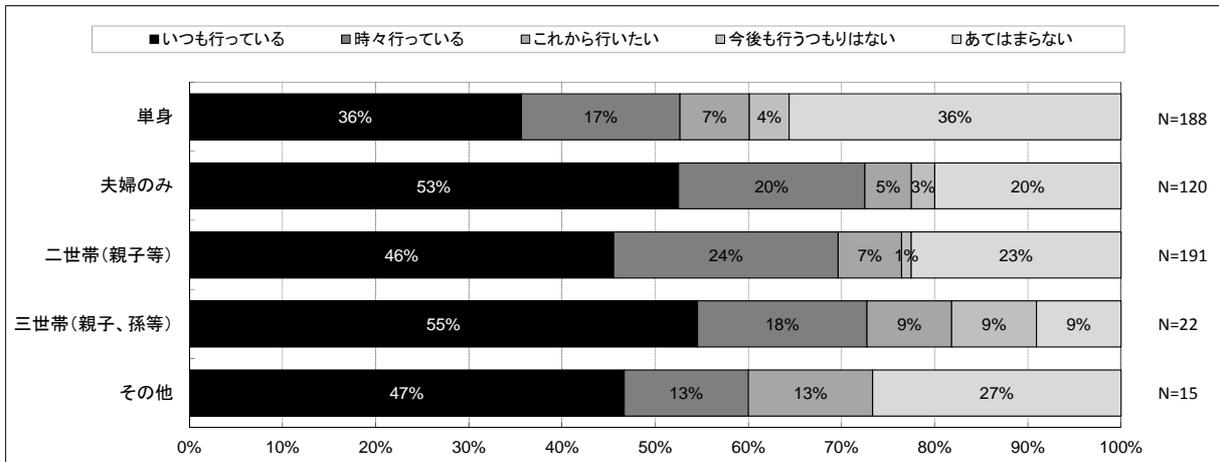


図 42 世帯別分析 庭木や家庭菜園など、みどりを大切にしている

9) 世帯別分析 川や水辺との関わりを大切にしている

世帯別の傾向が見られない。

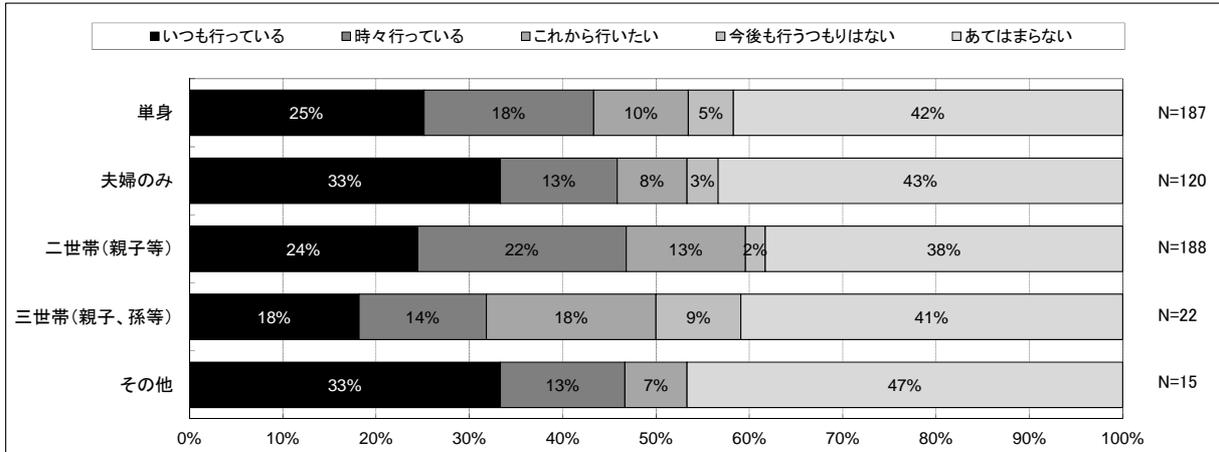


図 43 世帯別分析 川や水辺との関わりを大切にしている

10) 世帯別分析 音やにおい、排水などで近隣に迷惑をかけないように配慮している

三世帯(親子、孫等)を除くと、各世帯の「いつも行っている」の割合が80%以上と高い割合となっている。

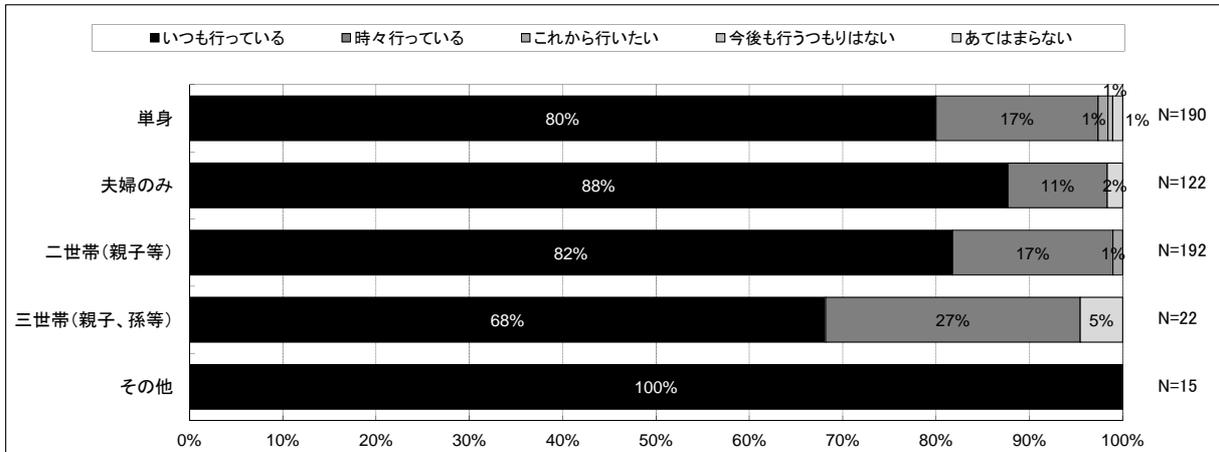


図 44 世帯別分析 音やにおい、排水などで近隣に迷惑をかけないように配慮している

11) 世帯別分析 避難所や災害時でも電気が確保できる場所を確認している

おおむね、世帯人数が多くなるに従い、「いつも行っている」、「時々行っている」の割合が高くなる傾向がある。

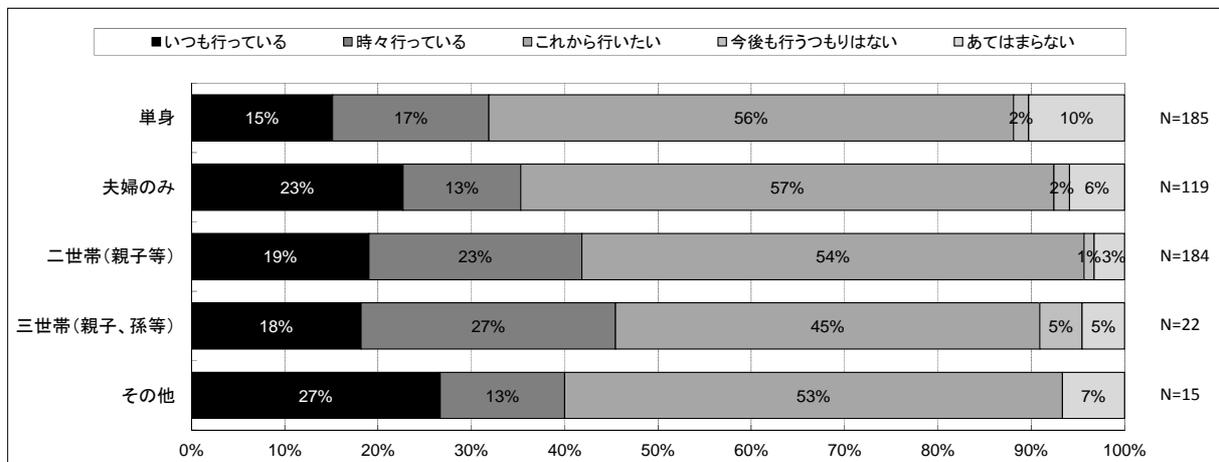


図 45 世帯別分析 非難所や災害時でも電気が確保できる場所を確認している

12) 世帯別分析 気候の変化に伴う健康被害（熱中症など）に気を付けている

世帯別の傾向が見られない。

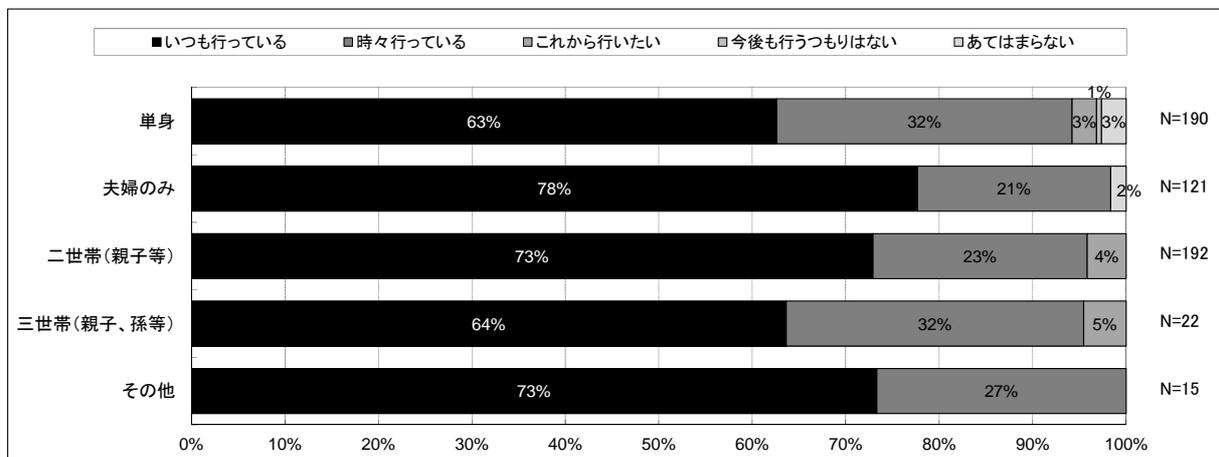


図 46 世帯別分析 気候の変化に伴う健康被害（熱中症など）に気を付けている

13) 世帯別分析 自宅周辺の清掃活動を行っている

おおむね、世帯人数が多くなるに従い、「いつも行っている」、「時々行っている」の割合が高くなる傾向がある。

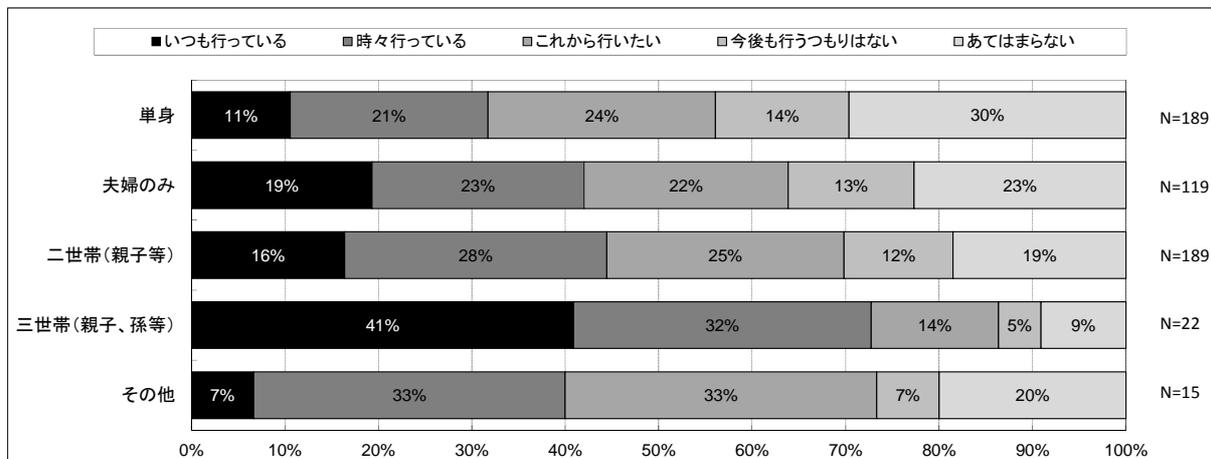


図 47 世帯別分析 自宅周辺の清掃活動を行っている

14) 世帯別分析 地域の歴史・文化に機会があれば接するようにしている

世帯別の傾向が見られない。

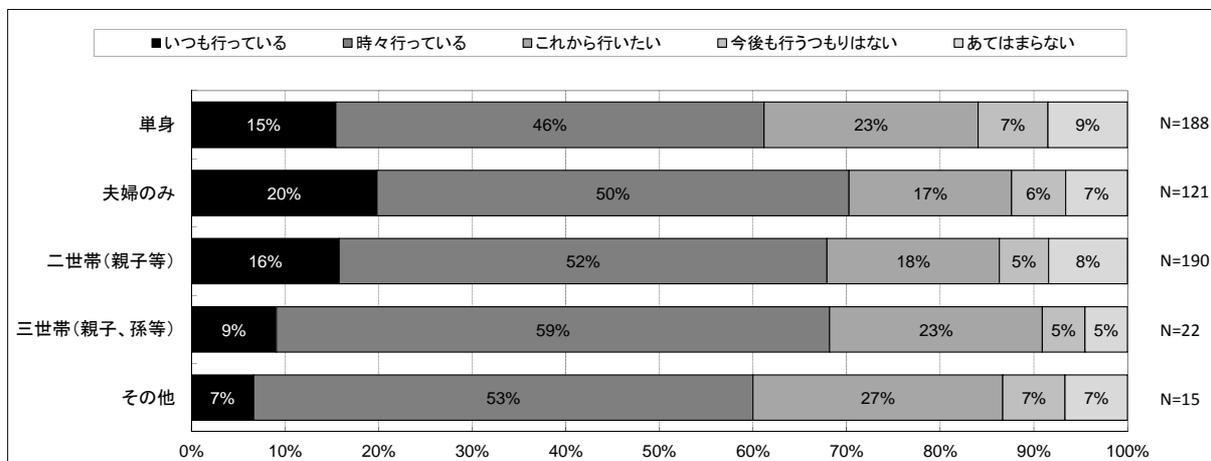


図 48 世帯別分析 地域の歴史・文化に機会があれば接するようにしている

15) 世帯別分析 地域の歴史・文化を未来に伝える取組をしている

おおむね、世帯人数が多くなるに従い、「今後も行うつもりはない」、「あてはまらない」の割合が低くなる傾向がある。

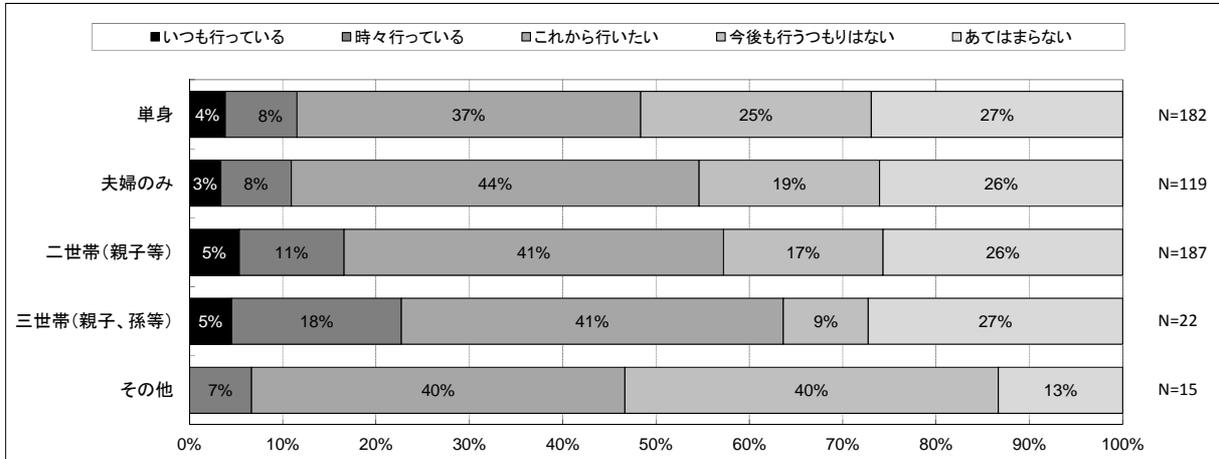


図 49 世帯別分析 地域の歴史・文化を未来に伝える取組をしている

16) 世帯別分析 環境保全に取り組む団体の活動に協力・参加している

世帯別の傾向が見られない。

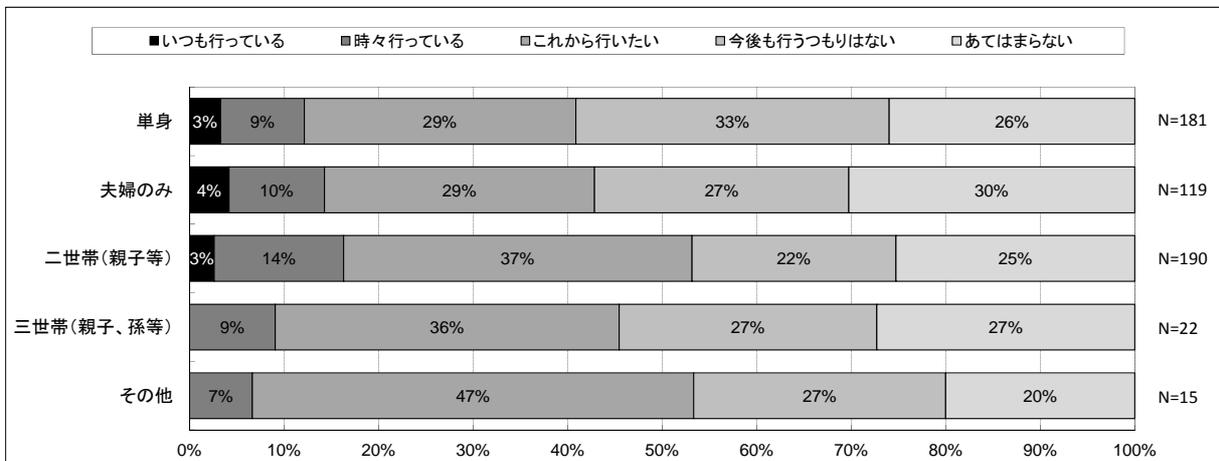


図 50 世帯別分析 環境保全に取り組む団体の活動に協力・参加している

17) 世帯別分析 環境問題について学んでいる（本、テレビ番組、講演会、インターネットなど）

世帯別の傾向が見られない。

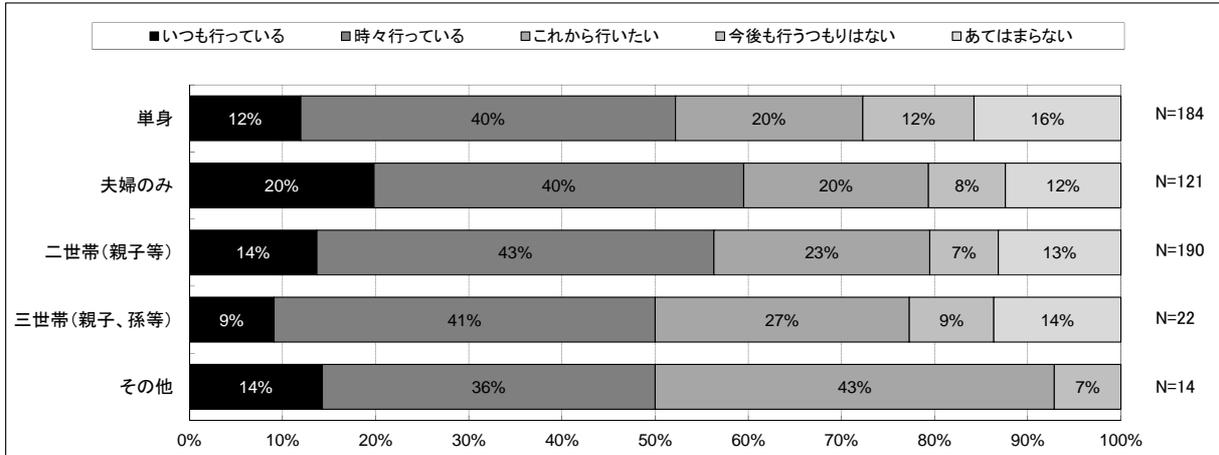


図 51 世帯別分析 環境問題について学んでいる（本、テレビ番組、講演会、インターネットなど）

1.1.7 あなたが希望する文京区の未来の環境について

文京区の未来の環境で、あなたが希望するものは何ですか。該当する番号に○をつけてください(○は2つまで)。	
1. 低炭素社会(省エネルギーや再生可能エネルギーの利用が進み、二酸化炭素の排出が少ない社会)	4. 快適・安全社会(きれいな空気や水、静かな環境などに囲まれた社会)
2. 循環型社会(ごみの発生が減り、使えるものを再使用し、資源のリサイクルが進んだ社会)	5. 歴史や文化を身近に感じられる社会
3. 自然共生社会(動物や植物を大事にし、人間と自然が共に生きる社会)	

(1) 全体

「快適・安全社会(きれいな空気や水、静かな環境などに囲まれた社会)」が 68%と、最も希望する文京区の未来の環境となった。一方で「歴史や文化を身近に感じられる社会」が 23%と、最も低い割合となっている。

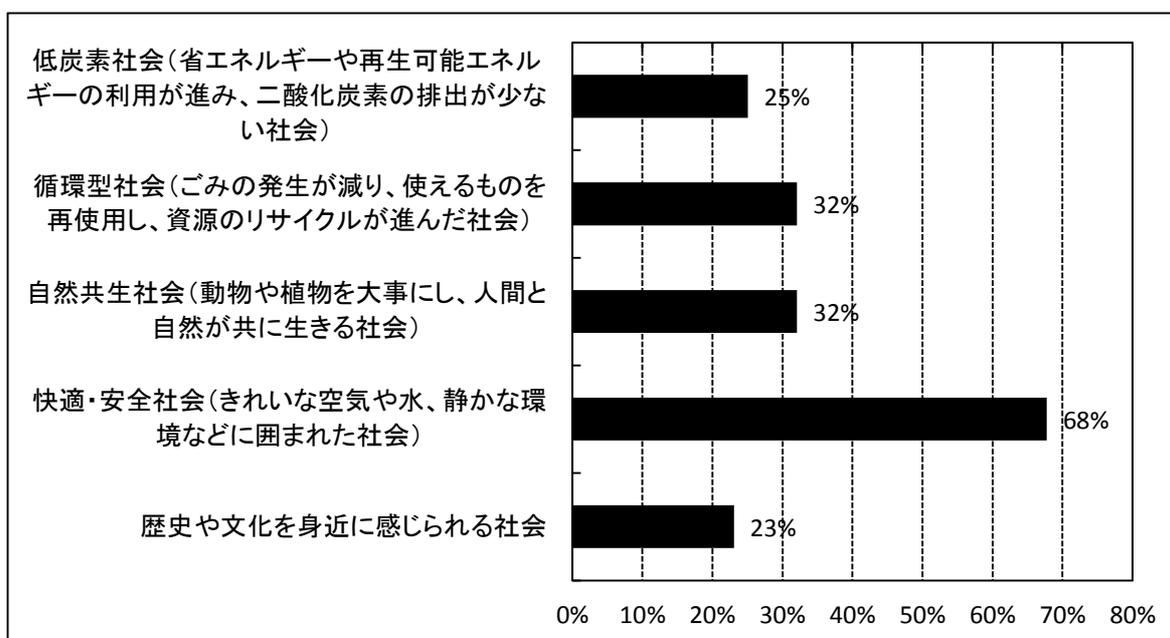


図 52 希望する文京区の未来の環境

表 17 希望する文京区の未来の環境

	H27 結果 (回答数)	H27 結果 (%)
1. 低炭素社会(省エネルギーや再生可能エネルギーの利用が進み、二酸化炭素の排出が少ない社会)	139	25%
2. 循環型社会(ごみの発生が減り、使えるものを再使用し、資源のリサイクルが進んだ社会)	178	32%
3. 自然共生社会(動物や植物を大事にし、人間と自然が共に生きる社会)	178	32%
4. 快適・安全社会(きれいな空気や水、静かな環境などに囲まれた社会)	376	68%
5. 歴史や文化を身近に感じられる社会	128	23%
計(無回答を除く)	999	-
無回答	-	-

(2) 年齢別分析 希望する文京区の未来の環境

おおむね、どの年代においても、「快適・安全社会(きれいな空気や水、静かな環境などに囲まれた社会)」が最も希望する文京区の未来の環境となった。

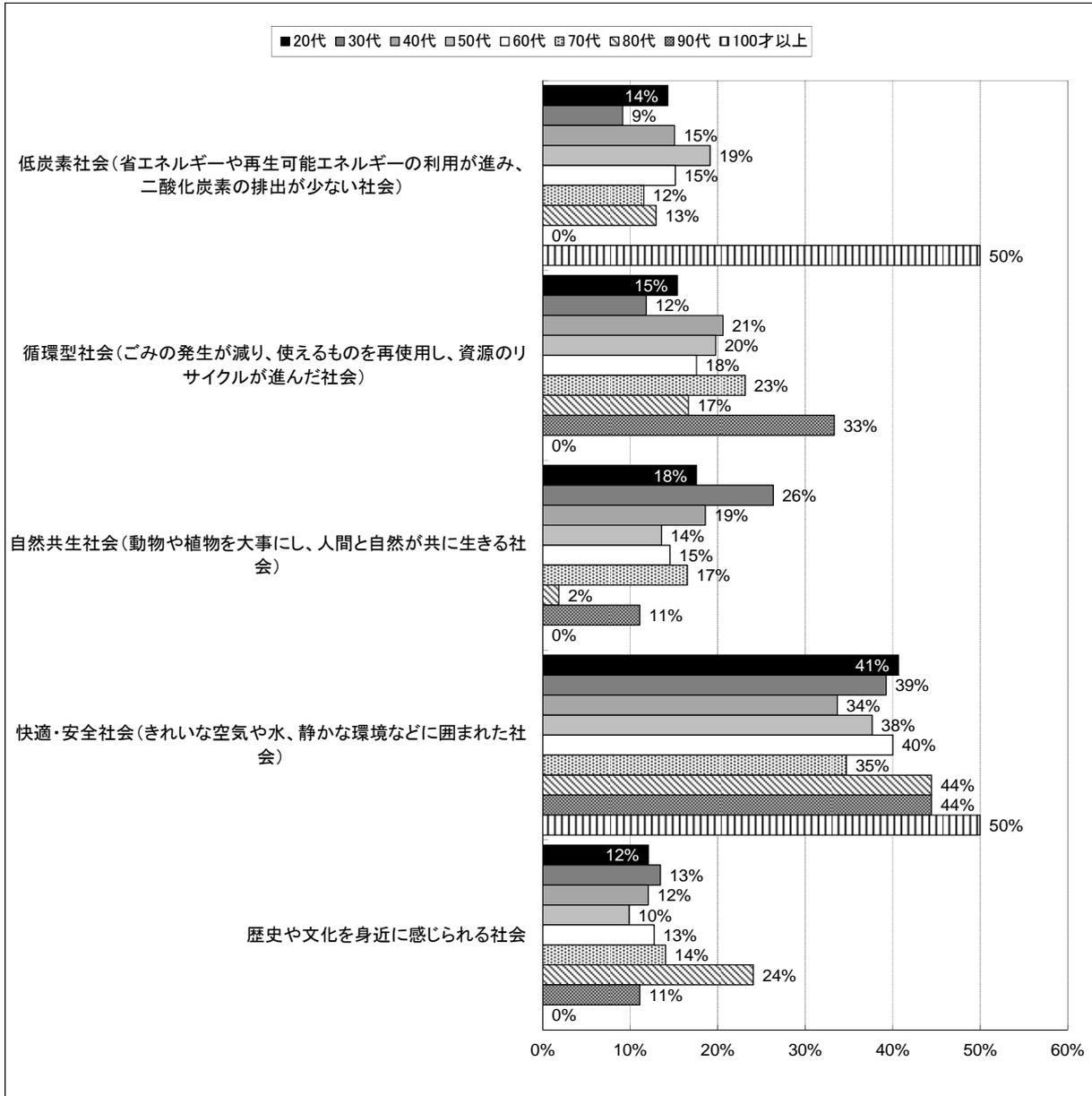


図 53 年齢別分析 希望する文京区の未来の環境

(3) 世帯別分析 希望する文京区の未来の環境

いずれの世帯においても、「快適・安全社会(きれいな空気や水、静かな環境などに囲まれた社会)」が最も希望する文京区の未来の環境となった。

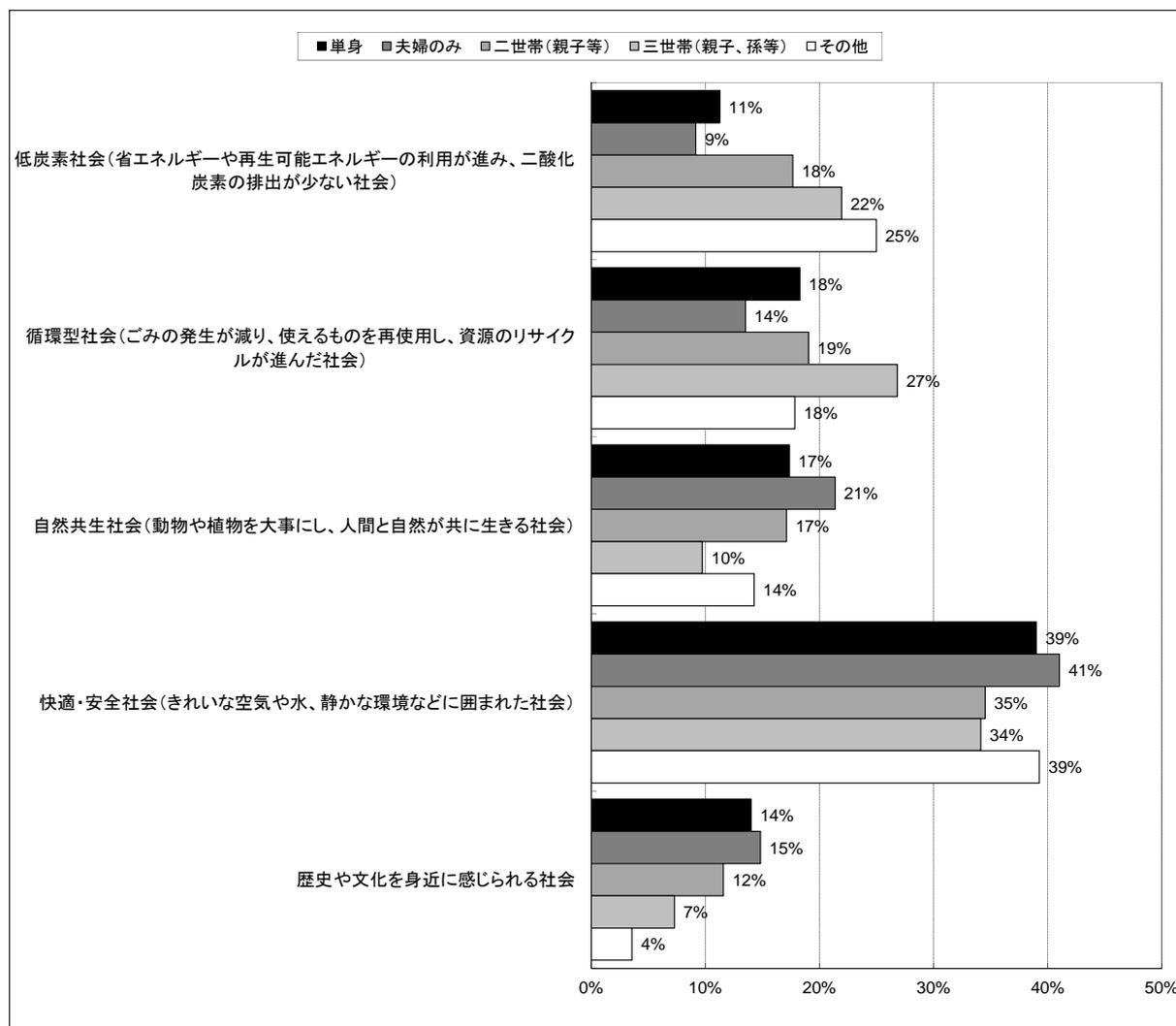


図 54 世帯別分析 希望する文京区の未来の環境

1.1.8 区民・事業者・団体・行政の役割

文京区の環境を良くしていくうえで、重要な役割を担うのは、区民・事業者・団体・行政のうちいずれであると思いますか。(分野の項目ごとに○を2つまで)。	
1. 低炭素社会(省エネルギーや再生可能エネルギーの利用が進み、二酸化炭素の排出が少ない社会)の実現 2. 循環型社会(ごみの発生が減り、使えるものを再使用し、資源のリサイクルが進んだ社会)の実現 3. 自然共生社会(動物や植物を大事にし、人間と自然が共に生きる社会)の実現	4. 快適・安全社会(きれいな空気や水、静かな環境などに囲まれた社会)の実現 5. 歴史や文化を身近に感じられる社会の実現

(1) 全体

「循環型社会(ごみの発生が減り、使えるものを再使用し、資源のリサイクルが進んだ社会)の実現」以外はいずれの分野においても、「行政」が高い割合を占めている。

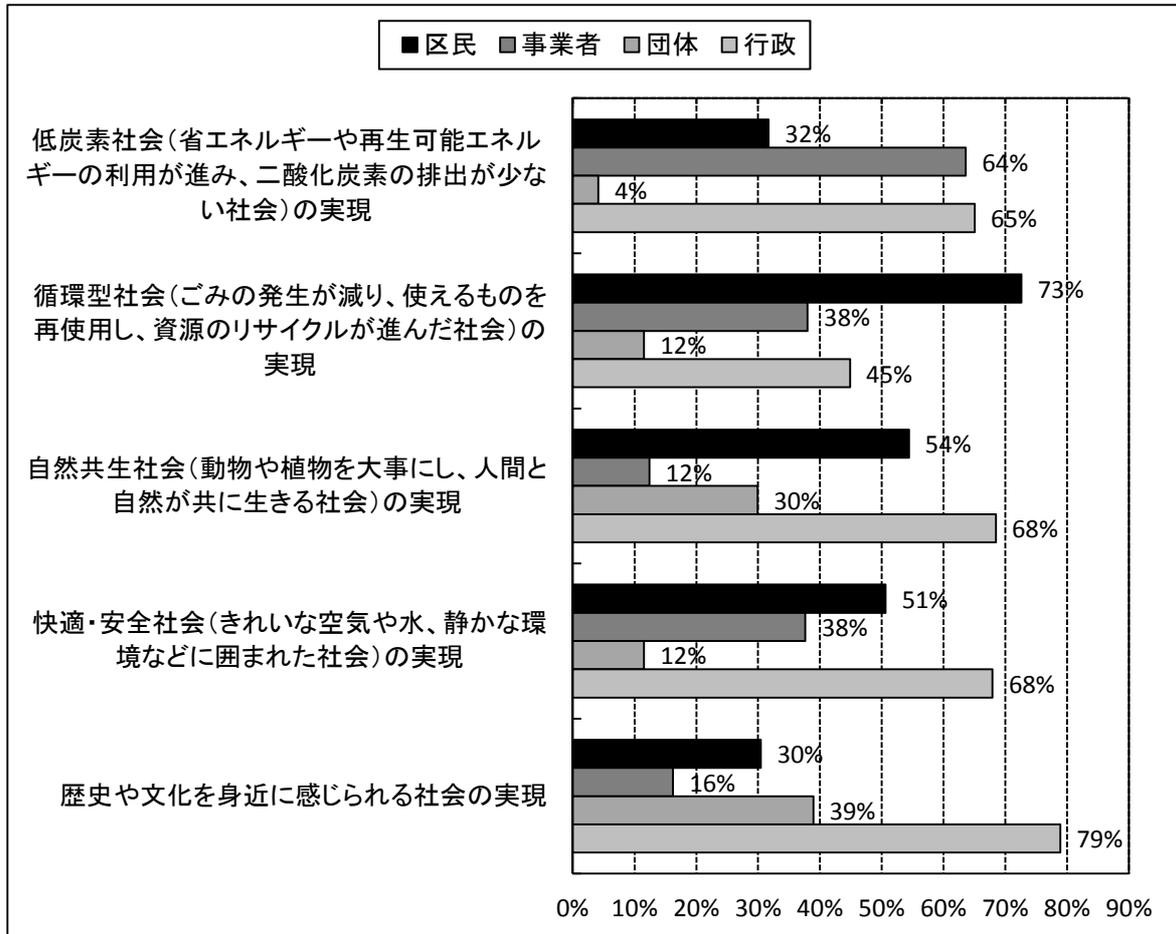


図 55 最も重要な役割を担う主体

表 18 最も重要な役割を担う主体

	区民	事業者	団体	行政	計(無回答を除く)
1. 低炭素社会(省エネルギーや再生可能エネルギーの利用が進み、二酸化炭素の排出が少ない社会)の実現	176	353	23	361	913
	32%	64%	4%	65%	-
2. 循環型社会(ごみの発生が減り、使えるものを再使用し、資源のリサイクルが進んだ社会)の実現	403	211	64	249	92
	73%	38%	12%	45%	-
3. 自然共生社会(動物や植物を大事にし、人間と自然が共に生きる社会)の実現	302	69	166	380	917
	54%	12%	30%	68%	-
4. 快適・安全社会(きれいな空気や水、静かな環境などに囲まれた社会)の実現	281	209	64	377	931
	51%	38%	12%	68%	-
5. 歴史や文化を身近に感じられる社会の実現	169	90	216	438	913
	30%	16%	39%	79%	-

(2) 年齢別分析

1) 年齢別分析 低炭素社会（省エネルギーや再生可能エネルギーの利用が進み、二酸化炭素の排出が少ない社会）の実現

年齢別による傾向は見られない。

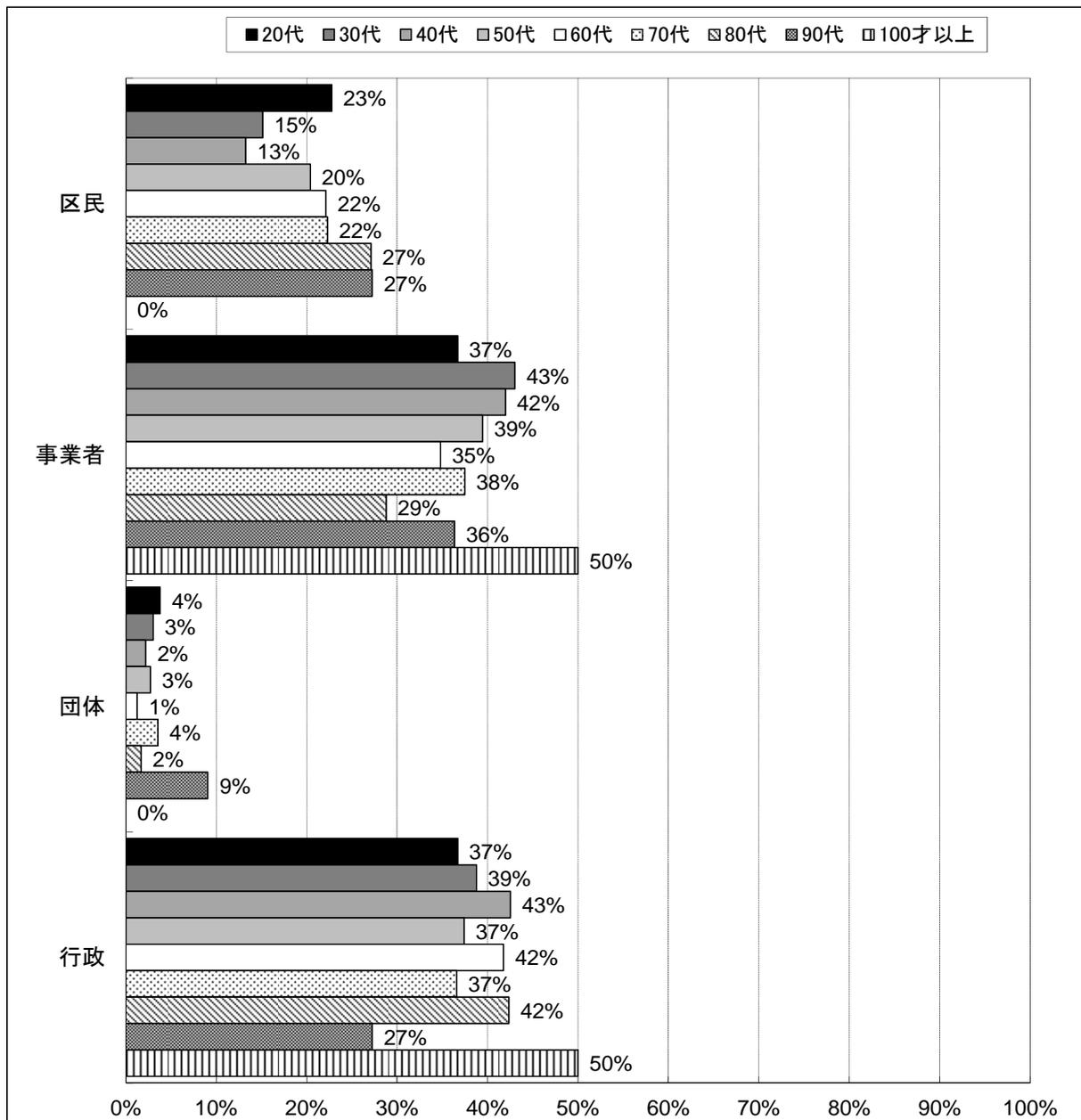


図 56 年齢別分析 低炭素社会（省エネルギーや再生可能エネルギーの利用が進み、二酸化炭素の排出が少ない社会）の実現

2) 年齢別分析 循環型社会（ごみの発生が減り、使えるものを再使用し、資源のリサイクルが進んだ社会）

年齢別による傾向は見られない。

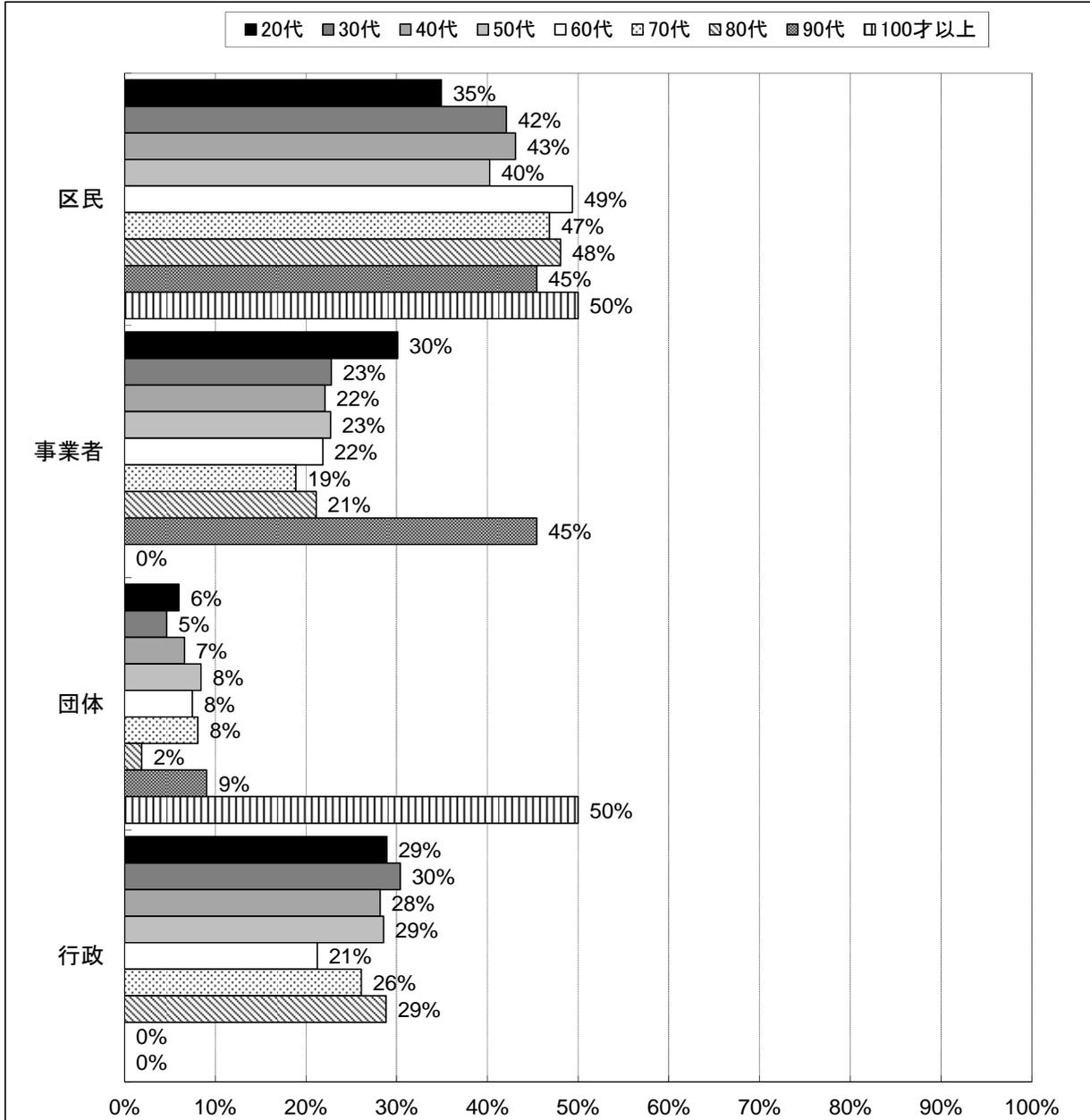


図 57 年齢別分析 循環型社会（ごみの発生が減り、使えるものを再使用し、資源のリサイクルが進んだ社会）

3) 年齢別分析 自然共生社会（動物や植物を大事にし、人間と自然が共に生きる社会）

おおむね、年齢が高くなるほど、区民の役割を重視する傾向が見られる。

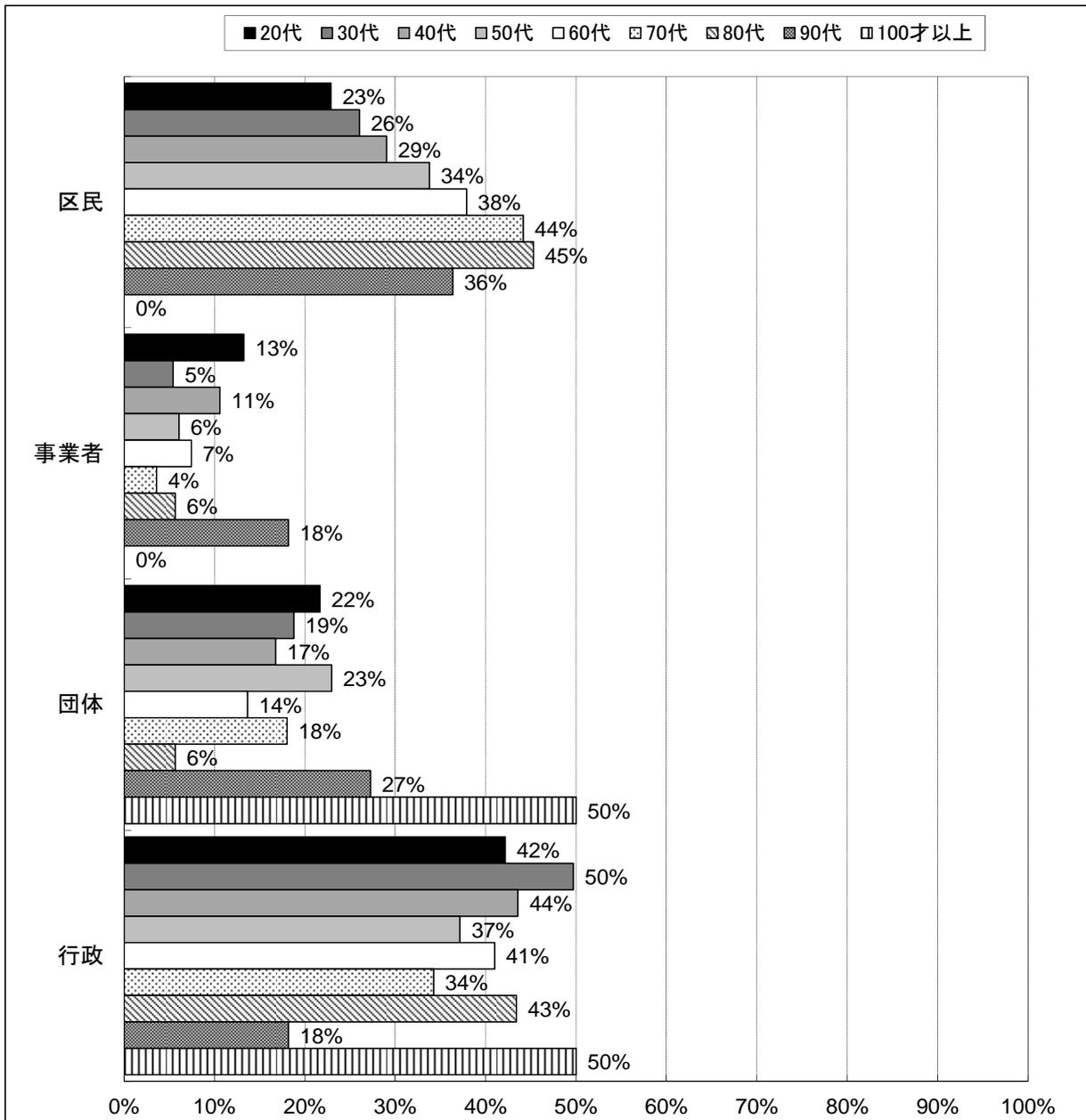


図 58 年齢別分析 自然共生社会（動物や植物を大事にし、人間と自然が共に生きる社会）

4) 年齢別分析 快適・安全社会（きれいな空気や水、静かな環境などに囲まれた社会）

年齢別による傾向は見られない。

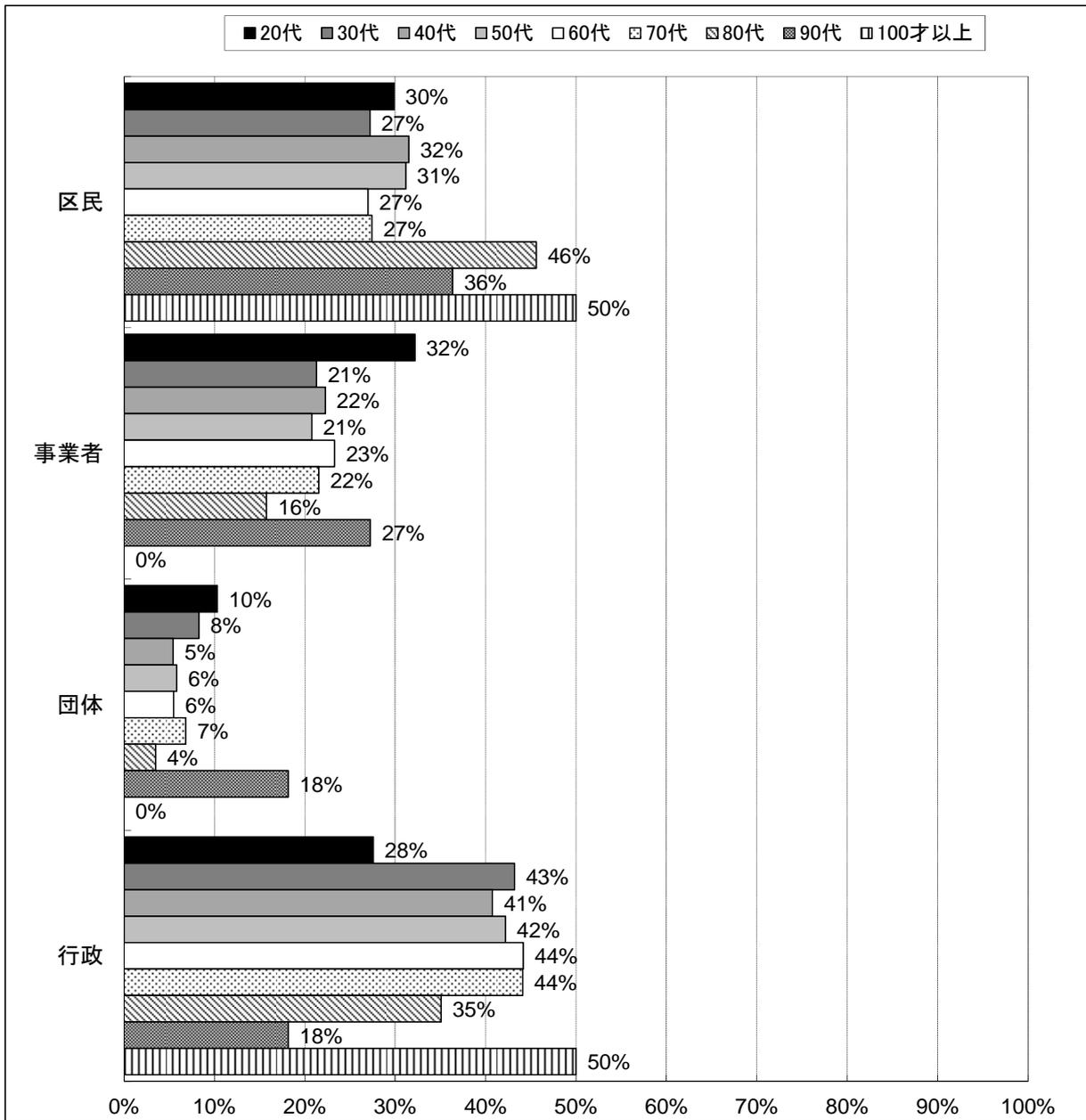


図 59 年齢別分析 快適・安全社会（きれいな空気や水、静かな環境などに囲まれた社会）

5) 年齢別分析 歴史や文化を身近に感じられる社会

年齢別による傾向は見られない。

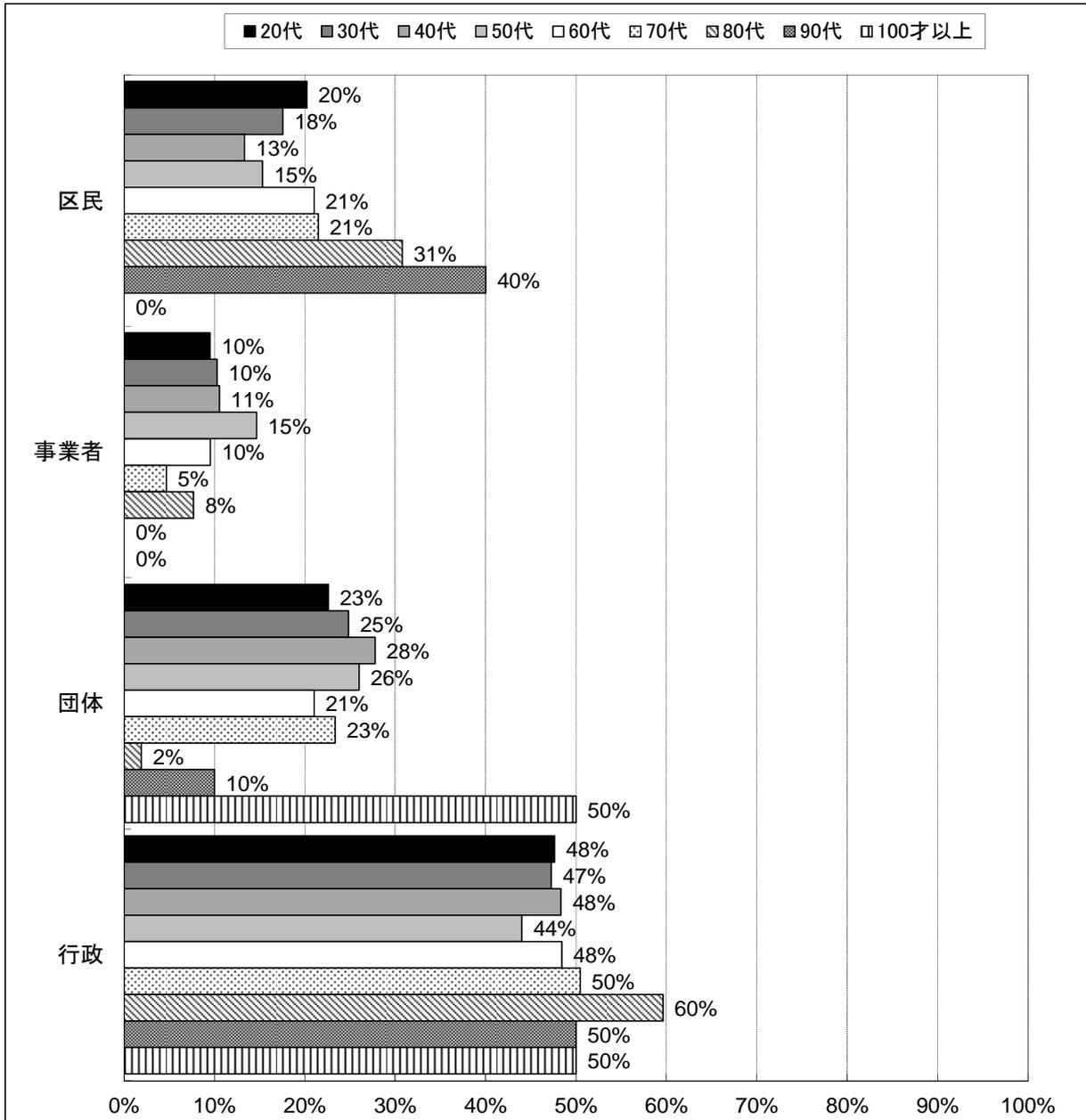


図 60 年齢別分析 歴史や文化を身近に感じられる社会

(3) 世帯別分析

1) 世帯別分析 低炭素社会（省エネルギーや再生可能エネルギーの利用が進み、二酸化炭素の排出が少ない社会）の実現

世帯別の傾向は見られない。

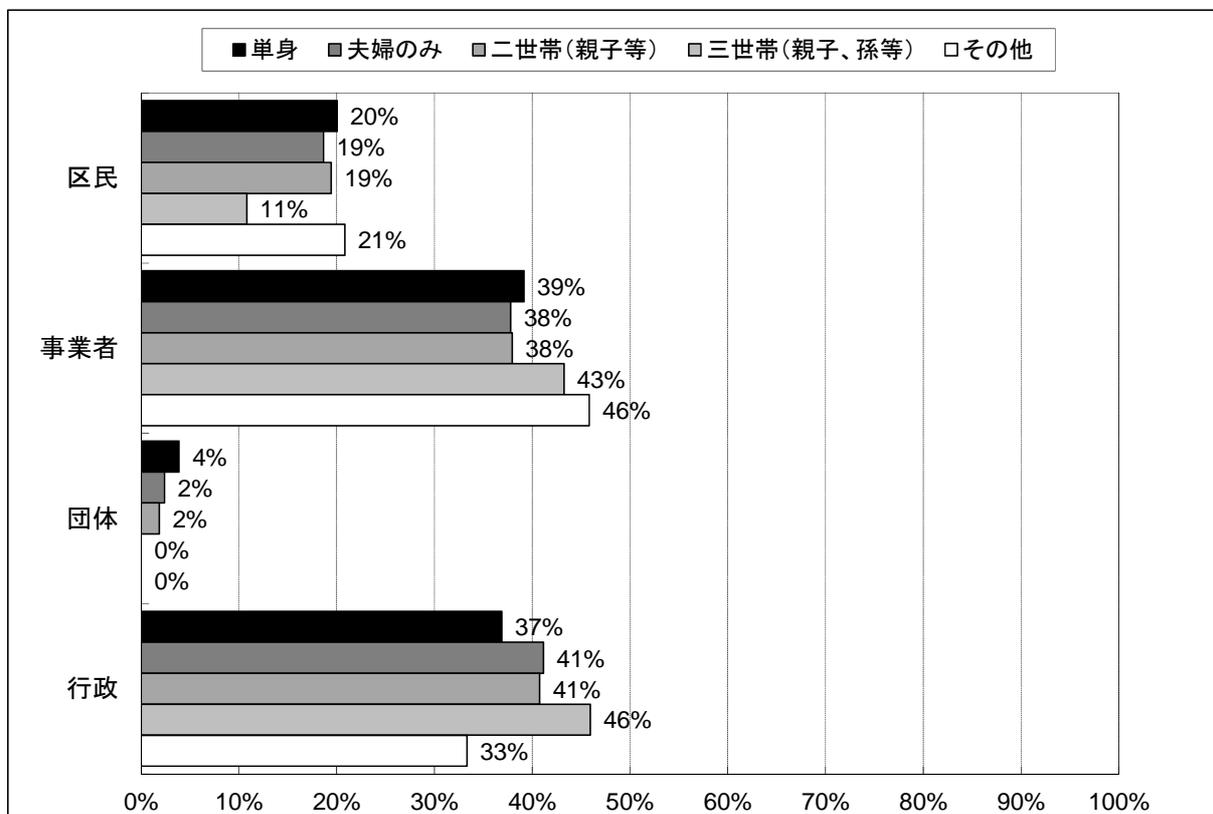


図 61 世帯別分析 低炭素社会（省エネルギーや再生可能エネルギーの利用が進み、二酸化炭素の排出が少ない社会）の実現

2) 世帯別分析 循環型社会（ごみの発生が減り、使えるものを再使用し、資源のリサイクルが進んだ社会）

世帯別の傾向は見られない。

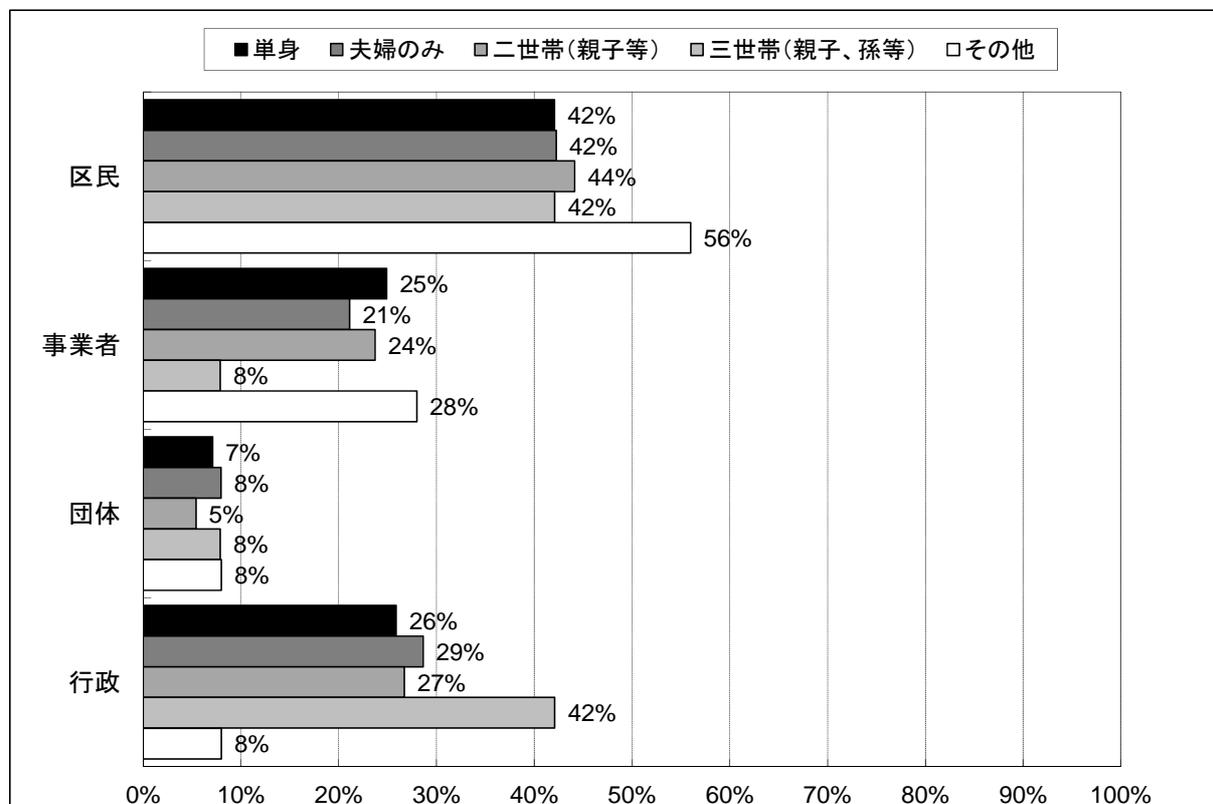


図 62 世帯別分析 循環型社会（ごみの発生が減り、使えるものを再使用し、資源のリサイクルが進んだ社会）

3) 世帯別分析 自然共生社会（動物や植物を大事にし、人間と自然が共に生きる社会）

世帯別の傾向は見られない。

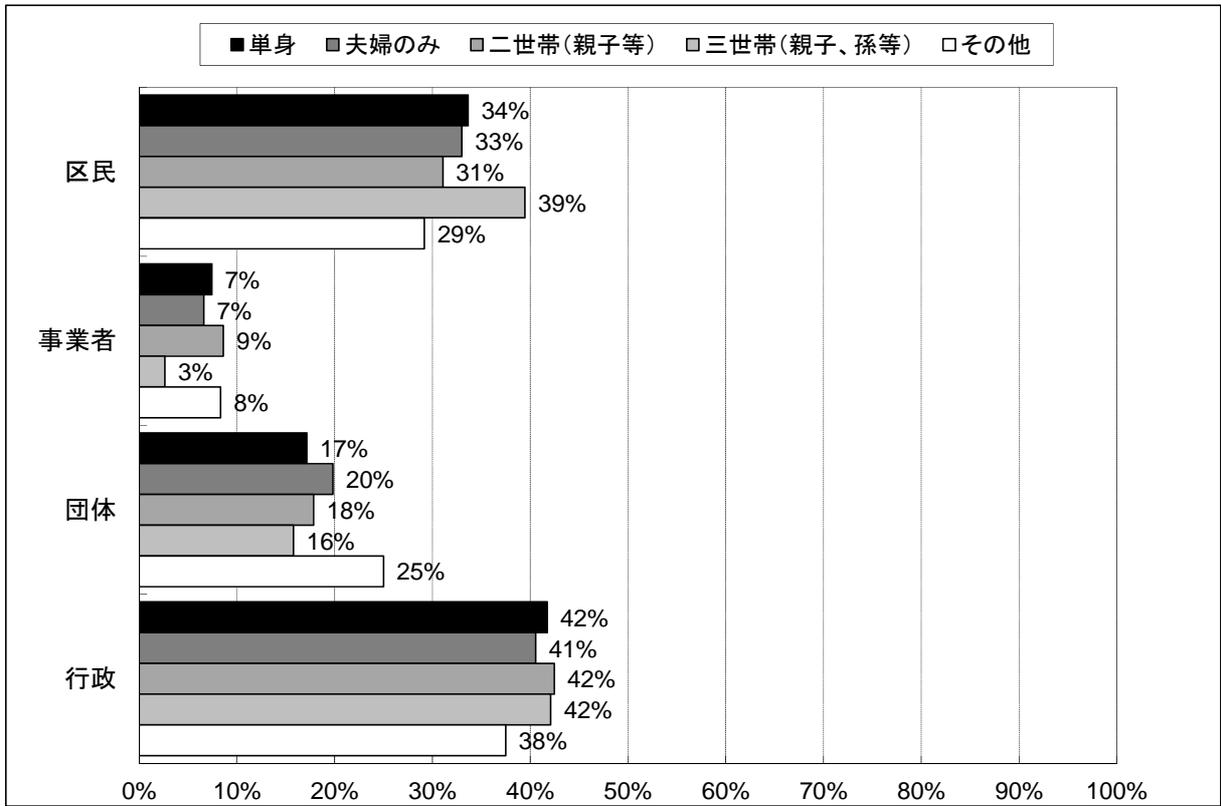


図 63 世帯別分析 自然共生社会（動物や植物を大事にし、人間と自然が共に生きる社会）

4) 世帯別分析 快適・安全社会（きれいな空気や水、静かな環境などに囲まれた社会）

世帯別の傾向は見られない。

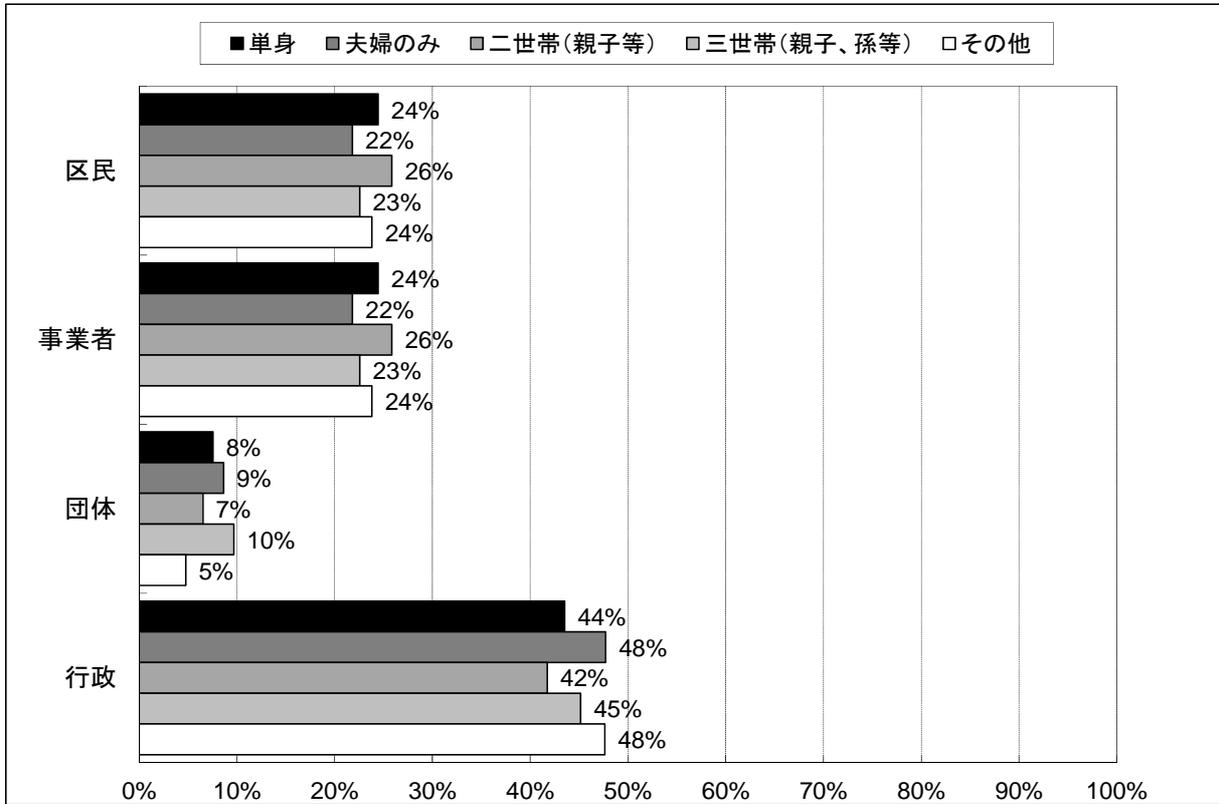


図 64 世帯別分析 快適・安全社会（きれいな空気や水、静かな環境などに囲まれた社会）

5) 世帯別分析 歴史や文化を身近に感じられる社会

世帯別の傾向は見られない。

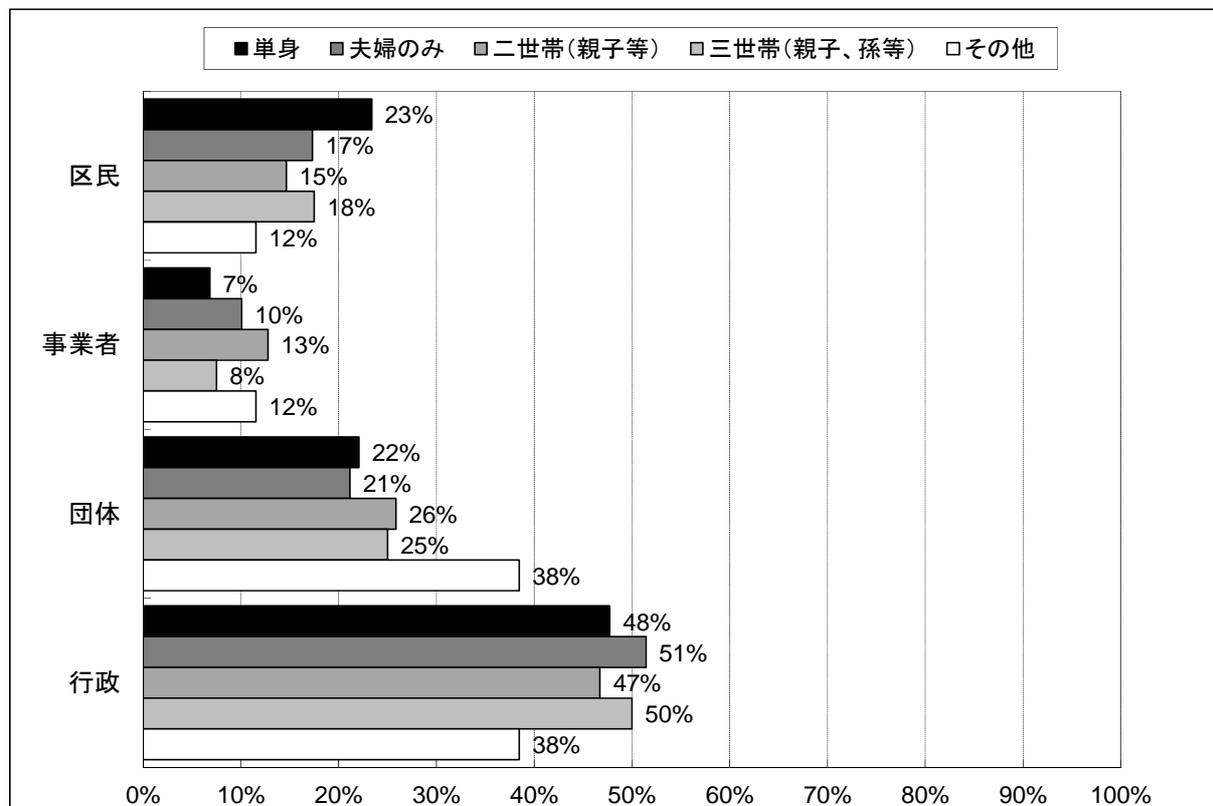


図 65 世帯別分析 歴史や文化を身近に感じられる社会

1.1.9 区に期待する環境施策

<p>文京区(行政)が取り組むべきと考える環境施策について、あなたが特に重要だと考えるものは何ですか。該当する番号に○をつけてください(以下の1~15の中から○は5つまで)。</p>	
<p>1. 区民・事業者に対する省エネルギー行動の普及啓発</p> <p>2. 省エネルギー機器・省エネルギー型建築物の普及促進</p> <p>3. 再生可能エネルギーの普及促進</p> <p>4. ごみになるものを減らすことの推進(リデュース)</p> <p>5. ものをくりかえし何度も使うことの推進(リユース)</p> <p>6. ものをもう一度資源として使うことの推進(リサイクル)</p> <p>7. 植物や動物などの多様な生き物の保全</p> <p>8. みどり・水辺の保全</p>	<p>9. 公害の改善</p> <p>10. 地球温暖化に伴う異常気象や健康被害などへの対応</p> <p>11. 歴史・文化の保全・継承</p> <p>12. 景観の保全・形成</p> <p>13. 区民の体験・知識習得の機会の提供</p> <p>14. 環境学習・環境教育の推進</p> <p>15. 環境に配慮した取組を行う事業者が評価される仕組みづくり</p>

(1) 全体

「みどり・水辺の保全」の割合が 53%と最も高い割合となっている。一方で、「環境学習・環境教育の推進」の割合が9%と最も低い割合となっている。

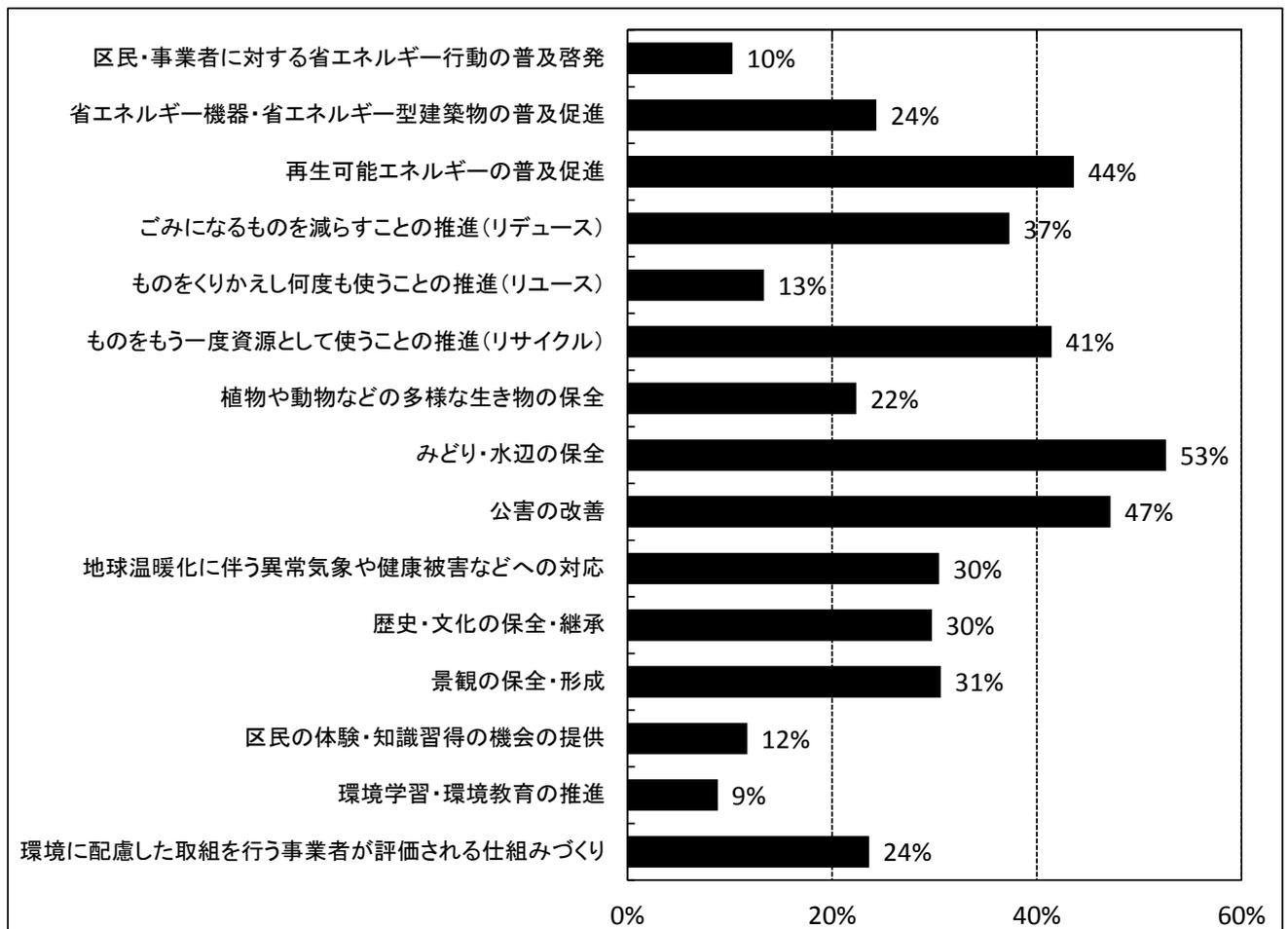


図 66 区に期待する環境施策

表 19 区に期待する環境施策

	H27 結果 (回答数)	H27 結果 (%)
1. 区民・事業者に対する省エネルギー行動の普及啓発	57	10%
2. 省エネルギー機器・省エネルギー型建築物の普及促進	135	24%
3. 再生可能エネルギーの普及促進	242	44%
4. ごみになるものを減らすことの推進(リデュース)	207	37%
5. ものをくりかえし何度も使うことの推進(リユース)	74	13%
6. ものをもう一度資源として使うことの推進(リサイクル)	230	41%
7. 植物や動物などの多様な生き物の保全	124	22%
8. みどり・水辺の保全	292	53%
9. 公害の改善	262	47%
10.地球温暖化に伴う異常気象や健康被害などへの対応	169	30%
11.歴史・文化の保全・継承	165	30%
12.景観の保全・形成	170	31%
13.区民の体験・知識習得の機会の提供	65	12%
14.環境学習・環境教育の推進	49	9%
15.環境に配慮した取組を行う事業者が評価される仕組みづくり	131	24%
計(無回答を除く)	2372	-
無回答	-	-

1.2 事業者（大規模）

1.2.4 事業者（大規模）の属性

(1) 貴事業所の業種

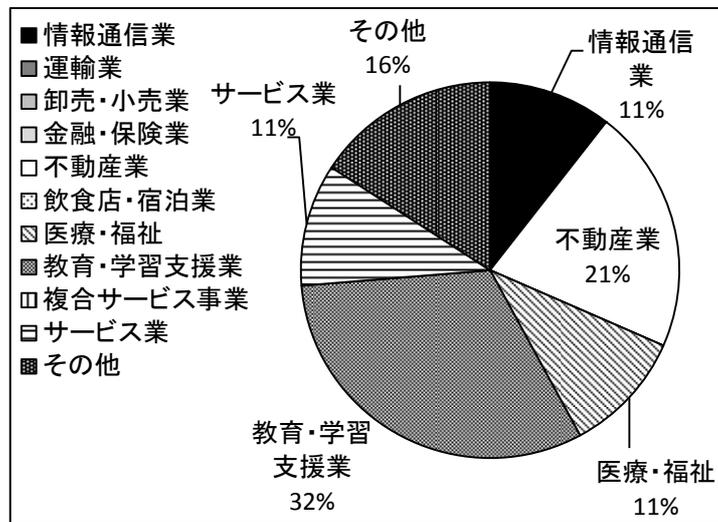


図 67 事業所の業種

表 20 事業所の業種

	H27 結果 (回答数)	H27 結果 (%)
1. 情報通信業	2	11%
2. 運輸業	0	0%
3. 卸売・小売業	0	0%
4. 金融・保険業	0	0%
5. 不動産業	4	21%
6. 飲食店・宿泊業	0	0%
7. 医療・福祉	2	11%
8. 教育・学習支援業	6	32%
9. 複合サービス事業	0	0%
10. サービス業	2	11%
11. その他	3	16%
計(無回答を除く)	19	-
無回答	0	-

(2) 事業所形態

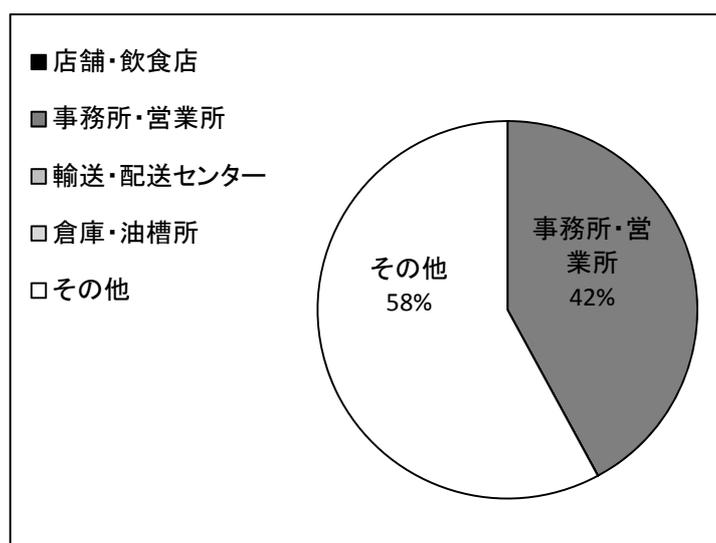


図 68 事業所形態

表 21 事業所形態

	H27 結果 (回答数)	H27 結果 (%)
1. 店舗・飲食店	0	0%
2. 事務所・営業所	8	42%
3. 輸送・配送センター	0	0%
4. 倉庫・油槽所	0	0%
5. その他	11	58%
計(無回答を除く)	19	-
無回答	0	-

(3) 従業員数

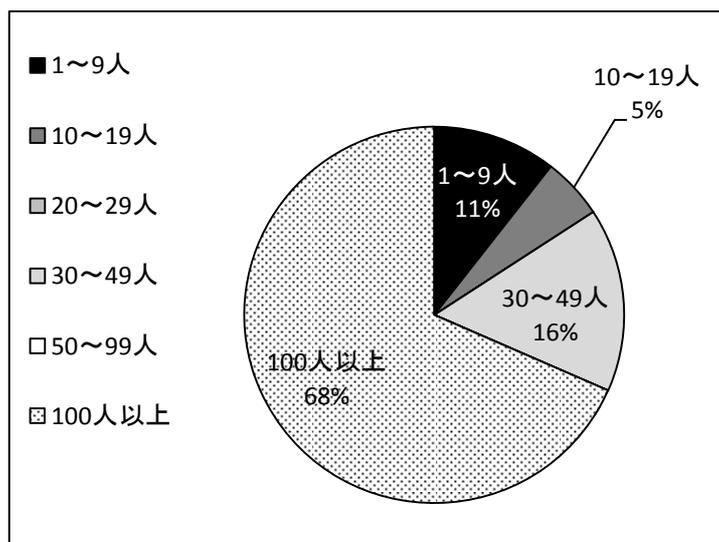


図 69 従業員数

表 22 従業員数

	H27 結果 (回答数)	H27 結果 (%)
1. 1~9 人	2	11%
2. 10~19 人	1	5%
3. 20~29 人	0	0%
4. 30~49 人	3	16%
5. 50~99 人	0	0%
6. 100 人以上	13	68%
計(無回答を除く)	19	-
無回答	0	-

(4) 建物所有形態

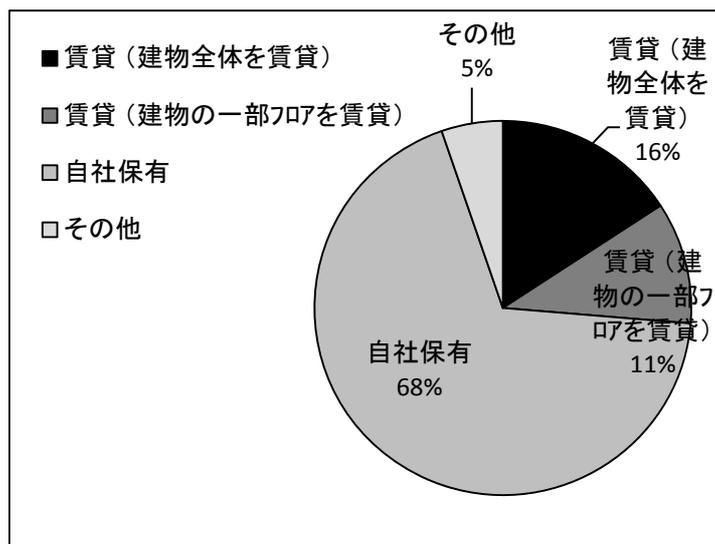


図 70 建物所有形態

表 23 建物所有形態

	H27 結果 (回答数)	H27 結果 (%)
1. 賃貸（建物全体を賃貸）	3	16%
2. 賃貸（建物の一部フロアを賃貸）	2	11%
3. 自社保有	13	68%
4. その他	1	5%
計（無回答を除く）	19	-
無回答	0	-

1.2.5 環境問題への関心

貴事業所は環境問題に関心がありますか。該当する番号に○をつけてください。	
1. とても関心がある	3. あまり関心がない
2. 少し関心がある	4. 全く関心がない

(1) 全体

「とても関心がある」、「少し関心がある」の割合が 100%と高い割合となっている。

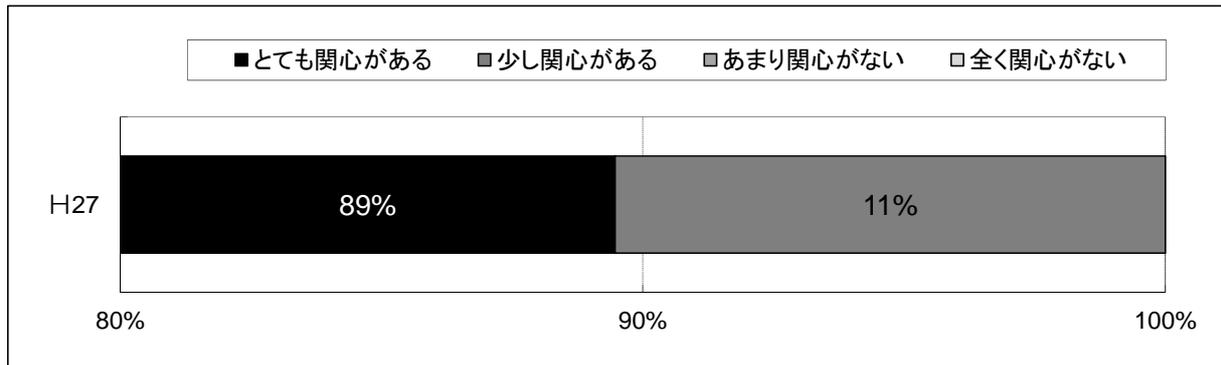


図 71 環境問題への関心

表 24 環境問題への関心

	H27 結果 (回答数)	H27 結果 (%)
1. とても関心がある	17	89%
2. 少し関心がある	2	11%
3. あまり関心がない	0	0%
4. 全く関心がない	0	0%
計(無回答を除く)	19	-
無回答	0	-

1.2.6 環境保全の取組の状況

<p>貴事業所は環境のために、日常の生活の中で次のようなことを行っていますか。該当する番号に○をつけてください(行動ごとに○を1つ)。 質問に該当するものを持っていない場合などは、「あてはまらない」に○をつけてください。 <例>①1の行動について、ビルのテナントであるため空調機器の温度設定を自社で調整できない場合など</p>	
1. 行っている	3. これから行いたい
2. 時々行っている	4. 今後も行うつもりはない

(1) 全体

1) 省エネルギーに配慮した行動

いずれの行動においても、「行っている」の割合が100%となっている。

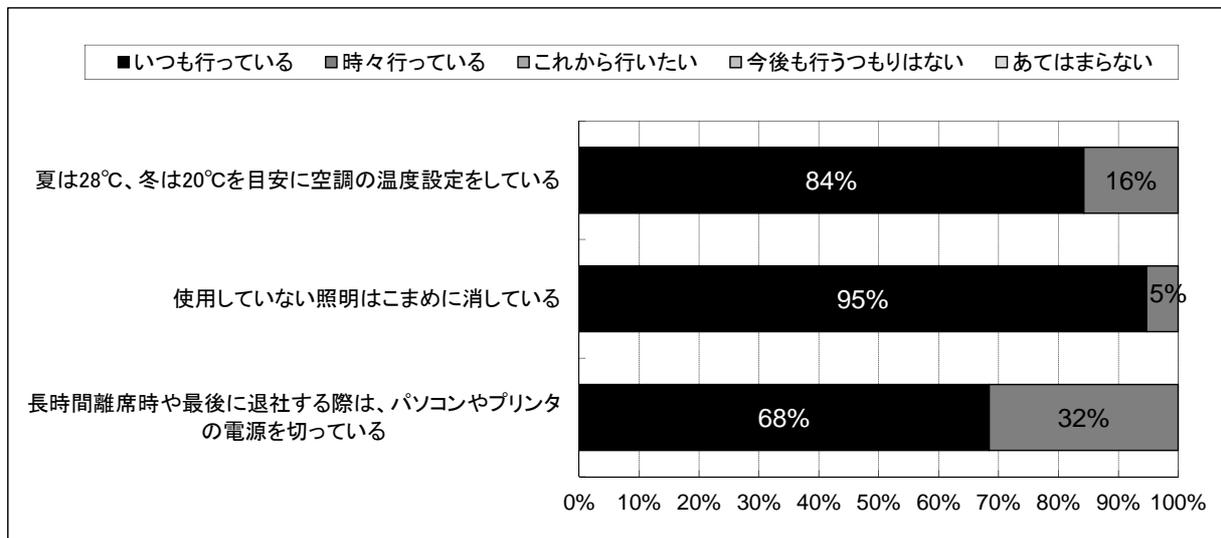


図 72 省エネルギーに配慮した行動について

表 25 省エネルギーに配慮した行動について

	いつも行っている	時々行っている	これから行いたい	今後も行うつもりはない	あてはまらない	計(無回答を除く)
1. 夏は 28℃、冬は 20℃を目安に空調の温度設定をしている	16	3	0	0	0	19
	84%	16%	0%	0%	0%	-
2. 使用していない照明はこまめに消している	18	1	0	0	0	19
	95%	5%	0%	0%	0%	-
3. 長時間離席時や最後に退社する際は、パソコンやプリンタの電源を切っている	13	6	0	0	0	19
	68%	32%	0%	0%	0%	-

その他

- ・照明の LED 化と省エネの空調機へ更新を推進
- ・タイマーによる定時一切消灯（20 時）残業を行う箇所のみ点灯
- ・プリンタ等は一定時間使用しない場合に自動的に OFF になる設定をしている
- ・節電のため、動力費（電力量）節減
- ・エレベーターより階段を推奨

2) 資源の循環利用に配慮した行動

「事業活動から出る廃棄物が少なくなるよう活動を見直している」、「資源の分別・拠点回収や生ごみの堆肥化など、リサイクルを実施している」の割合が 89%と比較的高い割合となっている。一方、「グリーン購入（環境負荷の少ない製品やサービスを優先的に購入すること）を実施している」の割合は69%と比較的低い割合となっている。

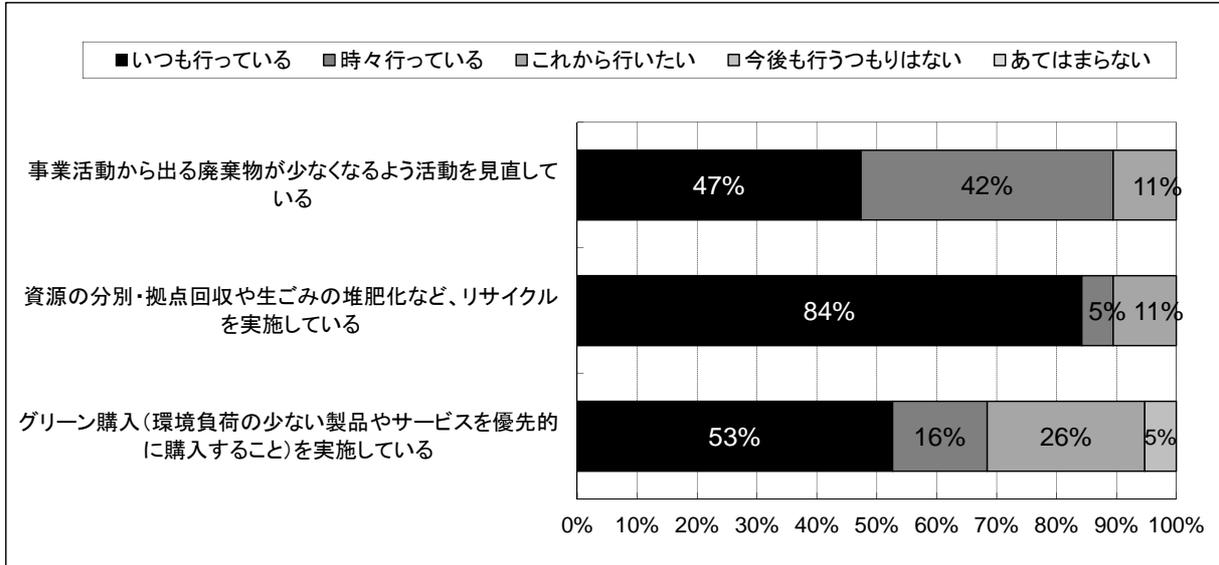


図 73 資源の循環利用に配慮した行動について

表 26 資源の循環利用に配慮した行動について

	いつも行っている	時々行っている	これから行いたい	今後も行うつもりはない	あてはまらない	計(無回答を除く)
1. 事業活動から出る廃棄物が少なくなるよう活動を見直している	9	8	2	0	0	19
	47%	42%	11%	0%	0%	-
2. 資源の分別・拠点回収や生ごみの堆肥化など、リサイクルを実施している	16	1	2	0	0	19
	84%	5%	11%	0%	0%	-
3. グリーン購入（環境負荷の少ない製品やサービスを優先的に購入すること）を実施している	10	3	5	1	0	19
	53%	16%	26%	5%	0%	-

その他

・ 循環再生紙を導入

3) 自然環境に配慮した行動

「樹木や生垣などのみどりを保全している」の割合が 95%と比較的高い割合となっている。一方、「ビオトープなどの水辺を保全・創出している」の割合が 16%と比較的低い割合となっている。

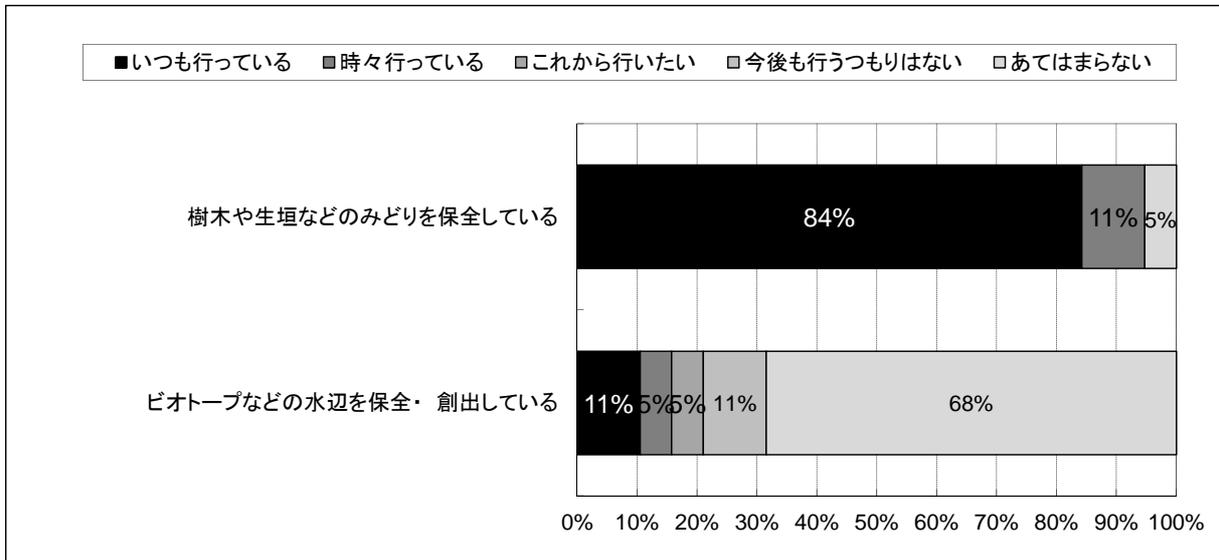


図 74 自然環境に配慮した行動について

表 27 自然環境に配慮した行動について

	いつも行っている	時々行っている	これから行いたい	今後も行うつもりはない	あてはまらない	計(無回答を除く)
1. 樹木や生垣などのみどりを保全している	16	2	0	0	1	19
	84%	11%	0%	0%	5%	-
2. ビオトープなどの水辺を保全・創出している	2	1	1	2	13	19
	11%	5%	5%	11%	68%	-

その他

- ・ 公開空地、屋上緑化を行なっている

4) 暮らしの快適・安全に配慮した行動

「事業所内や周辺の美化活動に取り組んでいる」の割合は90%と比較的高い割合となっている。

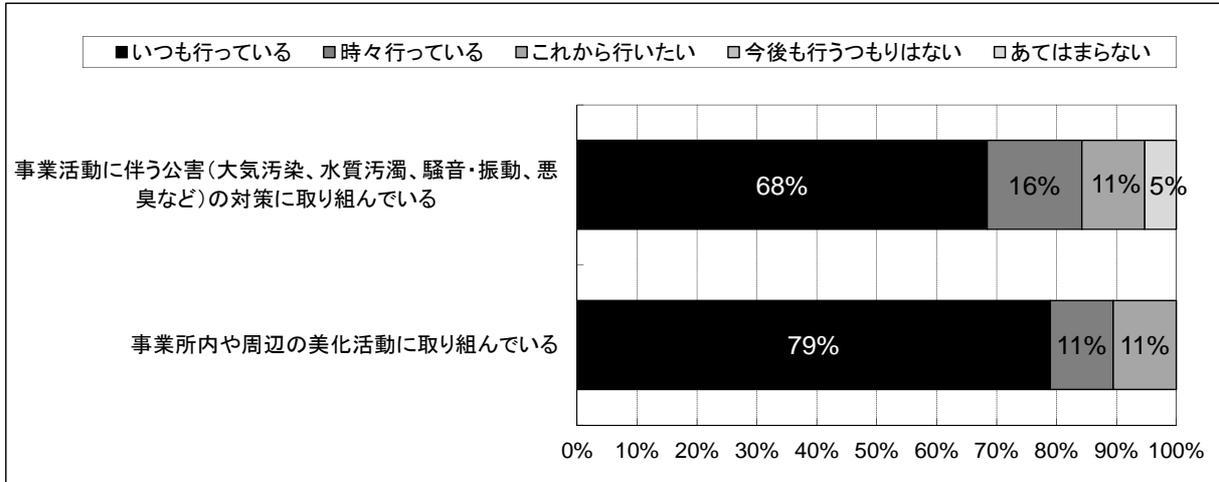


図 75 暮らしの快適・安全に配慮した行動について

表 28 暮らしの快適・安全に配慮した行動について

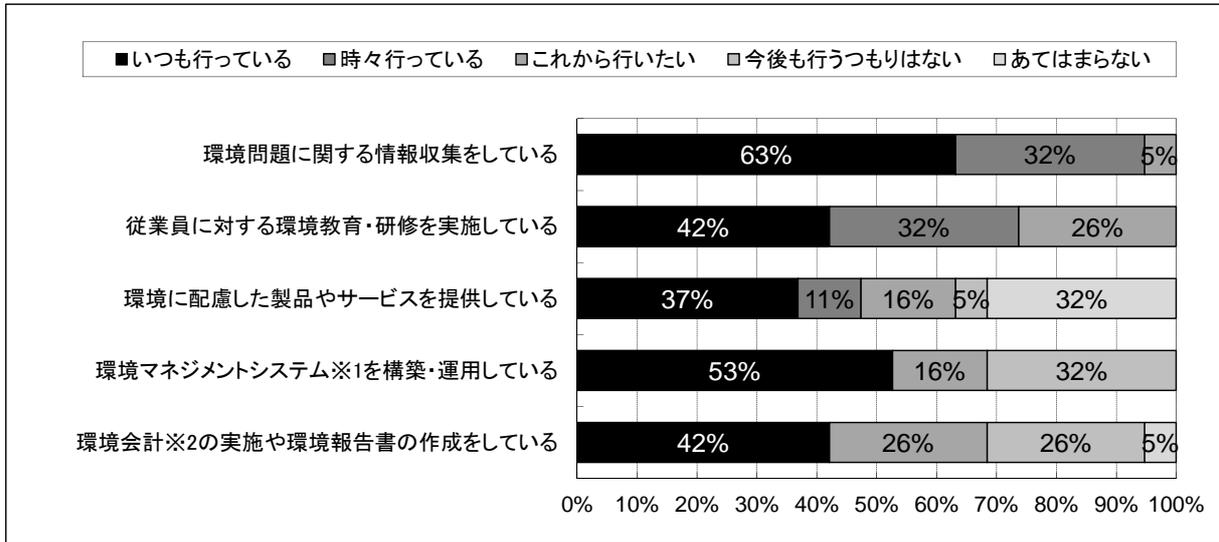
	いつも行っている	時々行っている	これから行いたい	今後も行うつもりはない	あてはまらない	計(無回答を除く)
1. 事業活動に伴う公害(大気汚染、水質汚濁、騒音・振動、悪臭など)の対策に取り組んでいる	13	3	2	0	1	19
	68%	16%	11%	0%	5%	-
2. 事業所内や周辺の美化活動に取り組んでいる	15	2	2	0	0	19
	79%	11%	11%	0%	0%	-

その他

・ 公開空地及び近隣の歩道の清掃活動を行なう

5) 環境に配慮した取組を行うための連携・学習

「環境問題に関する情報収集をしている」の割合が95%と比較的高い割合となっている。



※1 環境マネジメントシステム

組織や事業所が、環境保全に取り組むための事業所内の体制や手続きなどを定めた仕組みのこと。代表的なものに、ISO14001やエコアクション、エコステージなどがある。

※2 環境会計

組織が環境保全の取組を効率的かつ効果的に推進していくことを目的として、事業活動における環境保全のためのコストとその活動により得られた効果を認識し、可能な限り定量化（貨幣単位または物量単位）して伝えること。

図 76 環境に配慮した取組を行うための連携・学習について

表 29 環境に配慮した取組を行うための連携・学習について

	いつも行っている	時々行っている	これから行いたい	今後も行うつもりはない	あてはまらない	計(無回答を除く)
1. 環境問題に関する情報収集をしている	12 63%	6 32%	1 5%	0 0%	0 0%	19 -
2. 従業員に対する環境教育・研修を実施している	8 42%	6 32%	5 26%	0 0%	0 0%	19 -
3. 環境に配慮した製品やサービスを提供している	7 37%	2 11%	3 16%	1 5%	6 32%	19 -
4. 環境マネジメントシステムを構築・運用している	10 53%	-	3 16%	6 32%	0 0%	19 -
5. 環境会計の実施や環境報告書の作成をしている	8 42%	-	5 26%	5 26%	1 5%	19 -

その他

なし

1.2.7 貴事業所が希望する文京区の未来の環境について

文京区の未来の環境で、貴事業所が希望するものは何ですか。該当する番号に○をつけてください(○は2つまで)。	
1. 低炭素社会(省エネルギーや再生可能エネルギーの利用が進み、二酸化炭素の排出が少ない社会)	4. 快適・安全社会(きれいな空気や水、静かな環境などに囲まれた社会)
2. 循環型社会(ごみの発生が減り、使えるものを再使用し、資源のリサイクルが進んだ社会)	5. 歴史や文化を身近に感じられる社会
3. 自然共生社会(動物や植物を大事にし、人間と自然が共に生きる社会)	

(1) 全体

「低炭素社会(省エネルギーや再生可能エネルギーの利用が進み、二酸化炭素の排出が少ない社会)」が74%と、最も希望する文京区の未来の環境となった。一方で「自然共生社会(動物や植物を大事にし、人間と自然が共に生きる社会)」が11%と、最も低い割合となっている。

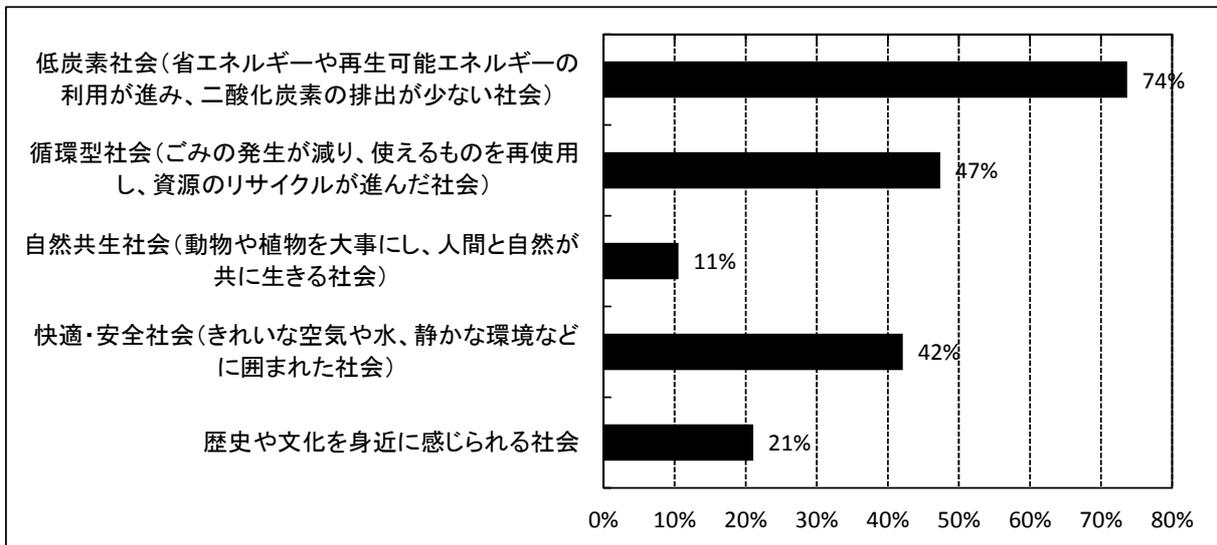


図 77 希望する文京区の未来の環境

表 30 希望する文京区の未来の環境

	H27 結果 (回答数)	H27 結果 (%)
1. 低炭素社会(省エネルギーや再生可能エネルギーの利用が進み、二酸化炭素の排出が少ない社会)	14	74%
2. 循環型社会(ごみの発生が減り、使えるものを再使用し、資源のリサイクルが進んだ社会)	9	47%
3. 自然共生社会(動物や植物を大事にし、人間と自然が共に生きる社会)	2	11%
4. 快適・安全社会(きれいな空気や水、静かな環境などに囲まれた社会)	8	42%
5. 歴史や文化を身近に感じられる社会	4	21%
計(無回答を除く)	37	-
無回答	-	-

1.2.8 区民・事業者・団体・行政の役割

文京区の環境を良くしていくうえで、重要な役割を担うのは、区民・事業者・団体・行政のうちいずれであると思いますか。(分野の項目ごとに○を2つまで)。	
<ul style="list-style-type: none"> 1. 低炭素社会(省エネルギーや再生可能エネルギーの利用が進み、二酸化炭素の排出が少ない社会)の実現 2. 循環型社会(ごみの発生が減り、使えるものを再使用し、資源のリサイクルが進んだ社会)の実現 3. 自然共生社会(動物や植物を大事にし、人間と自然が共に生きる社会)の実現 	<ul style="list-style-type: none"> 4. 快適・安全社会(きれいな空気や水、静かな環境などに囲まれた社会)の実現 5. 歴史や文化を身近に感じられる社会の実現

(1) 全体

事業者が最も重要な役割を担うと思われる分野は、「低炭素社会(省エネルギーや再生可能エネルギーの利用が進み、二酸化炭素の排出が少ない社会)の実現」、「循環型社会(ごみの発生が減り、使えるものを再使用し、資源のリサイクルが進んだ社会)の実現」となった。

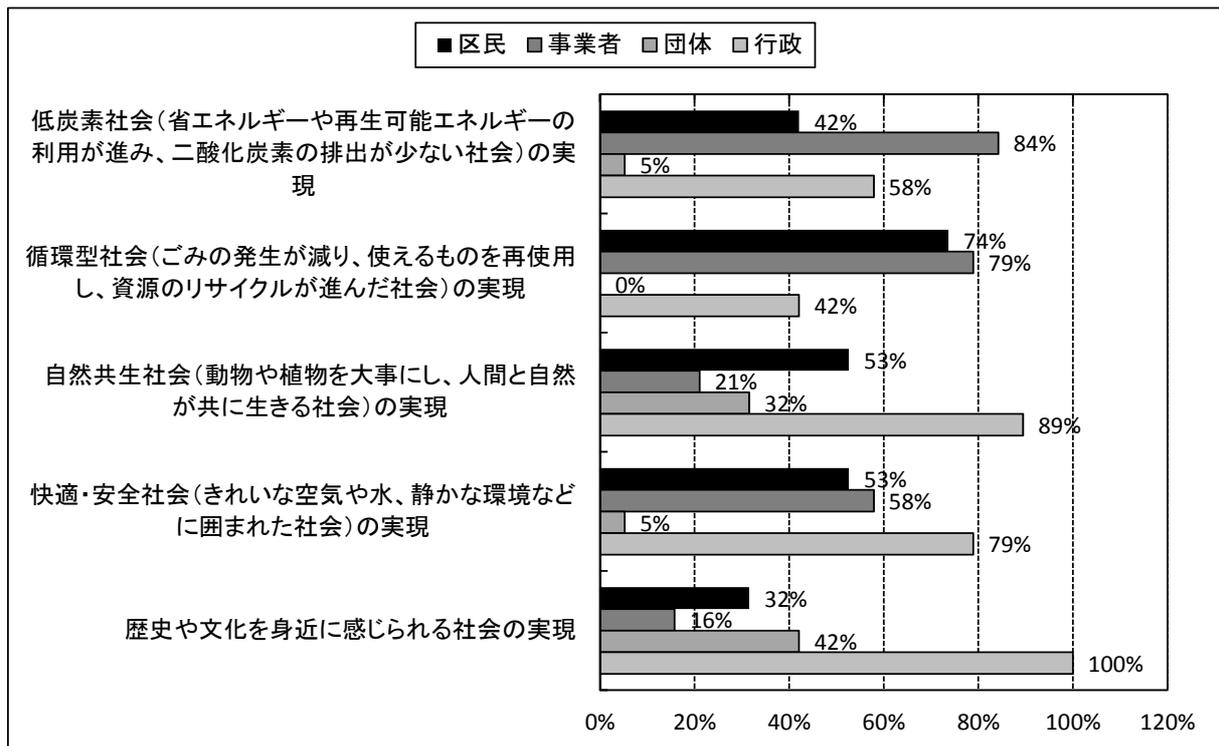


図 78 最も重要な役割を担う主体

表 31 最も重要な役割を担う主体

	区民	事業者	団体	行政	計(無回答を除く)
1. 低炭素社会(省エネルギーや再生可能エネルギーの利用が進み、二酸化炭素の排出が少ない社会)の実現	8	16	1	11	36
	42%	84%	5%	58%	-
2. 循環型社会(ごみの発生が減り、使えるものを再使用し、資源のリサイクルが進んだ社会)の実現	14	15	0	8	37
	74%	79%	0%	42%	-
3. 自然共生社会(動物や植物を大事にし、人間と自然が共に生きる社会)の実現	10	4	6	17	37
	53%	21%	32%	89%	
4. 快適・安全社会(きれいな空気や水、静かな環境などに囲まれた社会)の実現	10	11	1	15	37
	53%	58%	5%	79%	-
5. 歴史や文化を身近に感じられる社会の実現	6	3	8	19	36
	32%	16%	42%	100%	-

1.2.9 区に期待する環境施策

文京区(行政)が取り組むべきと考える環境施策について、貴事業所が特に重要だと考えるものは何ですか。該当する番号に○をつけてください(以下の1~15の中から○は5つまで)。	
1. 区民・事業者に対する省エネルギー行動の普及啓発	8. みどり・水辺の保全
2. 省エネルギー機器・省エネルギー型建築物の普及促進	9. 公害の改善
3. 再生可能エネルギーの普及促進	10. 地球温暖化に伴う異常気象や健康被害などへの対応
4. ごみになるものを減らすことの推進(リデュース)	11. 歴史・文化の保全・継承
5. ものをくりかえし何度も使うことの推進(リユース)	12. 景観の保全・形成
6. ものをもう一度資源として使うことの推進(リサイクル)	13. 区民の体験・知識習得の機会の提供
7. 植物や動物などの多様な生き物の保全	14. 環境学習・環境教育の推進
	15. 環境に配慮した取組を行う事業者が評価される仕組みづくり

(1) 全体

「省エネルギー機器・省エネルギー型建築物の普及促進」の割合が74%と最も高い割合となっている。一方で、「ものをくりかえし何度も使うことの推進(リユース)」の割合が5%と最も低い割合となっている。

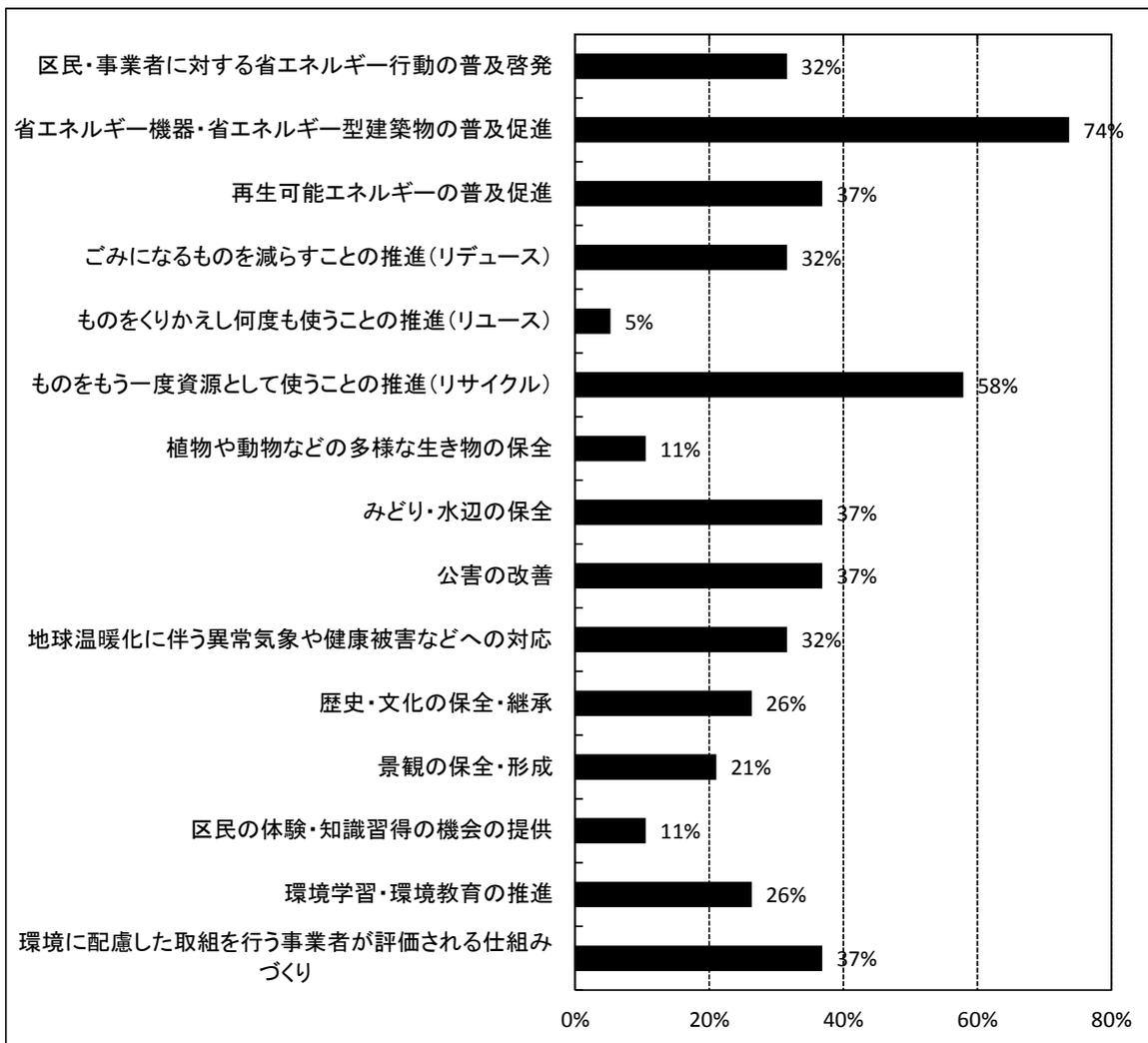


図 79 区に期待する環境施策

表 32 区に期待する環境施策

	H27 結果 (回答数)	H27 結果 (%)
1. 区民・事業者に対する省エネルギー行動の普及啓発	6	32%
2. 省エネルギー機器・省エネルギー型建築物の普及促進	14	74%
3. 再生可能エネルギーの普及促進	7	37%
4. ごみになるものを減らすことの推進(リデュース)	6	32%
5. ものをくりかえし何度も使うことの推進(リユース)	1	5%
6. ものをもう一度資源として使うことの推進(リサイクル)	11	58%
7. 植物や動物などの多様な生き物の保全	2	11%
8. みどり・水辺の保全	7	37%
9. 公害の改善	7	37%
10.地球温暖化に伴う異常気象や健康被害などへの対応	6	32%
11.歴史・文化の保全・継承	5	26%
12.景観の保全・形成	4	21%
13.区民の体験・知識習得の機会の提供	2	11%
14.環境学習・環境教育の推進	5	26%
15.環境に配慮した取組を行う事業者が評価される仕組みづくり	7	37%
計(無回答を除く)	90	-
無回答	-	-

1.3 事業者（中小規模）

1.3.4 事業者（中小規模）の属性

(1) 貴事業所の業種

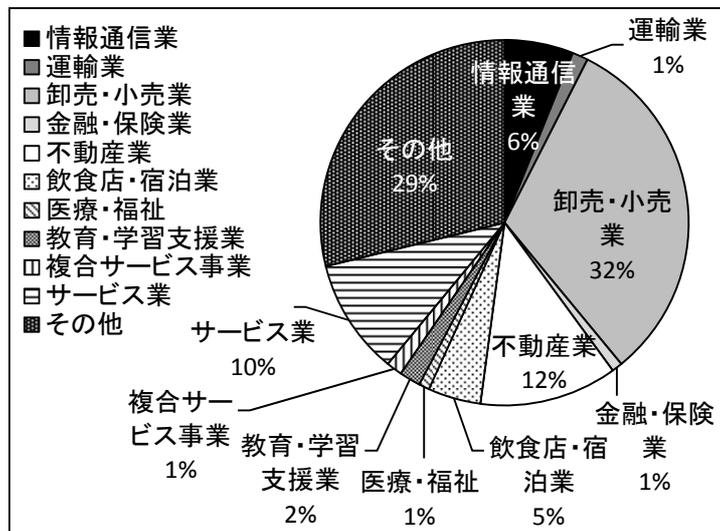


図 80 事業所の業種

表 33 事業所の業種

	H27 結果 (回答数)	H27 結果 (%)
1. 情報通信業	13	6%
2. 運輸業	3	1%
3. 卸売・小売業	68	32%
4. 金融・保険業	2	1%
5. 不動産業	26	12%
6. 飲食店・宿泊業	10	5%
7. 医療・福祉	2	1%
8. 教育・学習支援業	4	2%
9. 複合サービス事業	3	1%
10. サービス業	22	10%
11. その他	62	29%
計(無回答を除く)	215	-
無回答	6	-

(2) 事業所形態

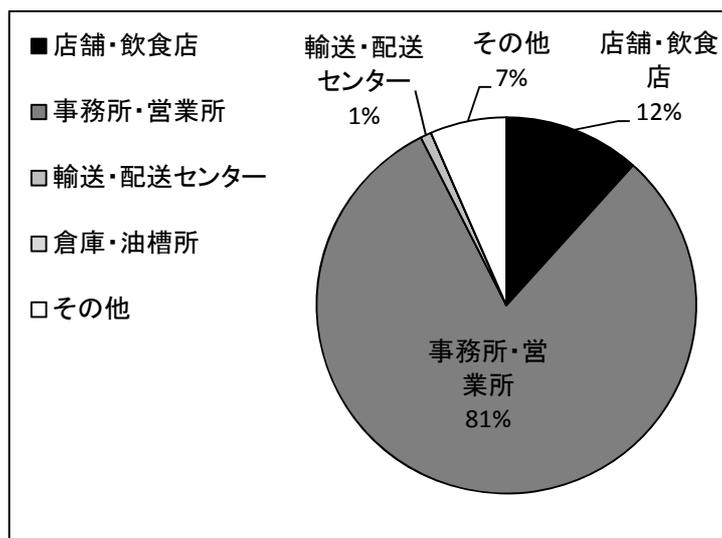


図 81 事業所形態

表 34 事業所形態

	H27 結果 (回答数)	H27 結果 (%)
1. 店舗・飲食店	25	12%
2. 事務所・営業所	174	81%
3. 輸送・配送センター	2	1%
4. 倉庫・油槽所	0	0%
5. その他	14	7%
計(無回答を除く)	215	-
無回答	6	-

(3) 従業員数

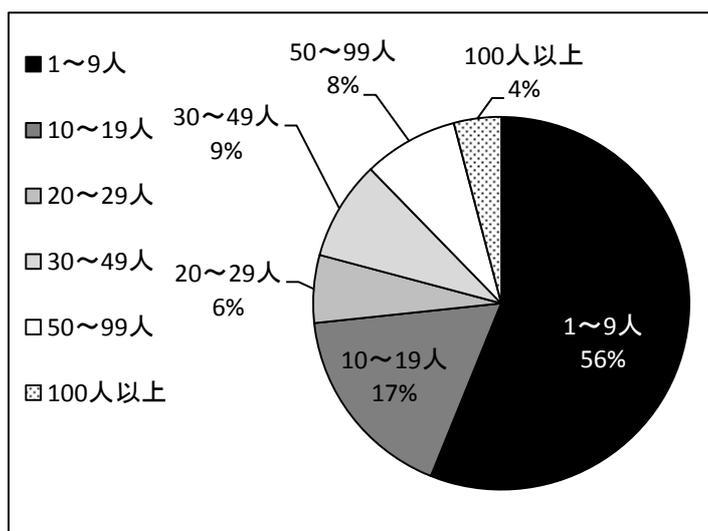


図 82 従業員数

表 35 従業員数

	H27 結果 (回答数)	H27 結果 (%)
1. 1~9 人	124	56%
2. 10~19 人	38	17%
3. 20~29 人	13	6%
4. 30~49 人	19	9%
5. 50~99 人	18	8%
6. 100 人以上	9	4%
計(無回答を除く)	221	-
無回答	0	-

(4) 建物所有形態

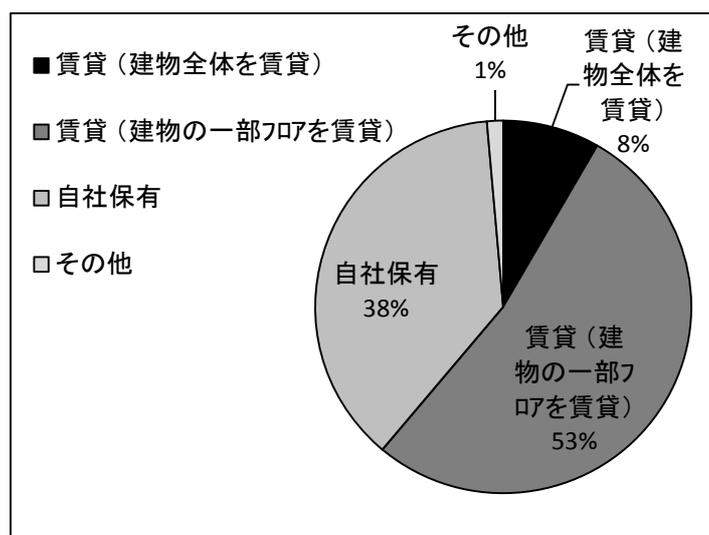


図 83 建物所有形態

表 36 建物所有形態

	H27 結果 (回答数)	H27 結果 (%)
1. 賃貸 (建物全体を賃貸)	18	8%
2. 賃貸 (建物の一部フロアを賃貸)	114	53%
3. 自社保有	81	38%
4. その他	3	1%
計 (無回答を除く)	216	-
無回答	5	-

1.3.5 環境問題への関心

貴事業所は環境問題に関心がありますか。該当する番号に○をつけてください。	
1. とても関心がある	3. あまり関心がない
2. 少し関心がある	4. 全く関心がない

(1) 全体

「とても関心がある」、「少し関心がある」の割合が93%と比較的高い割合となっている。

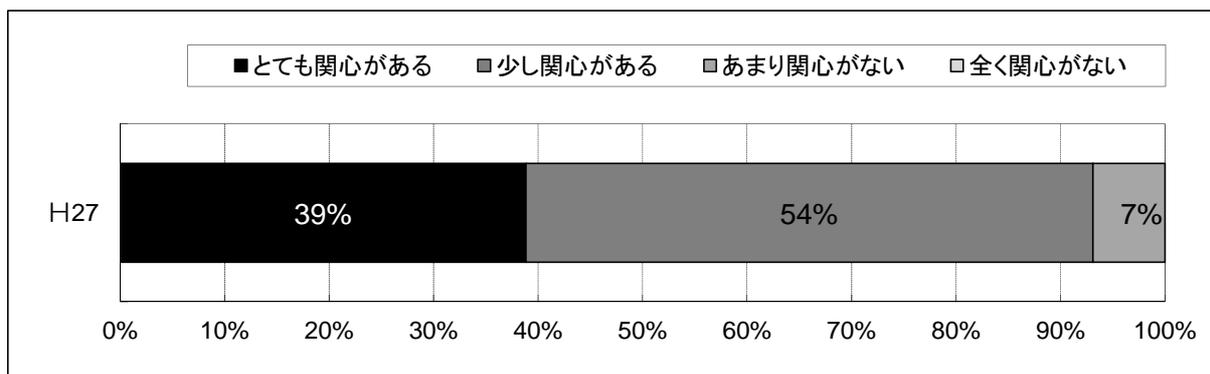


図 84 環境問題への関心

表 37 環境問題への関心

	H27 結果 (回答数)	H27 結果 (%)
1. とても関心がある	73	39%
2. 少し関心がある	102	54%
3. あまり関心がない	13	7%
4. 全く関心がない	0	0%
計(無回答を除く)	188	-
無回答	33	-

(2) 職業別分析 環境問題への関心

業種による傾向は見られない。

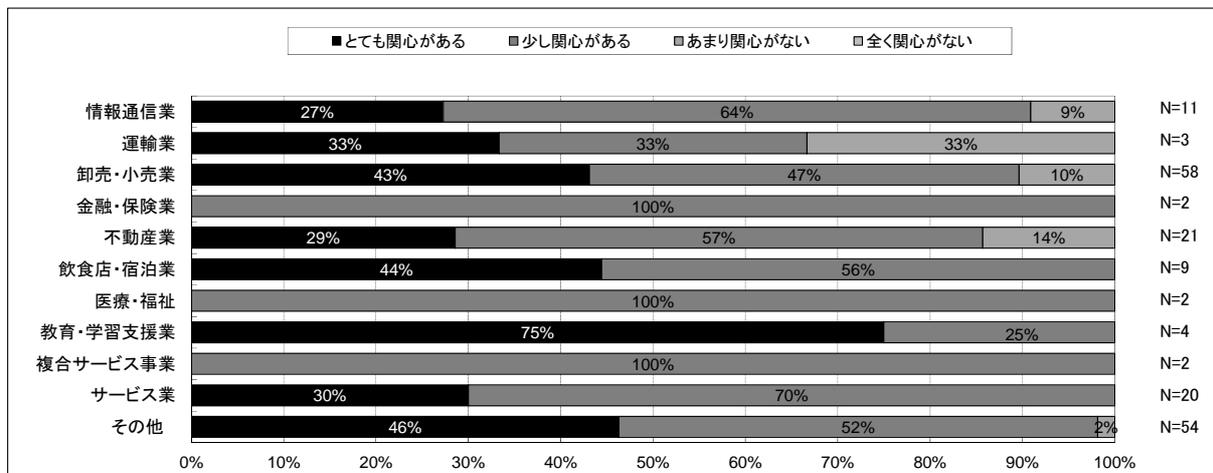


図 85 職業別分析 環境問題への関心

1.3.6 環境保全の取組の状況

貴事業所は環境のために、日常の生活の中で次のようなことを行っていますか。該当する番号に○をつけてください(行動ごとに○を1つ)。
 質問に該当するものを持っていない場合などは、「あてはまらない」に○をつけてください。
 <例>①1の行動について、ビルのテナントであるため空調機器の温度設定を自社で調整できない場合など

1. 行っている	3. これから行いたい
2. 時々行っている	4. 今後も行うつもりはない

(1) 全体

1) 省エネルギーに配慮した行動

「長時間離席時や最後に退社する際は、パソコンやプリンタの電源を切っている」の割合が59%と比較的に低くなっている。

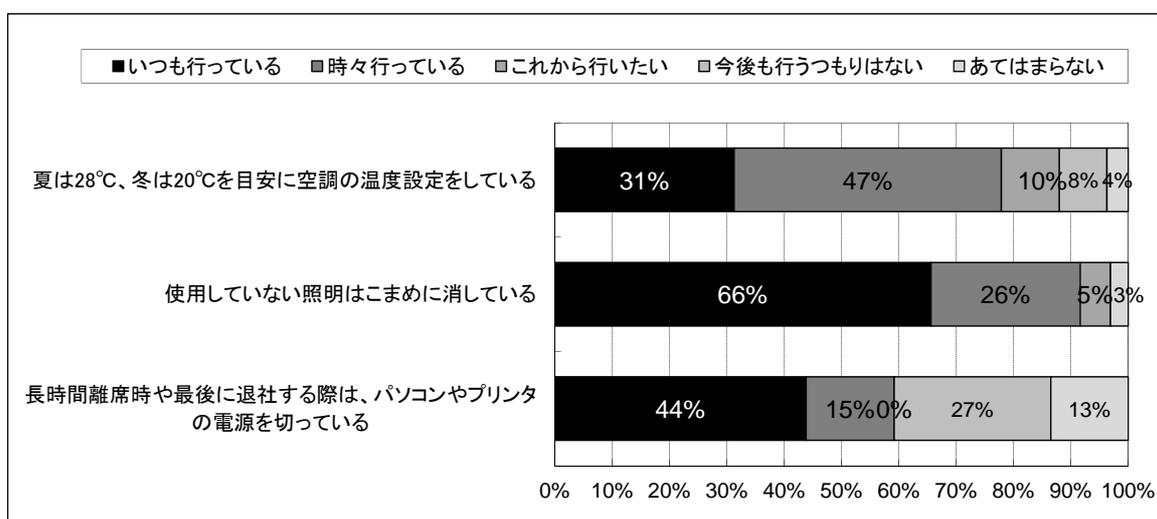


図 86 省エネルギーに配慮した行動について

表 38 省エネルギーに配慮した行動について

	いつも行っている	時々行っている	これから行いたい	今後も行うつもりはない	あてはまらない	計(無回答を除く)
1. 夏は28℃、冬は20℃を目安に空調の温度設定をしている	68	101	22	18	8	217
	31%	47%	10%	8%	4%	-
2. 使用していない照明はこまめに消している	149	59	12	0	7	227
	66%	26%	5%	0%	3%	-
3. 長時間離席時や最後に退社する際は、パソコンやプリンタの電源を切っている	143	50	0	89	44	326
	44%	15%	0%	27%	13%	-

その他

- ・ LED 照明の導入を行っている
- ・ できるだけ空調を使わない
- ・ 飲食店なので節電は難しい

2) 資源の循環利用に配慮した行動

「資源の分別・拠点回収や生ごみの堆肥化など、リサイクルを実施している」の割合が87%と最も高くなっている。

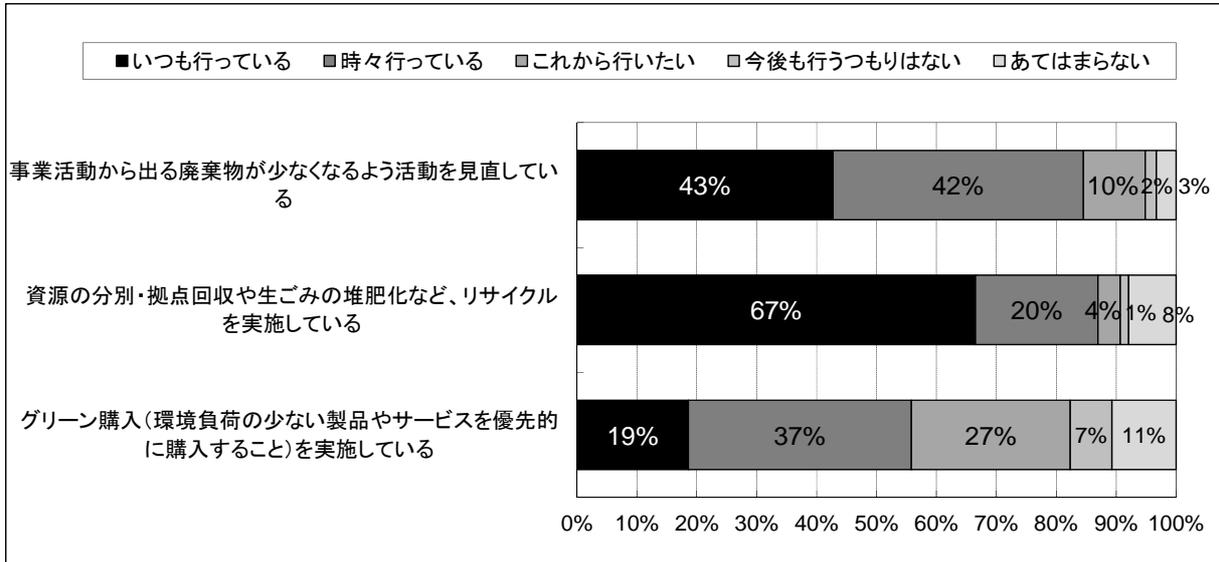


図 87 資源の循環利用に配慮した行動について

表 39 資源の循環利用に配慮した行動について

	いつも行っている	時々行っている	これから行いたい	今後行うつもりはない	あてはまらない	計(無回答を除く)
1. 事業活動から出る廃棄物が少なくなるよう活動を見直している	91	89	22	4	7	213
	43%	42%	10%	2%	3%	-
2. 資源の分別・拠点回収や生ごみの堆肥化など、リサイクルを実施している	143	44	8	3	17	215
	67%	20%	4%	1%	8%	-
3. グリーン購入(環境負荷の少ない製品やサービスを優先的に購入すること)を実施している	40	80	57	15	23	215
	19%	37%	27%	7%	11%	-

その他

- ・トイレトーパー再生紙利用
- ・コピー等に裏紙を積極的に使用し、古紙はなるべく処分せず、リサイクル等にまとめている
- ・ビルオーナーが環境保全に積極的で分別が徹底されている

3) 自然環境に配慮した行動

「ビオトープなどの水辺を保全・創出している」の割合が7%と比較的低い割合となっている。

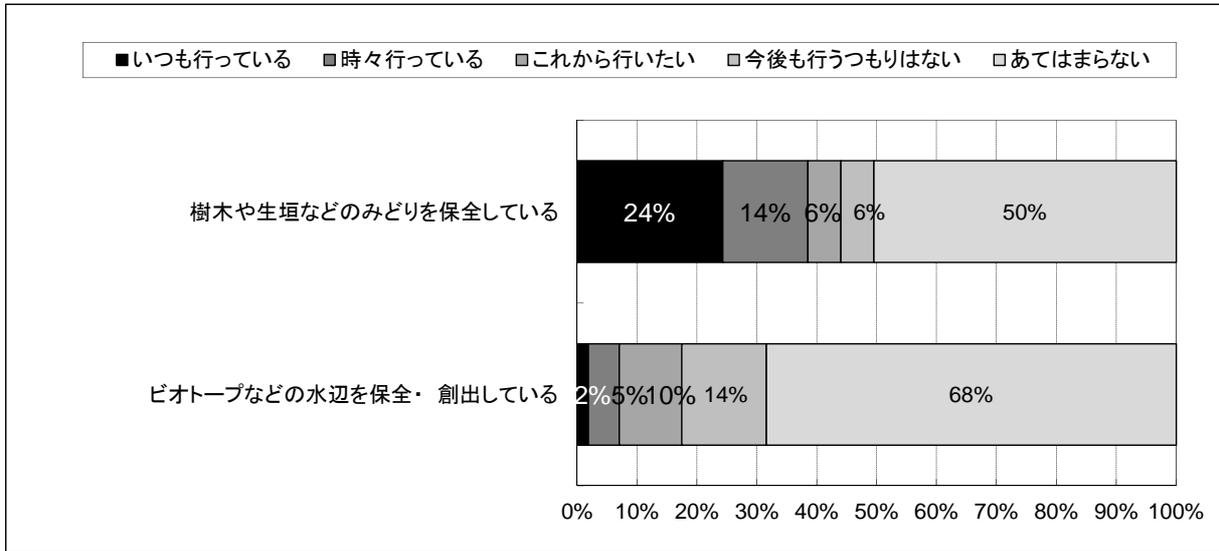


図 88 自然環境に配慮した行動について

表 40 自然環境に配慮した行動について

	いつも行っている	時々行っている	これから行いたい	今後も行うつもりはない	あてはまらない	計(無回答を除く)
1. 樹木や生垣などのみどりを保全している	53	31	12	12	110	218
	24%	14%	6%	6%	50%	-
2. ビオトープなどの水辺を保全・創出している	4	11	22	30	145	212
	2%	5%	10%	14%	68%	-

その他

- ・テナントビルのため、実施できない
- ・事務所と工場に自然環境がない

4) 暮らしの快適・安全に配慮した行動

「事業所内や周辺の美化活動に取り組んでいる」の割合が70%と比較的高い割合となっている。

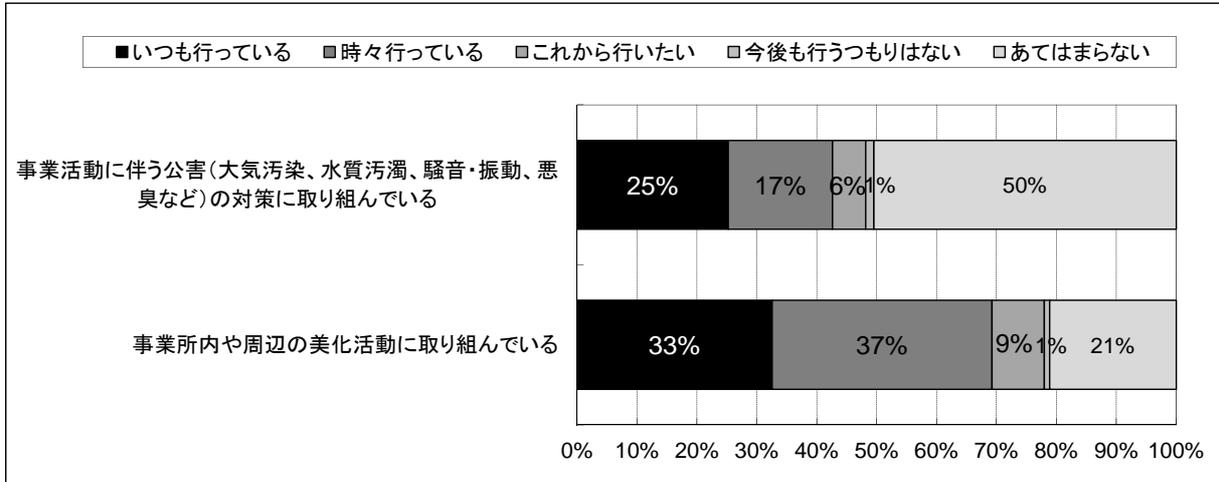


図 89 暮らしの快適・安全に配慮した行動について

表 41 暮らしの快適・安全に配慮した行動について

	いつも行っている	時々行っている	これから行いたい	今後も行うつもりはない	あてはまらない	計(無回答を除く)
1. 事業活動に伴う公害(大気汚染、水質汚濁、騒音・振動、悪臭など)の対策に取り組んでいる	55	38	12	3	110	218
	25%	17%	6%	1%	50%	-
2. 事業所内や周辺の美化活動に取り組んでいる	71	80	19	2	46	218
	33%	37%	9%	1%	21%	-

その他

・騒音に注意している

5) 環境に配慮した取組を行うための連携・学習

「環境問題に関する情報収集をしている」の割合が47%と最も高くなっている。

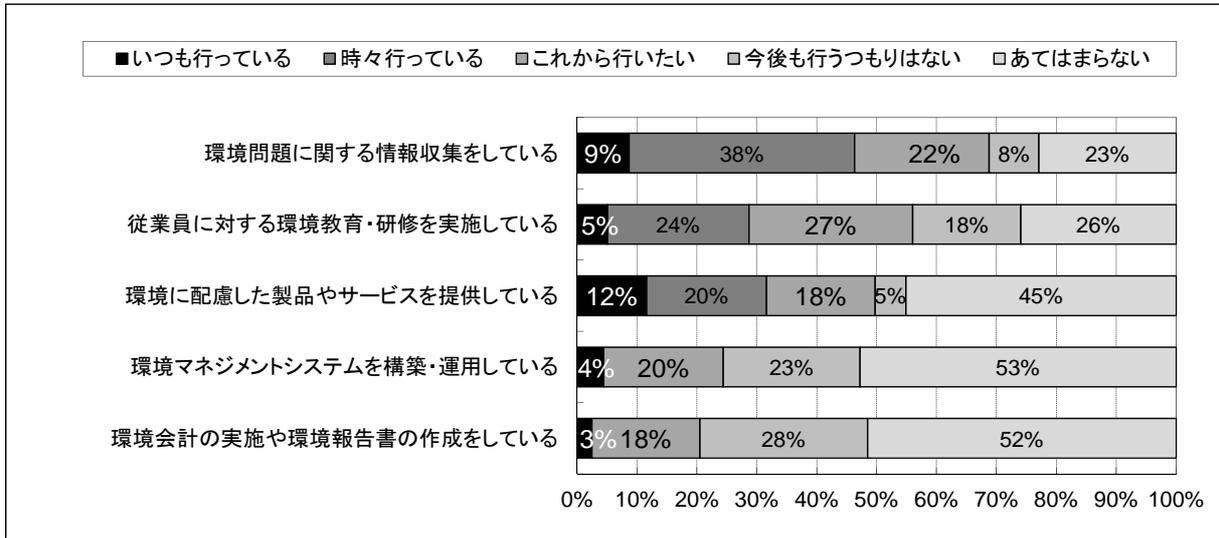


図 90 環境に配慮した取組を行うための連携・学習について

表 42 環境に配慮した取組を行うための連携・学習について

	いつも行っている	時々行っている	これから行いたい	今後行うつもりはない	あてはまらない	計(無回答を除く)
1. 環境問題に関する情報収集をしている	19 9%	82 38%	49 22%	18 8%	50 23%	218 -
2. 従業員に対する環境教育・研修を実施している	11 5%	51 24%	59 27%	39 18%	56 26%	216 -
3. 環境に配慮した製品やサービスを提供している	25 12%	43 20%	39 18%	11 5%	97 45%	215 -
4. 環境マネジメントシステムを構築・運用している	9 4%	- -	40 20%	46 23%	106 53%	201 -
5. 環境会計の実施や環境報告書の作成をしている	5 3%	- -	36 18%	56 28%	103 52%	200 -

その他

- ・ 極小企業のため該当しない
- ・ 製品パッケージにリサイクル品資材を使っている商品を利用

(2) 職業別分析

各取組とも業種による傾向は見られない。

1) 職業別分析 夏は 28℃、冬は 20℃を目安に空調の温度設定をしている

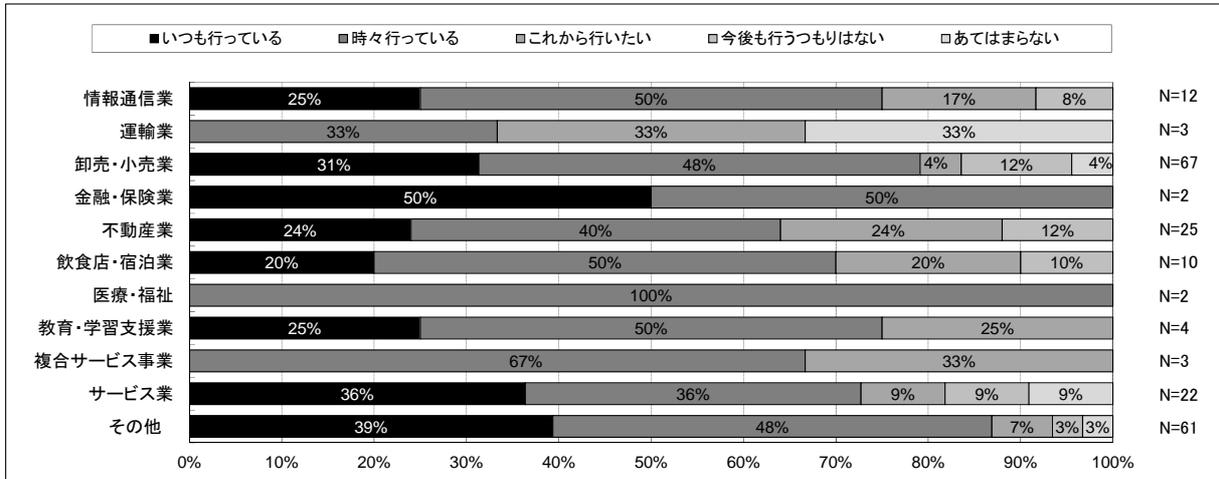


図 91 職業別分析 夏は 28℃、冬は 20℃を目安に空調の温度設定をしている

2) 職業別分析 使用していない照明はこまめに消している

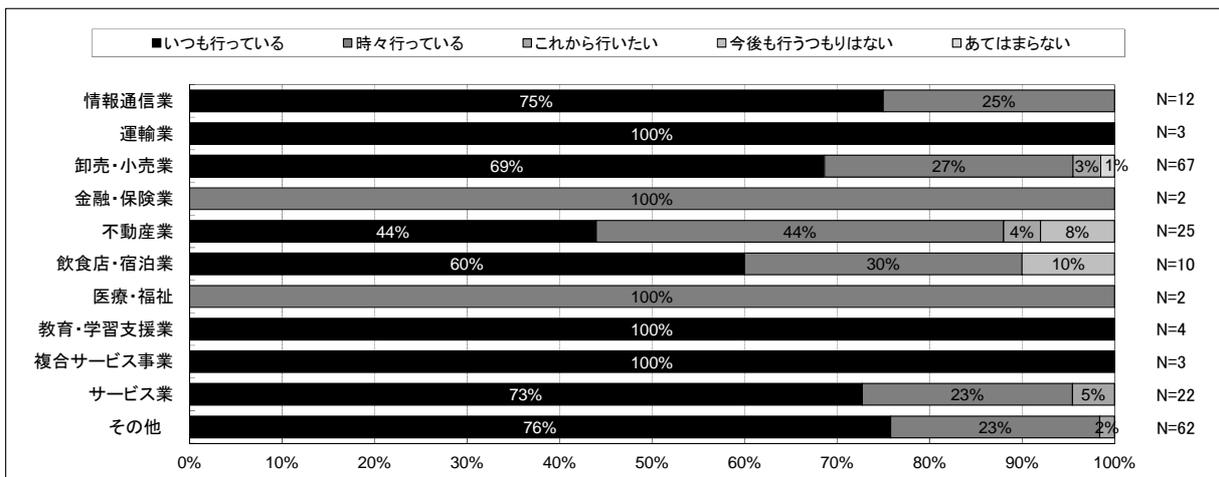


図 92 職業別分析 使用していない照明はこまめに消している

3) 職業別分析 長時間離席時や最後に退社する際は、パソコンやプリンタの電源を切っている

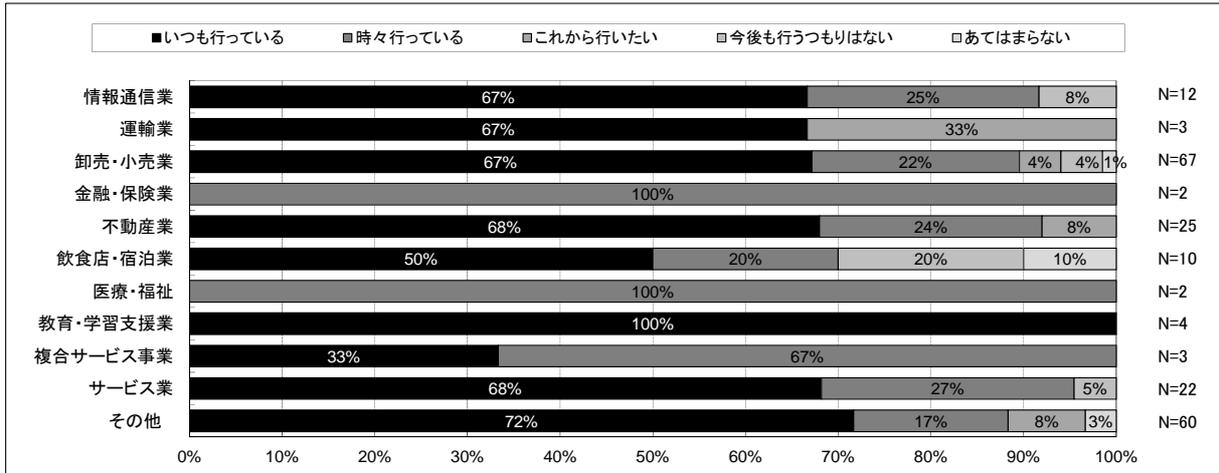


図 93 職業別分析 長時間離席時や最後に退社する際は、パソコンやプリンタの電源を切っている

4) 職業別分析 事業活動から出る廃棄物が少なくなるよう活動を見直している

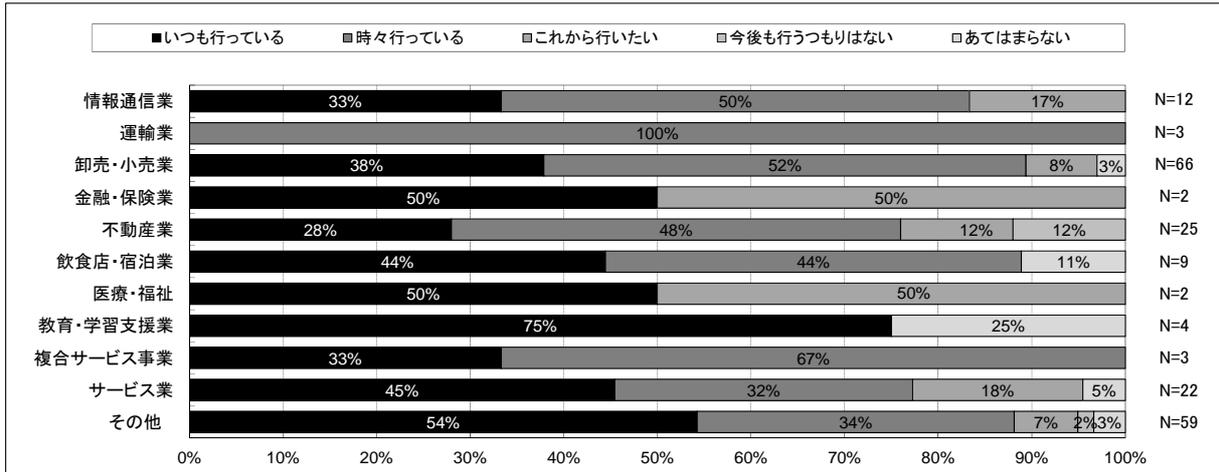


図 94 職業別分析 事業活動から出る廃棄物が少なくなるよう活動を見直している

5) 職業別分析 資源の分別・拠点回収や生ごみの堆肥化など、リサイクルを実施している

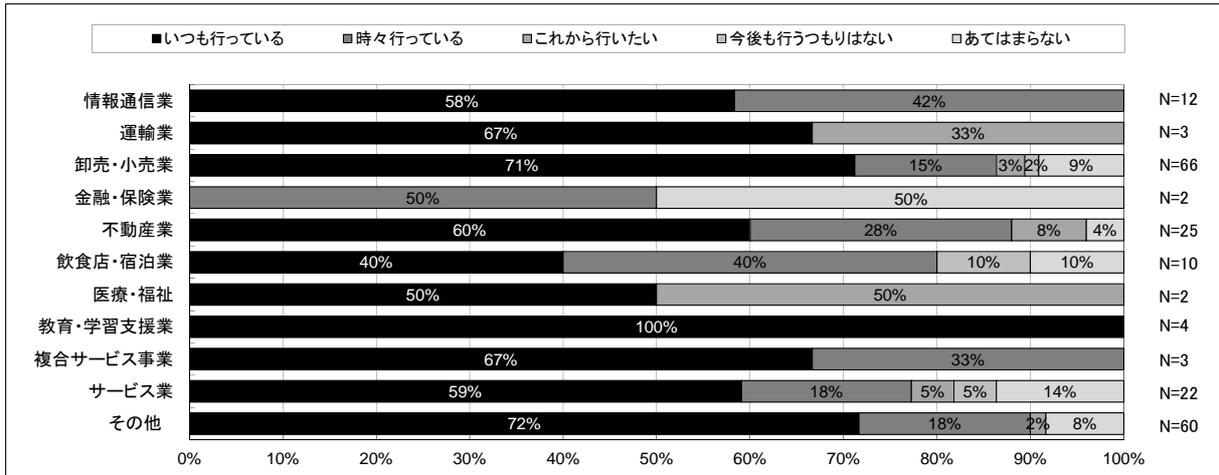


図 95 職業別分析 資源の分別・拠点回収や生ごみの堆肥化など、リサイクルを実施している

6) 職業別分析 グリーン購入（環境負荷の少ない製品やサービスを優先的に購入すること）を実施している

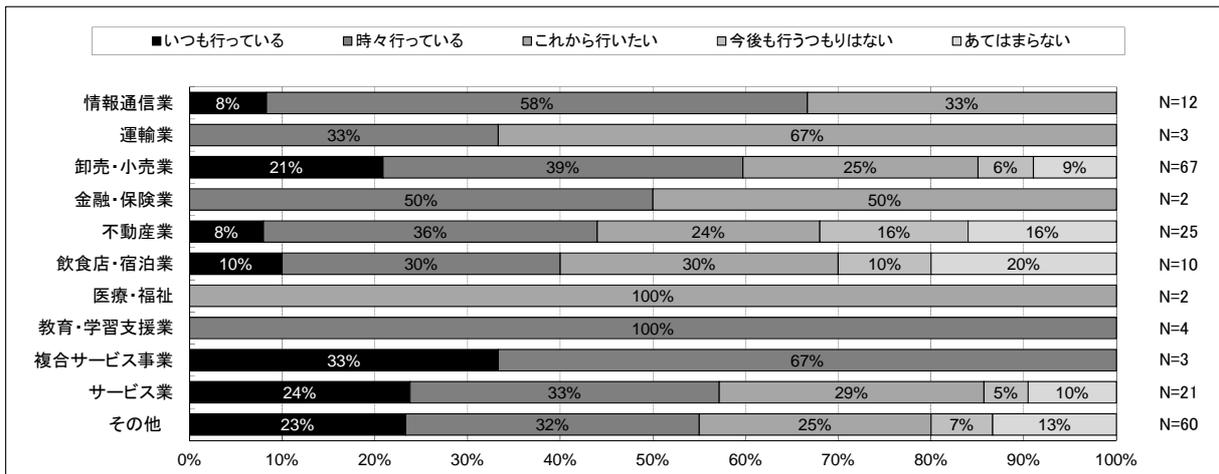


図 96 職業別分析 グリーン購入（環境負荷の少ない製品やサービスを優先的に購入すること）を実施している

7) 職業別分析 樹木や生垣などのみどりを保全している

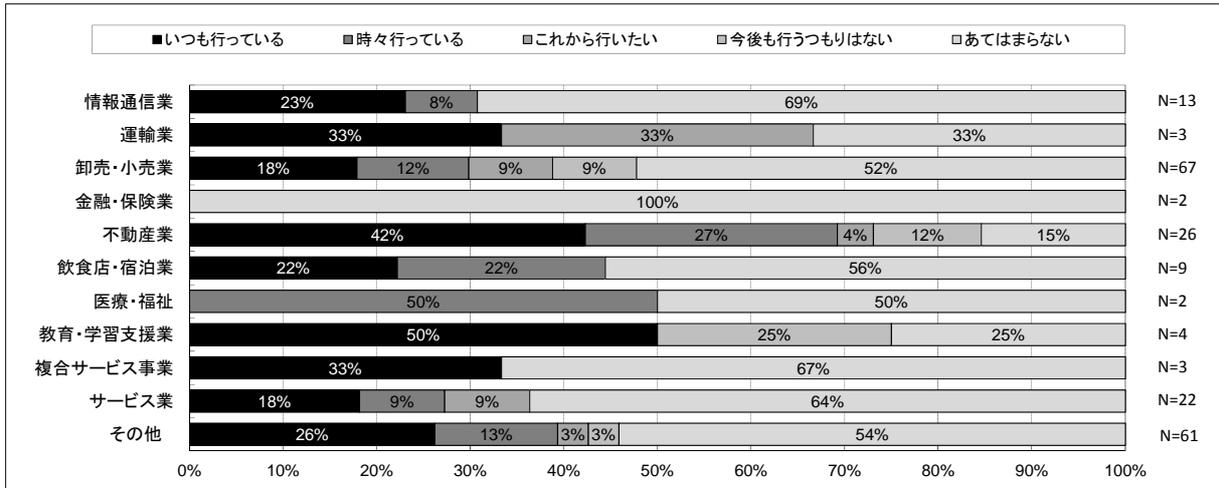


図 97 職業別分析 樹木や生垣などのみどりを保全している

8) 職業別分析 ビオトープなどの水辺を保全・創出している

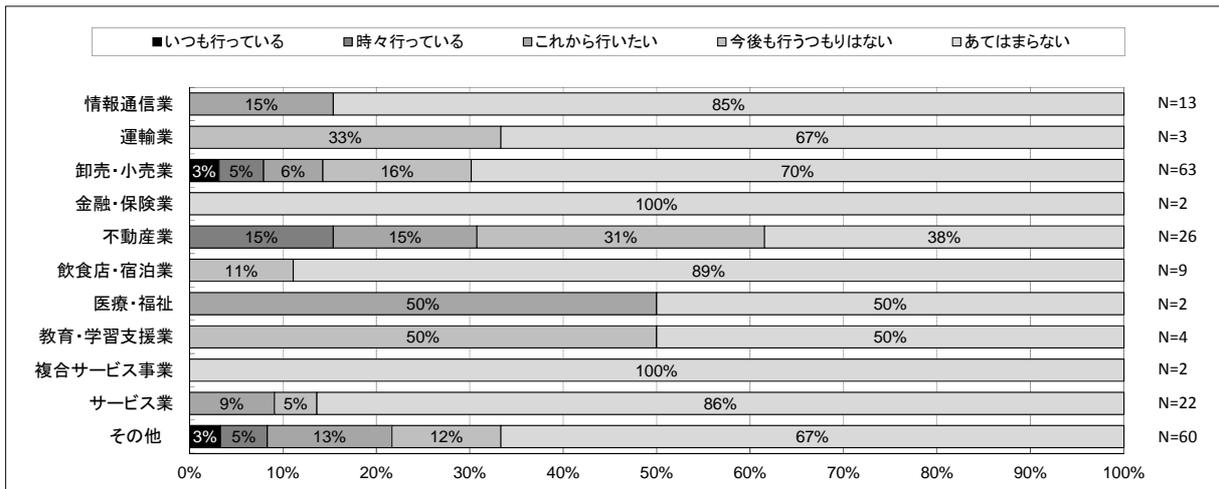


図 98 職業別分析 ビオトープなどの水辺を保全・創出している

11) 職業別分析 環境問題に関する情報収集をしている

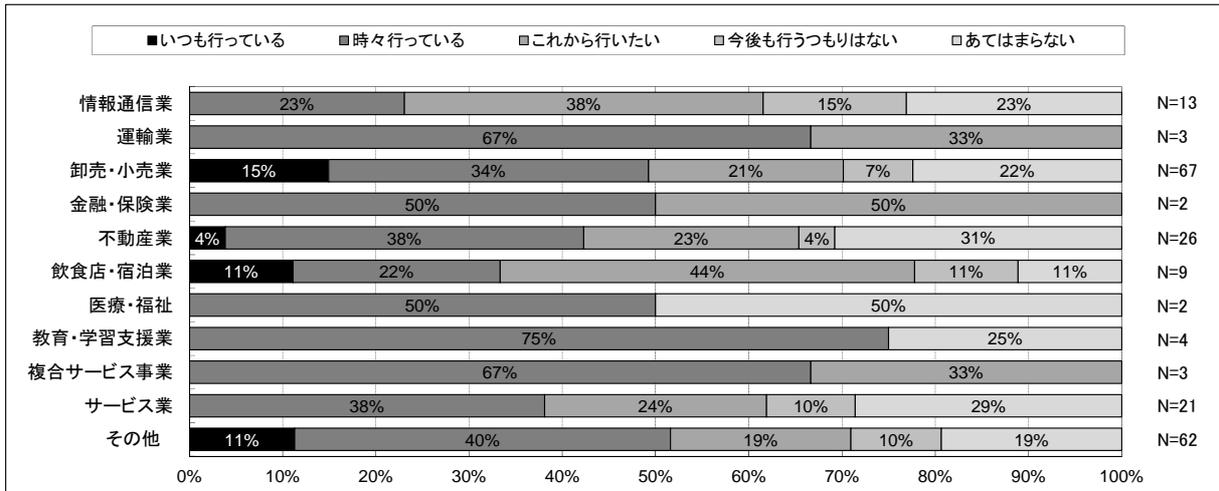


図 101 職業別分析 環境問題に関する情報収集をしている

12) 職業別分析 従業員に対する環境教育・研修を実施している

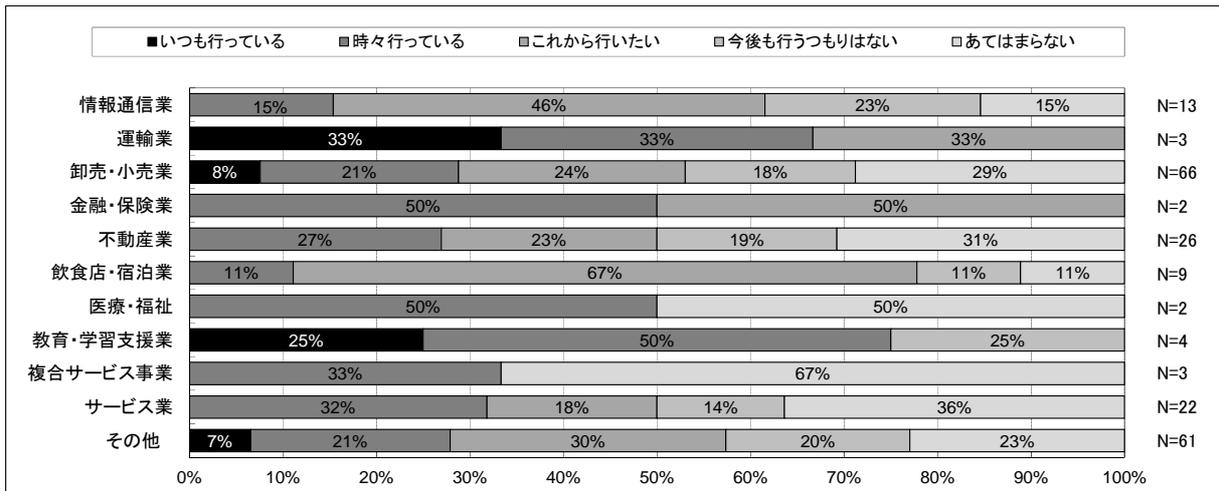


図 102 職業別分析 従業員に対する環境教育・研修を実施している

13) 職業別分析 環境に配慮した製品やサービスを提供している

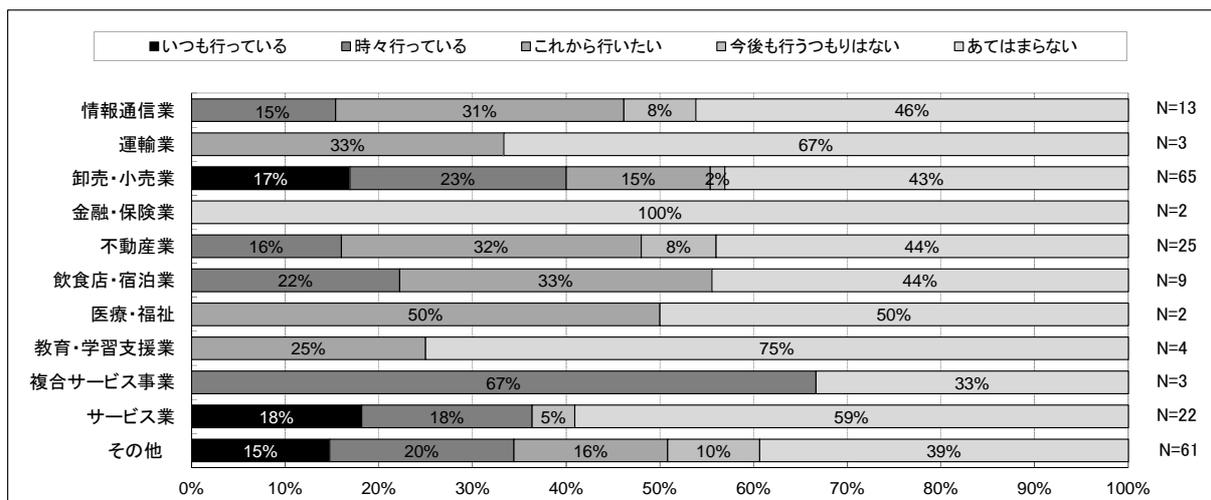


図 103 職業別分析 環境に配慮した製品やサービスを提供している

14) 職業別分析 環境マネジメントシステムを構築・運用している

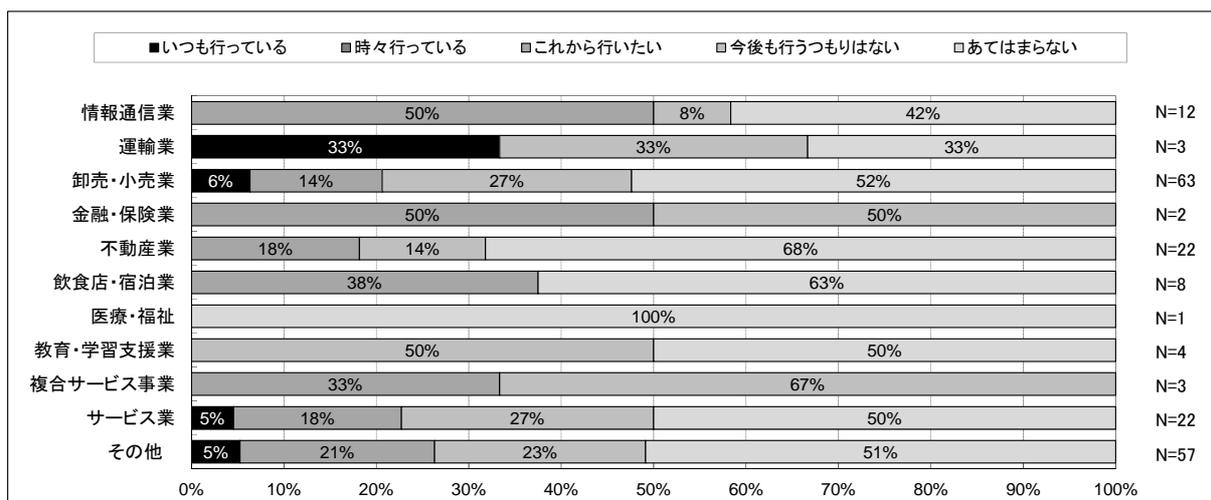


図 104 職業別分析 環境マネジメントシステムを構築・運用している

15) 職業別分析 環境会計の実施や環境報告書の作成をしている

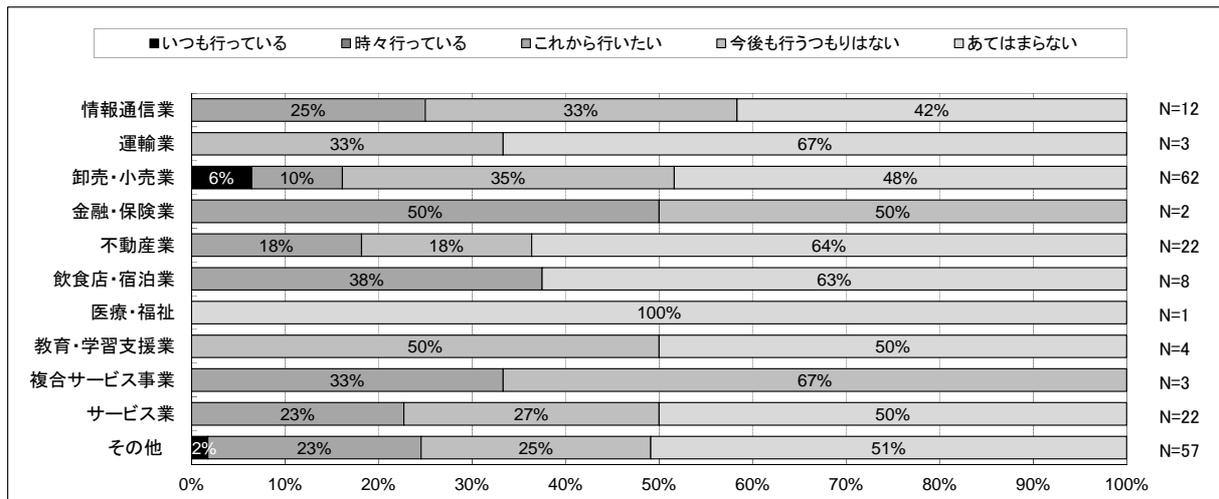


図 105 職業別分析 環境会計の実施や環境報告書の作成をしている

(3) 建物所有形態別分析

1) 建物所有形態別分析 夏は28℃、冬は20℃を目安に空調の温度設定をしている

賃貸と比較して自社保有の実施率が高い。

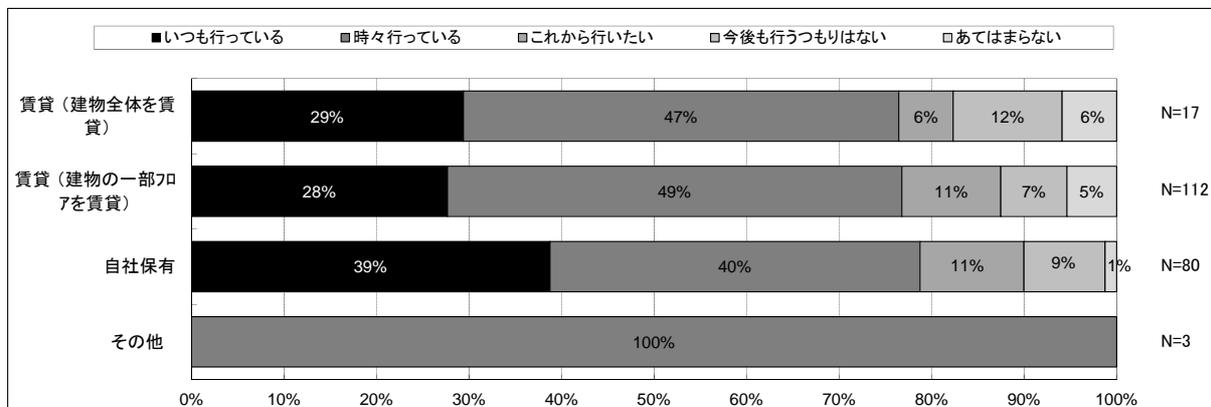


図 106 建物所有形態別分析 夏は28℃、冬は20℃を目安に空調の温度設定をしている

2) 建物所有形態別分析 使用していない照明はこまめに消している

賃貸と比較して自社保有の実施率が高い。

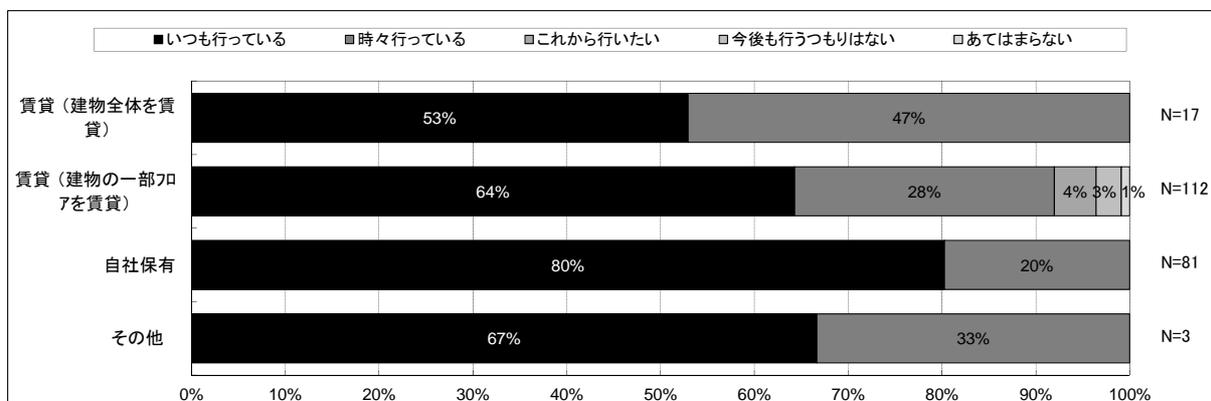


図 107 建物所有形態別分析 使用していない照明はこまめに消している

3) 建物所有形態別分析 長時間離席時や最後に退社する際は、パソコンやプリンタの電源を切っている

賃貸と比較して自社保有の実施率が高い。

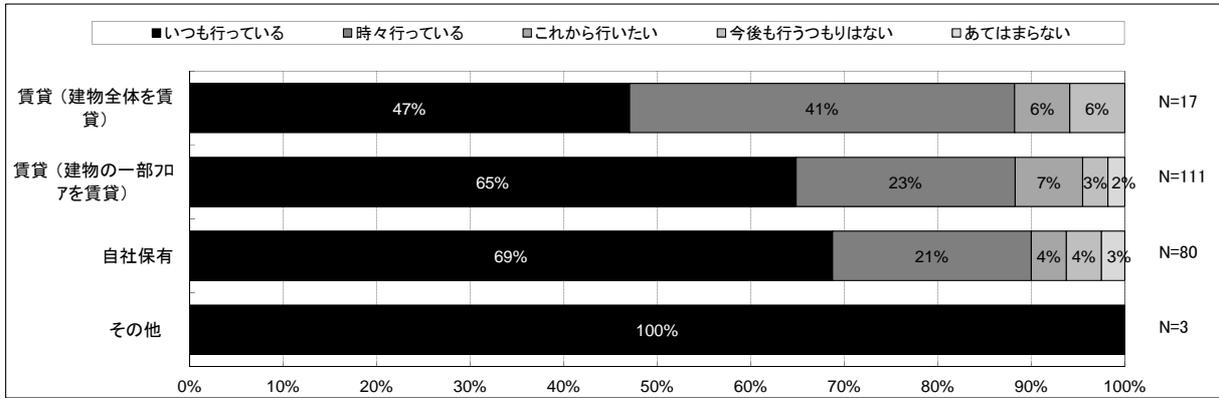


図 108 建物所有形態別分析 長時間離席時や最後に退社する際は、パソコンやプリンタの電源を切っている

4) 建物所有形態別分析 事業活動から出る廃棄物が少なくなるよう活動を見直している

建物所有形態別の差が見られない。

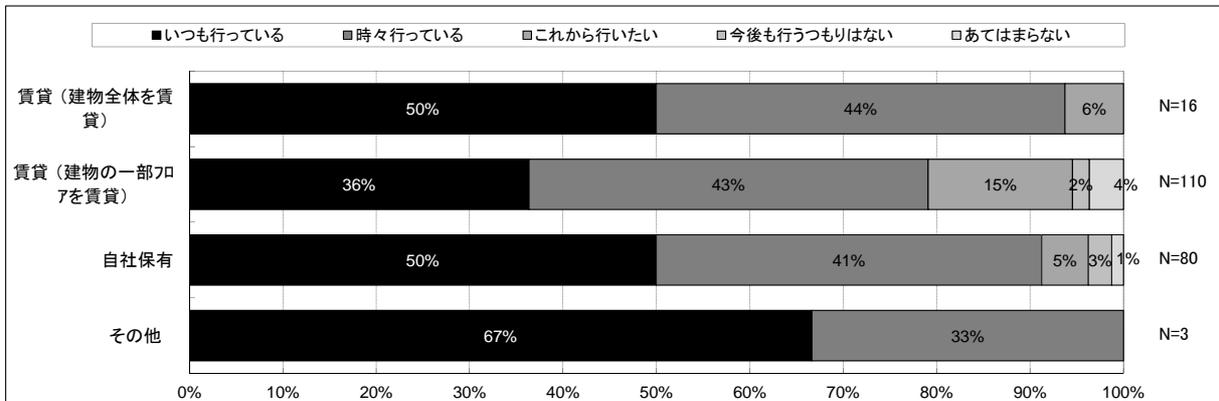


図 109 建物所有形態別分析 事業活動から出る廃棄物が少なくなるよう活動を見直している

5) 建物所有形態別分析 資源の分別・拠点回収や生ごみの堆肥化など、リサイクルを実施している

建物所有形態別の差が見られない。

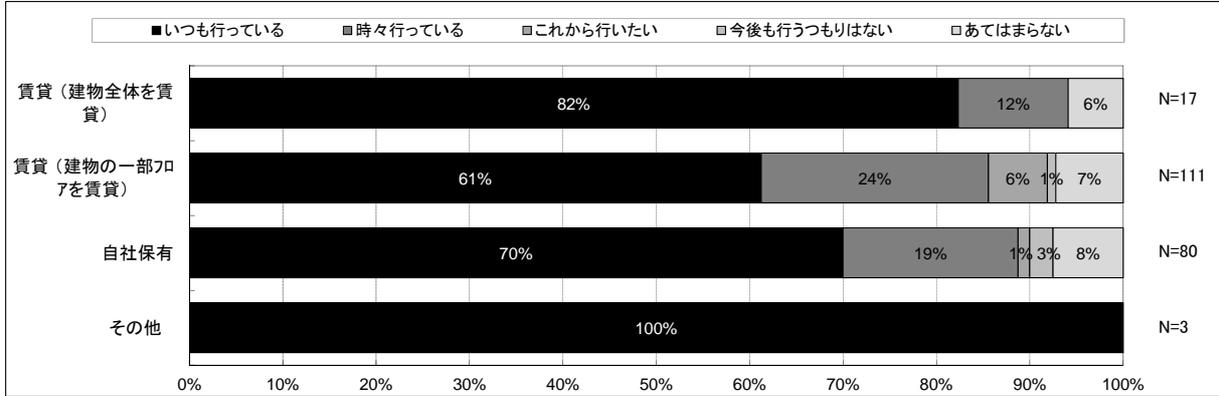


図 110 建物所有形態別分析 資源の分別・拠点回収や生ごみの堆肥化など、リサイクルを実施している

6) 建物所有形態別分析 グリーン購入（環境負荷の少ない製品やサービスを優先的に購入すること）を実施している

建物所有形態別の差が見られない。

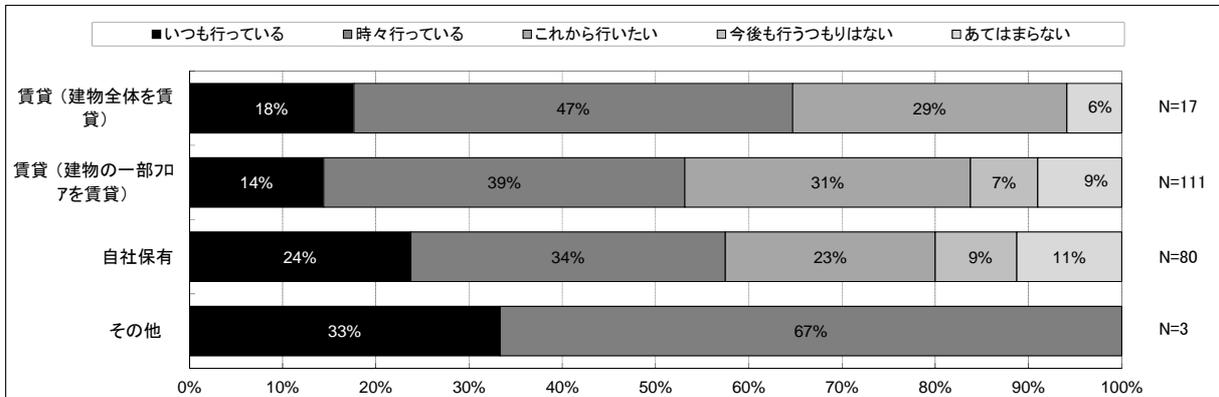


図 111 建物所有形態別分析 グリーン購入（環境負荷の少ない製品やサービスを優先的に購入すること）を実施している

7) 建物所有形態別分析 樹木や生垣などのみどりを保全している

賃貸と比較して自社保有の実施率が高い。

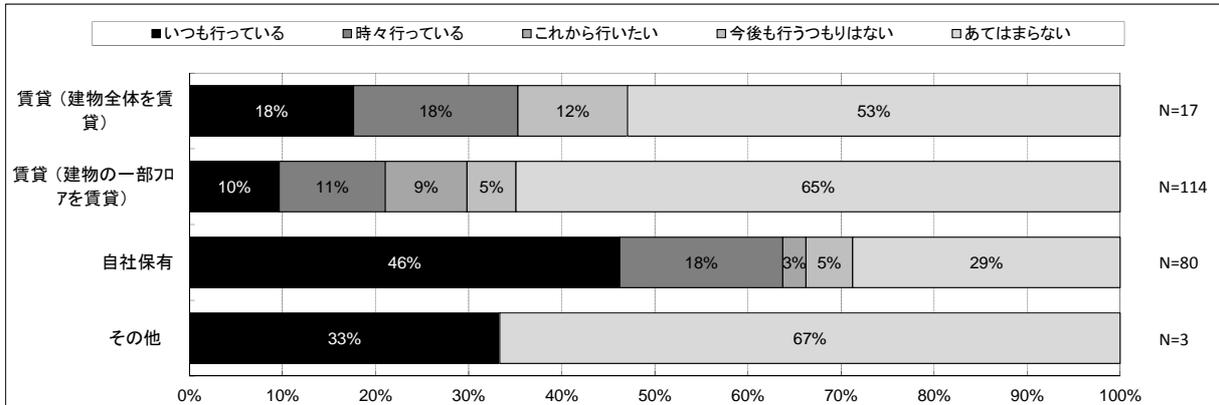


図 112 建物所有形態別分析 樹木や生垣などのみどりを保全している

8) 建物所有形態別分析 ビオトープなどの水辺を保全・創出している

建物所有形態別の差が見られない。

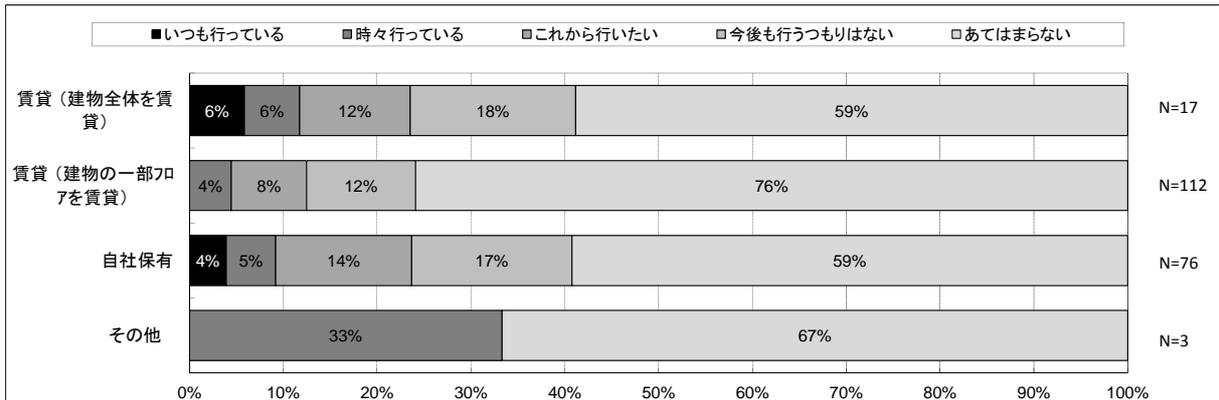


図 113 建物所有形態別分析 ビオトープなどの水辺を保全・創出している

9) 建物所有形態別分析 事業活動に伴う公害（大気汚染、水質汚濁、騒音・振動、悪臭など）の対策に取り組んでいる

賃貸と比較して自社保有の実施率が高い。

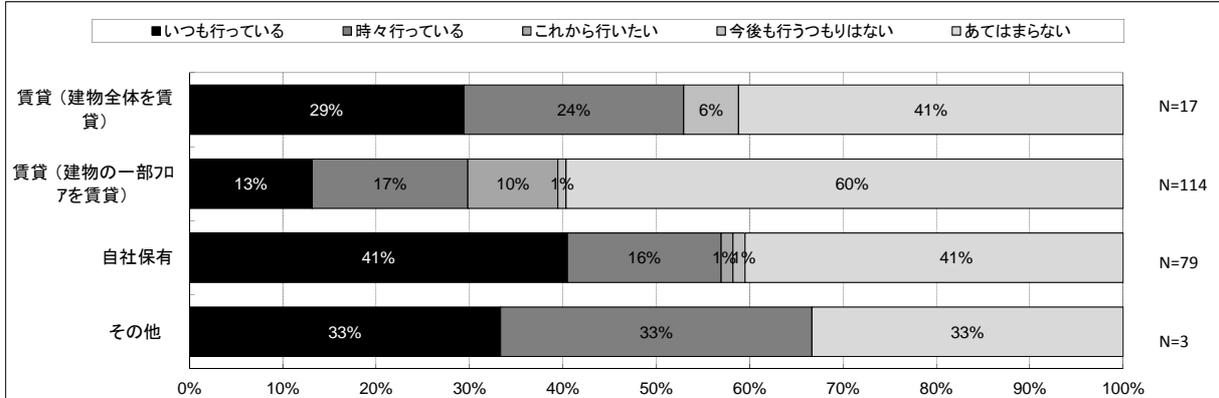


図 114 建物所有形態別分析 事業活動に伴う公害（大気汚染、水質汚濁、騒音・振動、悪臭など）の対策に取り組んでいる

10) 建物所有形態別分析 事業所内や周辺の美化活動に取り組んでいる

賃貸と比較して自社保有の実施率が高い。

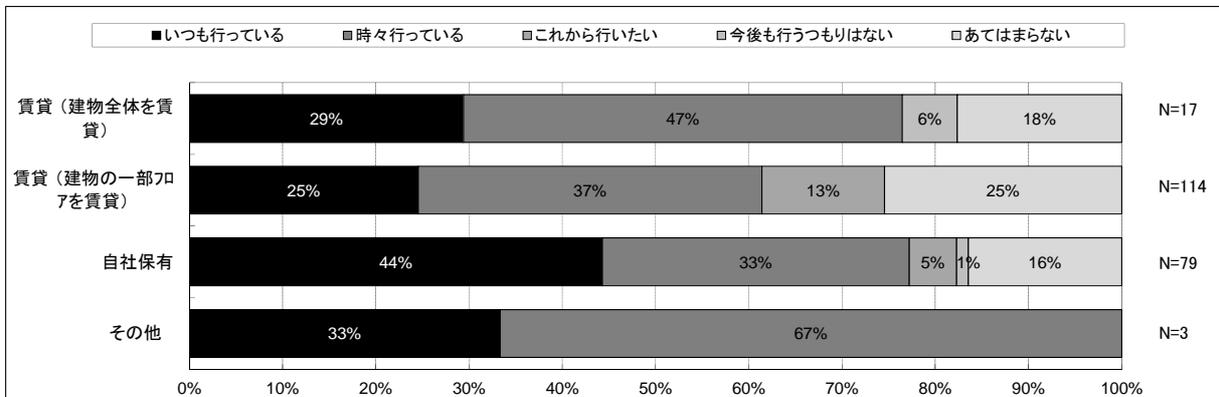


図 115 建物所有形態別分析 事業所内や周辺の美化活動に取り組んでいる

11) 建物所有形態別分析 環境問題に関する情報収集をしている

賃貸と比較して自社保有の実施率が高い。

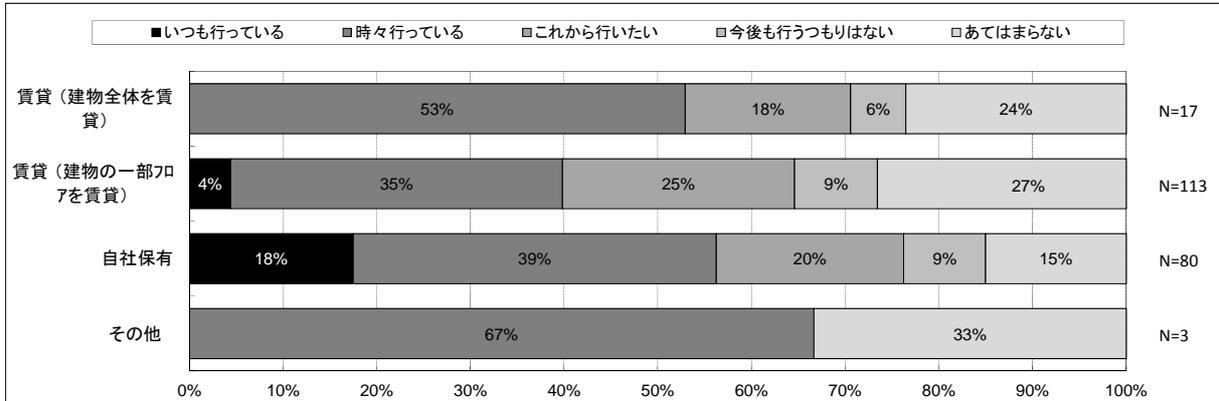


図 116 建物所有形態別分析 環境問題に関する情報収集をしている

12) 建物所有形態別分析 従業員に対する環境教育・研修を実施している

賃貸と比較して自社保有の実施率が高い。

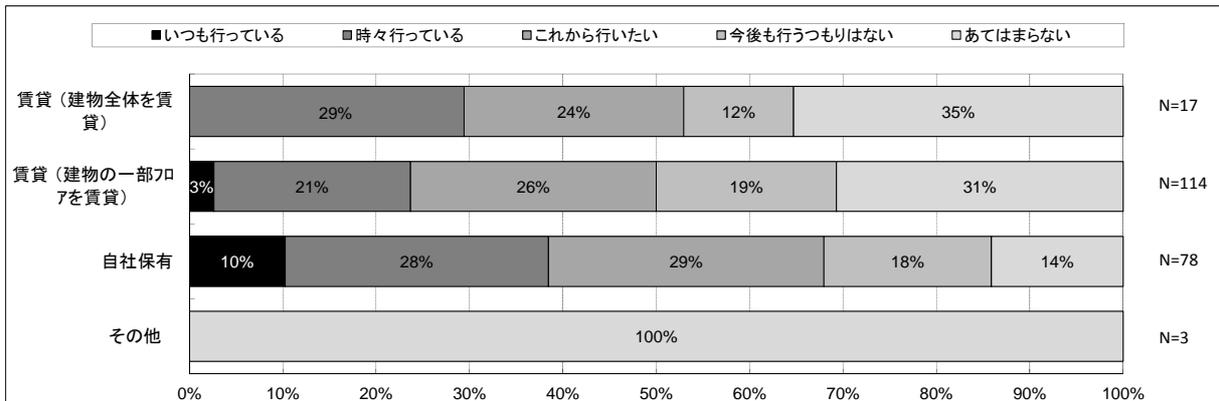


図 117 建物所有形態別分析 従業員に対する環境教育・研修を実施している

13) 建物所有形態別分析 環境に配慮した製品やサービスを提供している

賃貸と比較して自社保有の実施率が高い。

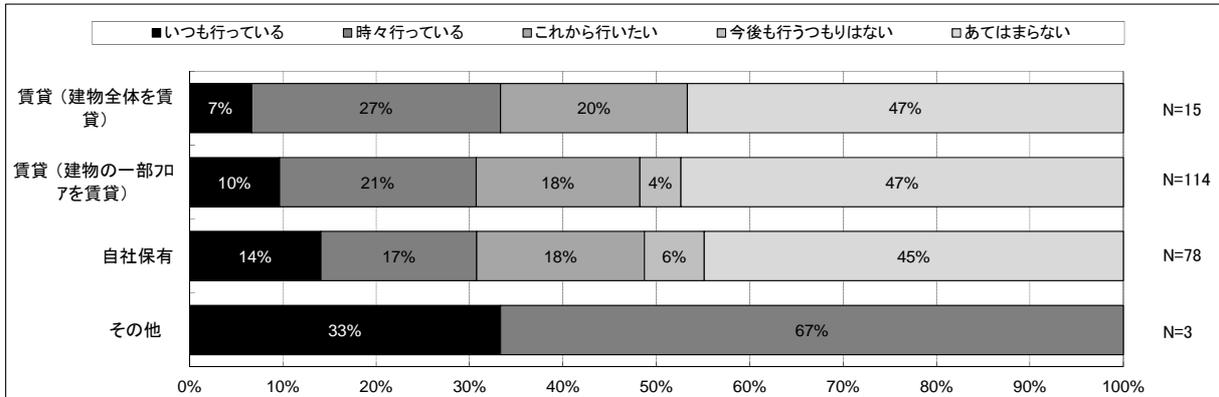


図 118 建物所有形態別分析 建物所有形態別分析 環境に配慮した製品やサービスを提供している

14) 建物所有形態別分析 環境マネジメントシステムを構築・運用している

賃貸と比較して自社保有の実施率が高い。

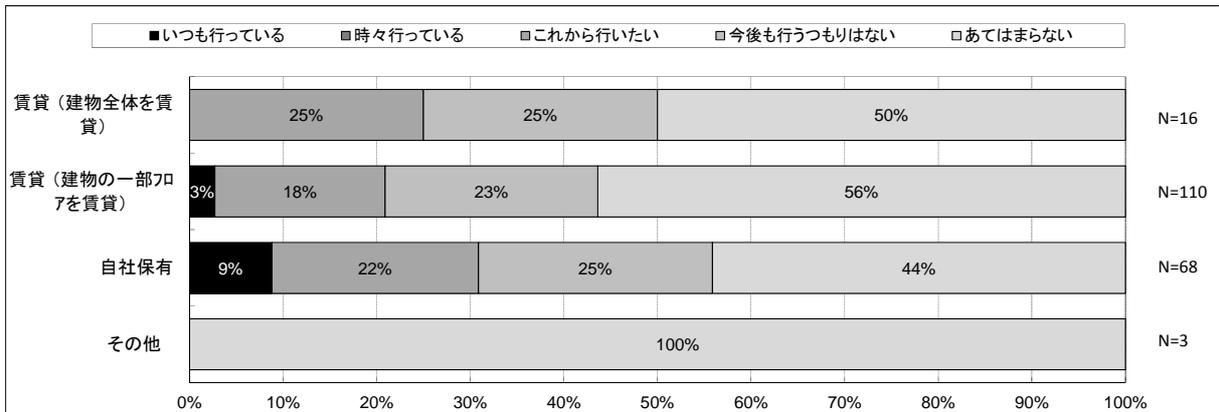


図 119 建物所有形態別分析 環境マネジメントシステムを構築・運用している

15) 建物所有形態別分析 環境会計の実施や環境報告書の作成をしている

賃貸と比較して自社保有の実施率が高い。

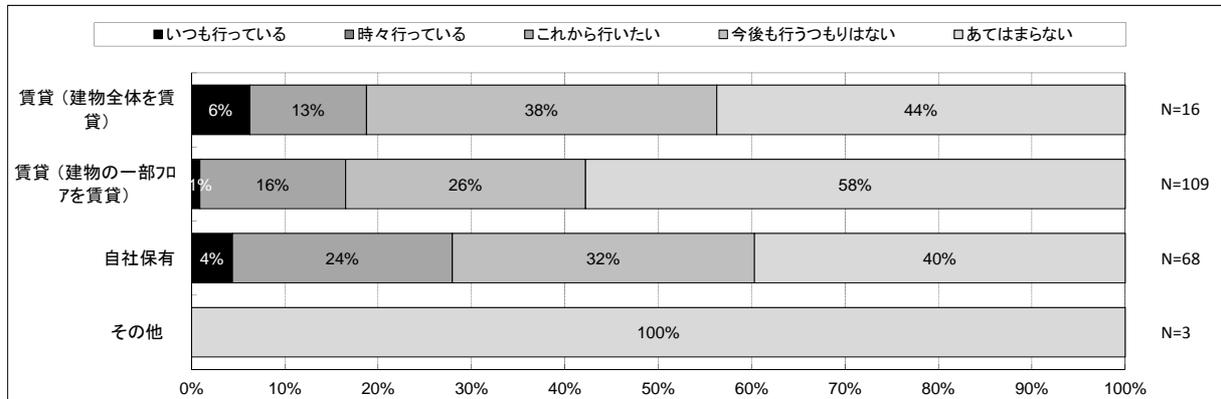


図 120 建物所有形態別分析 環境会計の実施や環境報告書の作成をしている

1.3.7 貴事業所が希望する文京区の未来の環境について

文京区の未来の環境で、貴事業所が希望するものは何ですか。該当する番号に○をつけてください(○は2つまで)。	
1. 低炭素社会(省エネルギーや再生可能エネルギーの利用が進み、二酸化炭素の排出が少ない社会)	4. 快適・安全社会(きれいな空気や水、静かな環境などに囲まれた社会)
2. 循環型社会(ごみの発生が減り、使えるものを再使用し、資源のリサイクルが進んだ社会)	5. 歴史や文化を身近に感じられる社会
3. 自然共生社会(動物や植物を大事にし、人間と自然が共に生きる社会)	

(1) 全体

「快適・安全社会(きれいな空気や水、静かな環境などに囲まれた社会)」の割合が57%と、最も希望する文京区の未来の環境となっている。一方で「低炭素社会(省エネルギーや再生可能エネルギーの利用が進み、二酸化炭素の排出が少ない社会)」、「自然共生社会(動物や植物を大事にし、人間と自然が共に生きる社会)」の割合が22%と低い割合となっている。

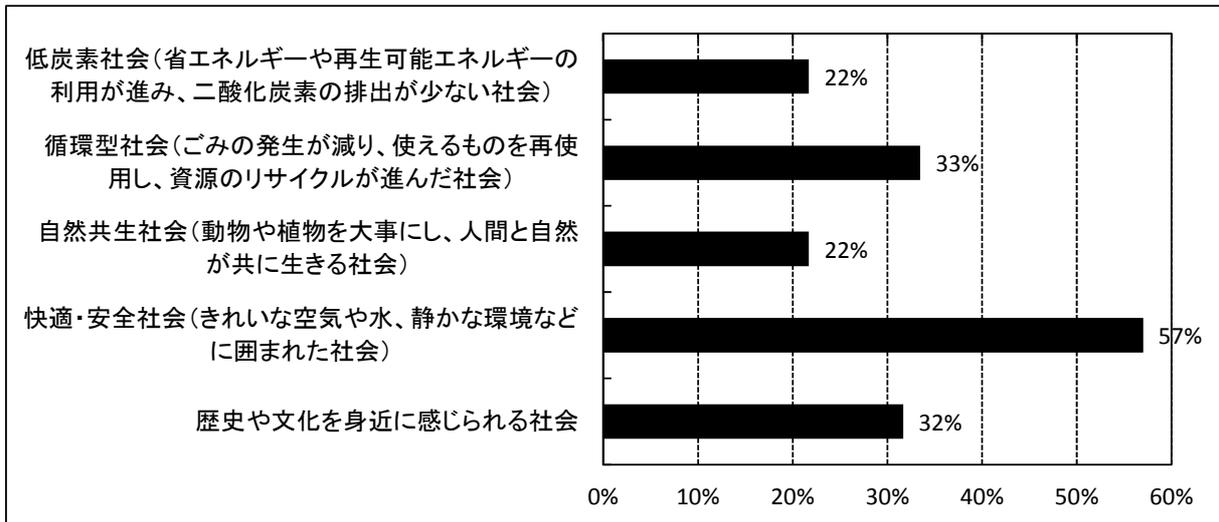


図 121 希望する文京区の未来の環境

表 43 希望する文京区の未来の環境

	H27 結果 (回答数)	H27 結果 (%)
1. 低炭素社会(省エネルギーや再生可能エネルギーの利用が進み、二酸化炭素の排出が少ない社会)	48	22%
2. 循環型社会(ごみの発生が減り、使えるものを再使用し、資源のリサイクルが進んだ社会)	74	33%
3. 自然共生社会(動物や植物を大事にし、人間と自然が共に生きる社会)	48	22%
4. 快適・安全社会(きれいな空気や水、静かな環境などに囲まれた社会)	126	57%
5. 歴史や文化を身近に感じられる社会	70	32%
計(無回答を除く)	366	-
無回答	-	-

(2) 職業別分析

業種による傾向は見られない。

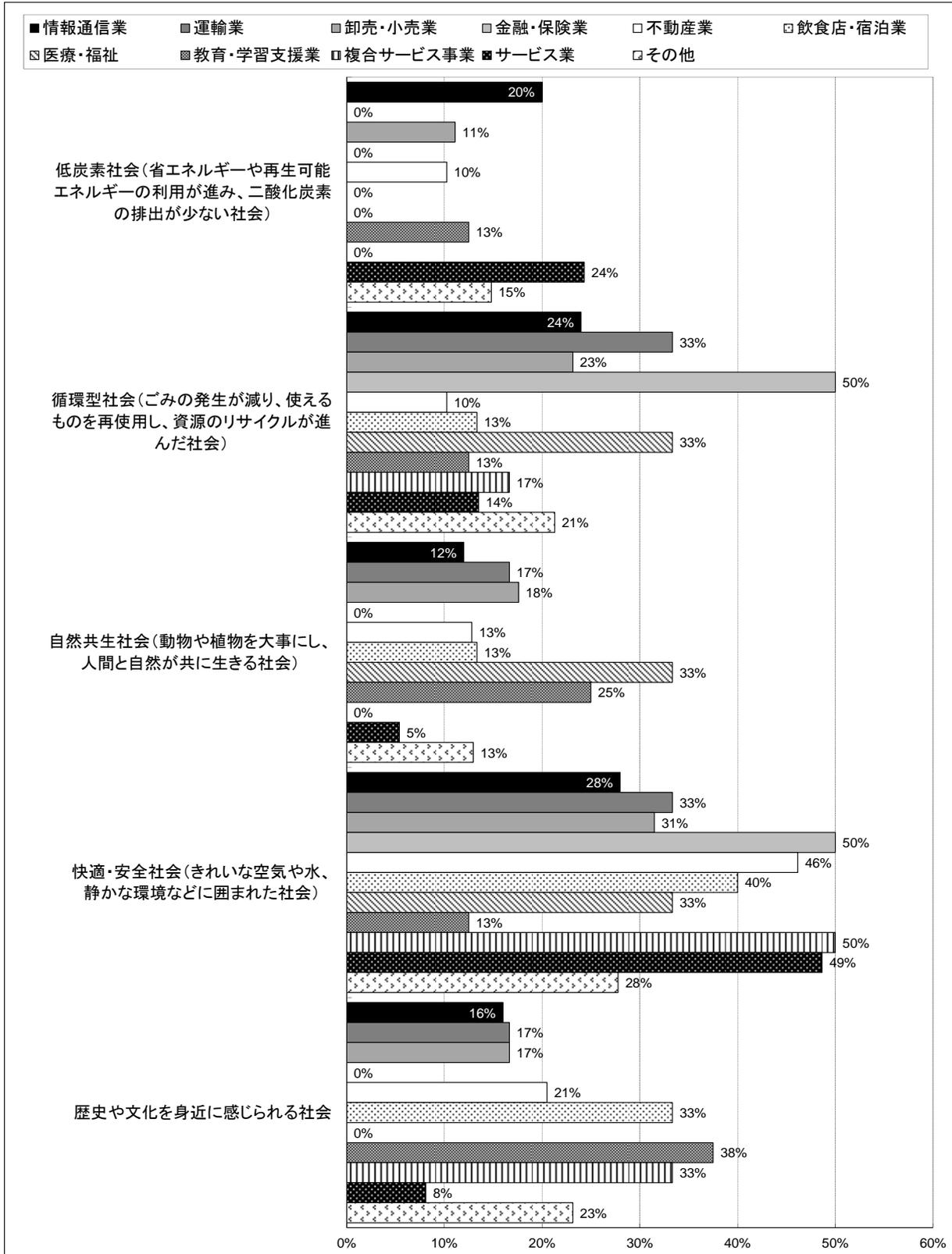


図 122 職業別分析 希望する文京区の未来の環境

1.3.8 区民・事業者・団体・行政の役割

文京区の環境を良くしていくうえで、重要な役割を担うのは、区民・事業者・団体・行政のうちいずれであると思いますか。(分野の項目ごとに○を2つまで)。	
<ul style="list-style-type: none"> 1. 低炭素社会(省エネルギーや再生可能エネルギーの利用が進み、二酸化炭素の排出が少ない社会)の実現 2. 循環型社会(ごみの発生が減り、使えるものを再使用し、資源のリサイクルが進んだ社会)の実現 3. 自然共生社会(動物や植物を大事にし、人間と自然が共に生きる社会)の実現 	<ul style="list-style-type: none"> 4. 快適・安全社会(きれいな空気や水、静かな環境などに囲まれた社会)の実現 5. 歴史や文化を身近に感じられる社会の実現

(1) 全体

「循環型社会(ごみの発生が減り、使えるものを再使用し、資源のリサイクルが進んだ社会)の実現」以外はいずれの分野においても、「行政」が高い割合を占めている。

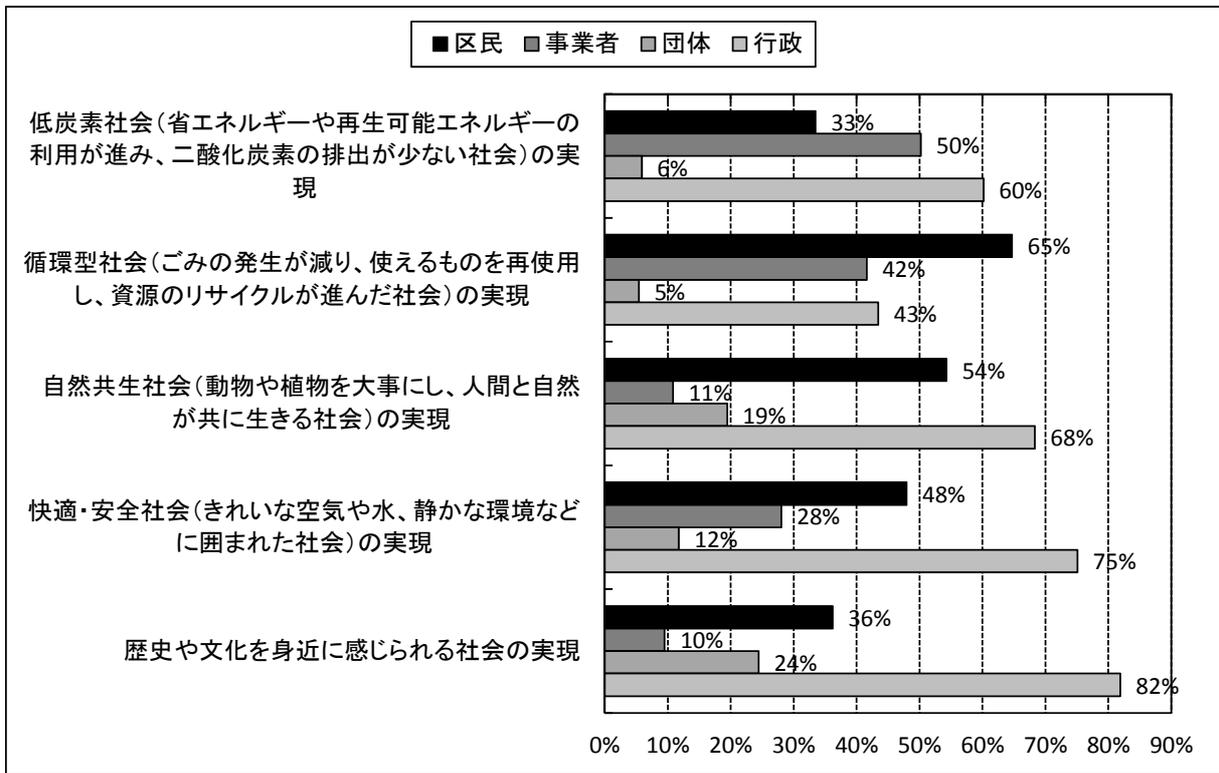


図 123 最も重要な役割を担う主体

表 44 最も重要な役割を担う主体

	区民	事業者	団体	行政	計(無回答を除く)
1. 低炭素社会(省エネルギーや再生可能エネルギーの利用が進み、二酸化炭素の排出が少ない社会)の実現	74	111	13	133	331
	33%	50%	6%	60%	-
2. 循環型社会(ごみの発生が減り、使えるものを再使用し、資源のリサイクルが進んだ社会)の実現	143	92	12	96	343
	65%	42%	5%	43%	-
3. 自然共生社会(動物や植物を大事にし、人間と自然が共に生きる社会)の実現	120	24	43	151	338
	54%	11%	19%	68%	-
4. 快適・安全社会(きれいな空気や水、静かな環境などに囲まれた社会)の実現	106	62	26	166	360
	48%	28%	12%	75%	-
5. 歴史や文化を身近に感じられる社会の実現	80	21	54	181	336
	36%	10%	24%	82%	-

1.3.9 区に期待する環境施策

<p>文京区(行政)が取り組むべきと考える環境施策について、貴事業所が特に重要だと考えるものは何ですか。該当する番号に○をつけてください(以下の1~15の中から○は5つまで)。</p>	
<p>1. 区民・事業者に対する省エネルギー行動の普及啓発</p> <p>2. 省エネルギー機器・省エネルギー型建築物の普及促進</p> <p>3. 再生可能エネルギーの普及促進</p> <p>4. ごみになるものを減らすことの推進(リデュース)</p> <p>5. ものをくりかえし何度も使うことの推進(リユース)</p> <p>6. ものをもう一度資源として使うことの推進(リサイクル)</p> <p>7. 植物や動物などの多様な生き物の保全</p> <p>8. みどり・水辺の保全</p>	<p>9. 公害の改善</p> <p>10. 地球温暖化に伴う異常気象や健康被害などへの対応</p> <p>11. 歴史・文化の保全・継承</p> <p>12. 景観の保全・形成</p> <p>13. 区民の体験・知識習得の機会の提供</p> <p>14. 環境学習・環境教育の推進</p> <p>15. 環境に配慮した取組を行う事業者が評価される仕組みづくり</p>

(1) 全体

「みどり・水辺の保全」の割合が 44%と最も高い割合となっている。一方で、「区民の体験・知識習得の機会の提供」「環境学習・環境教育の推進」の割合が 9%と低い割合となっている。

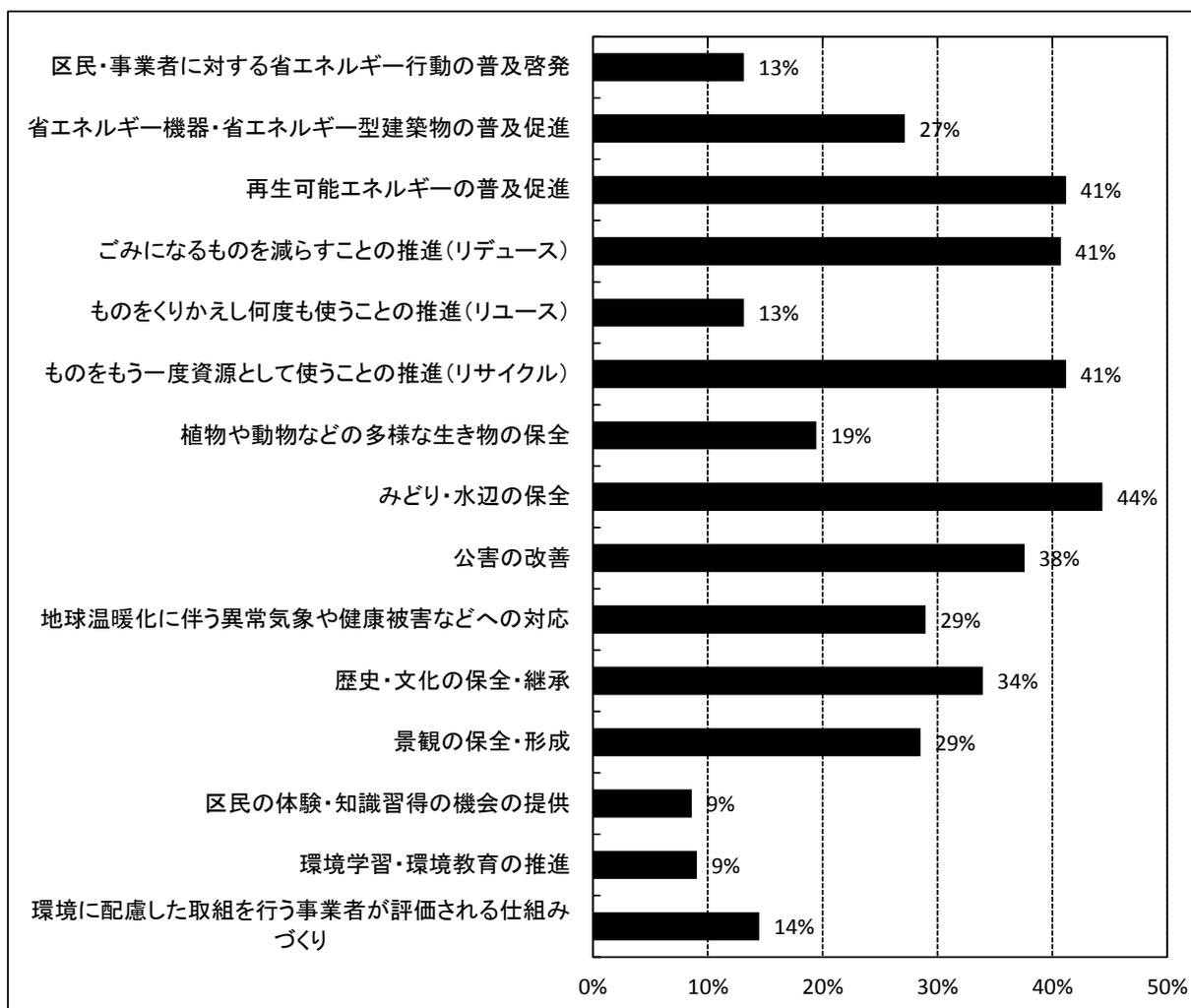


図 124 区に期待する環境施策

表 45 区に期待する環境施策

	H27 結果 (回答数)	H27 結果 (%)
1. 区民・事業者に対する省エネルギー行動の普及啓発	29	13%
2. 省エネルギー機器・省エネルギー型建築物の普及促進	60	27%
3. 再生可能エネルギーの普及促進	91	41%
4. ごみになるものを減らすことの推進(リデュース)	90	41%
5. ものをくりかえし何度も使うことの推進(リユース)	29	13%
6. ものをもう一度資源として使うことの推進(リサイクル)	91	41%
7. 植物や動物などの多様な生き物の保全	43	19%
8. みどり・水辺の保全	98	44%
9. 公害の改善	83	38%
10.地球温暖化に伴う異常気象や健康被害などへの対応	64	29%
11.歴史・文化の保全・継承	75	34%
12.景観の保全・形成	63	29%
13.区民の体験・知識習得の機会の提供	19	9%
14.環境学習・環境教育の推進	20	9%
15.環境に配慮した取組を行う事業者が評価される仕組みづくり	32	14%
計(無回答を除く)	887	-
無回答	-	-

1.4 団体

1.4.4 団体の属性

(1) 貴団体の組織分類

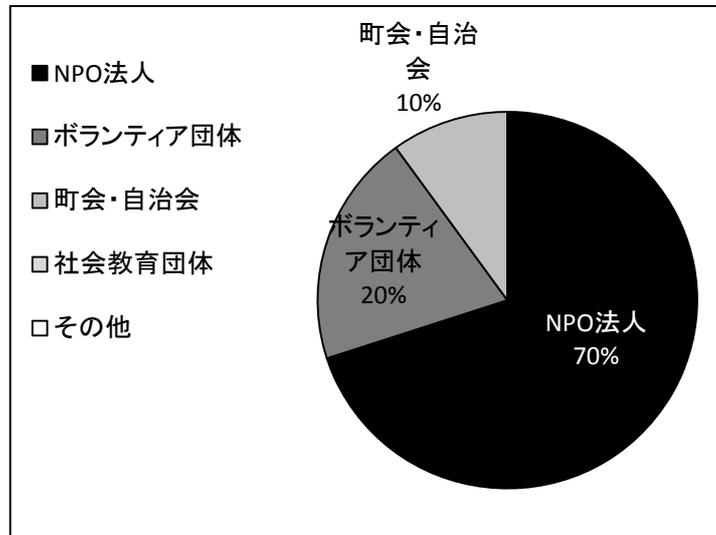


図 125 団体の組織分類

表 46 団体の組織分類

	H27 結果 (回答数)	H27 結果 (%)
1. NPO 法人	7	70%
2. ボランティア団体	2	20%
3. 町会・自治会	1	10%
4. 社会教育団体	0	0%
5. その他	0	0%
計(無回答を除く)	10	-
無回答	0	-

(2) 活動分野

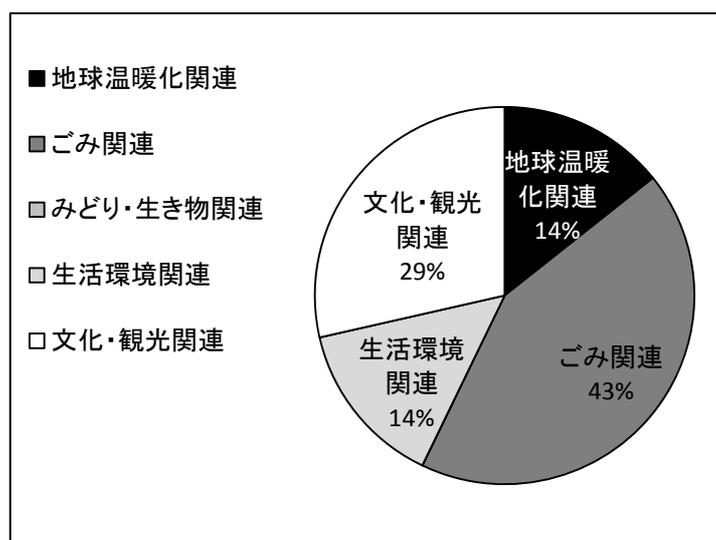


図 126 活動分野

表 47 活動分野

	H27 結果 (回答数)	H27 結果 (%)
1. 地球温暖化関連	1	14%
2. ごみ関連	3	43%
3. みどり・生き物関連	0	0%
4. 生活環境関連	1	14%
5. 文化・観光関連	2	29%
6. その他	0	0%
計(無回答を除く)	7	-
無回答	3	-

(3) 会員数

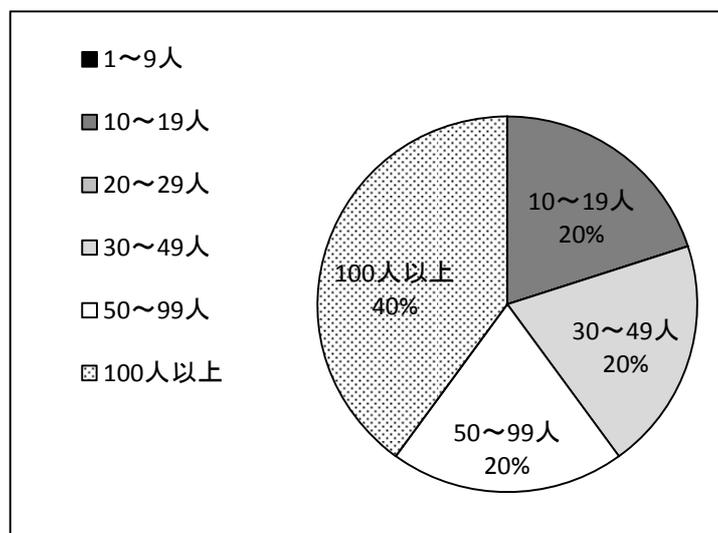


図 127 会員数

表 48 会員数

	H27 結果 (回答数)	H27 結果 (%)
1. 1~9 人	0	0%
2. 10~19 人	2	20%
3. 20~29 人	0	0%
4. 30~49 人	2	20%
5. 50~99 人	2	20%
6. 100 人以上	4	40%
計(無回答を除く)	10	-
無回答	0	-

1.4.5 環境問題への関心

あなたは環境問題に関心がありますか。該当する番号に○をつけてください。	
1. とても関心がある	3. あまり関心がない
2. 少し関心がある	4. 全く関心がない

(1) 全体

「とても関心がある」、「少し関心がある」の割合が 100%と高い割合となっている。

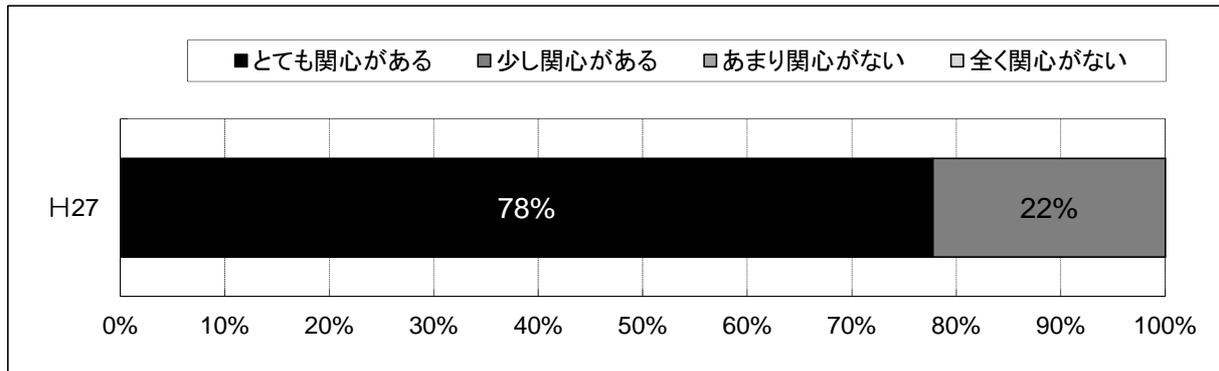


図 128 環境問題への関心

表 49 環境問題への関心

	H27 結果 (回答数)	H27 結果 (%)
1. とても関心がある	7	78%
2. 少し関心がある	2	22%
3. あまり関心がない	0	0%
4. 全く関心がない	0	0%
計(無回答を除く)	9	-
無回答	1	-

1.4.6 貴団体の活動内容

貴団体が普段実施している環境問題に配慮した取組の状況について、分野ごとに該当する活動があれば、誰に、いつ、どこで、何を実施しているかをお書きください。
また、実施に際して課題点などがありましたら、合わせてお書きください。

(1) 低炭素社会（省エネルギーや再生可能エネルギーの利用が進み、二酸化炭素の排出が少ない社会）の実現に向けた取組

- ・地産地消をテーマにしたとれたての野菜の販売、輸送エネルギーの削減
- ・区民に対し、区の環境イベント、親子環境教室などで、省エネ実験を開催
- ・区内大学で環境科学実験を開催

(2) 循環型社会（ごみの発生が減り、使えるものを再使用し、資源のリサイクルが進んだ社会）の実現に向けた取組

- ・文京区在住、在勤、在学者が出店するフリーマーケットを開催
- ・「グリーンコンシューマ」をテーマに消費生活移動展を開催

(3) 自然共生社会（動物や植物を大事にし、人間と自然が共に生きる社会）の実現に向けた取組

- ・都市住民にむけた森林ボランティア活動の企画・コーディネート
- ・区内小中学生に対し、植物、野鳥、自然観察会を開催

(4) 快適・安全社会（きれいな空気や水、静かな環境などに囲まれた社会）の実現に向けた取組

- ・緑化・植樹の推進

(5) 歴史や文化を身近に感じられる社会の実現に向けた取組

- ・歴史と文化の研修会を年2回実施

1.4.7 貴団体が希望する文京区の未来の環境について

文京区の未来の環境で、貴団体が希望するものは何ですか。該当する番号に○をつけてください(○は2つまで)。	
1. 低炭素社会(省エネルギーや再生可能エネルギーの利用が進み、二酸化炭素の排出が少ない社会)	4. 快適・安全社会(きれいな空気や水、静かな環境などに囲まれた社会)
2. 循環型社会(ごみの発生が減り、使えるものを再使用し、資源のリサイクルが進んだ社会)	5. 歴史や文化を身近に感じられる社会
3. 自然共生社会(動物や植物を大事にし、人間と自然が共に生きる社会)	

(1) 全体

「循環型社会(ごみの発生が減り、使えるものを再使用し、資源のリサイクルが進んだ社会)」の割合が60%と最も高い割合となっている。一方で、「低炭素社会(省エネルギーや再生可能エネルギーの利用が進み、二酸化炭素の排出が少ない社会)」の割合が20%と最も低い割合となっている。

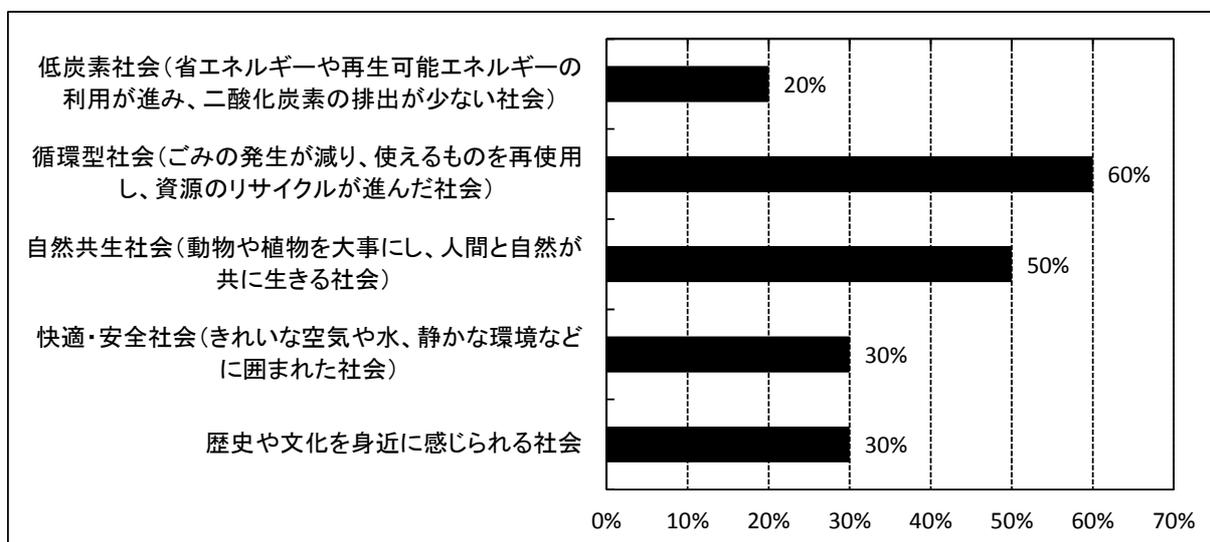


図 129 希望する文京区の未来の環境

表 50 希望する文京区の未来の環境

	H27 結果 (回答数)	H27 結果 (%)
1. 低炭素社会(省エネルギーや再生可能エネルギーの利用が進み、二酸化炭素の排出が少ない社会)	2	20%
2. 循環型社会(ごみの発生が減り、使えるものを再使用し、ものリサイクルが進んだ社会)	6	60%
3. 自然共生社会(動物や植物を大事にし、人間と自然が共に生きる社会)	5	50%
4. 快適・安全社会(きれいな空気や水、静かな環境などに囲まれた社会)	3	30%
5. 歴史や文化を身近に感じられる社会	3	30%
計(無回答を除く)	19	-
無回答	-	-

1.4.8 区民・事業者・団体・行政の役割

文京区の環境を良くしていくうえで、重要な役割を担うのは、区民・事業者・団体・行政のうちいずれであると思いますか。(分野の項目ごとに○を2つまで)。	
1. 低炭素社会(省エネルギーや再生可能エネルギーの利用が進み、二酸化炭素の排出が少ない社会)の実現 2. 循環型社会(ごみの発生が減り、使えるものを再使用し、資源のリサイクルが進んだ社会)の実現 3. 自然共生社会(動物や植物を大事にし、人間と自然が共に生きる社会)の実現	4. 快適・安全社会(きれいな空気や水、静かな環境などに囲まれた社会)の実現 5. 歴史や文化を身近に感じられる社会の実現

(1) 全体

「循環型社会(ごみの発生が減り、使えるものを再使用し、資源のリサイクルが進んだ社会)」、「自然共生社会(動物や植物を大事にし、人間と自然が共に生きる社会)の実現」に関しては、「区民」が最も高い割合を占めている。「快適・安全社会(きれいな空気や水、静かな環境などに囲まれた社会)の実現」、「歴史や文化を身近に感じられる社会の実現」に関しては、「行政」が最も高い割合を占めている。

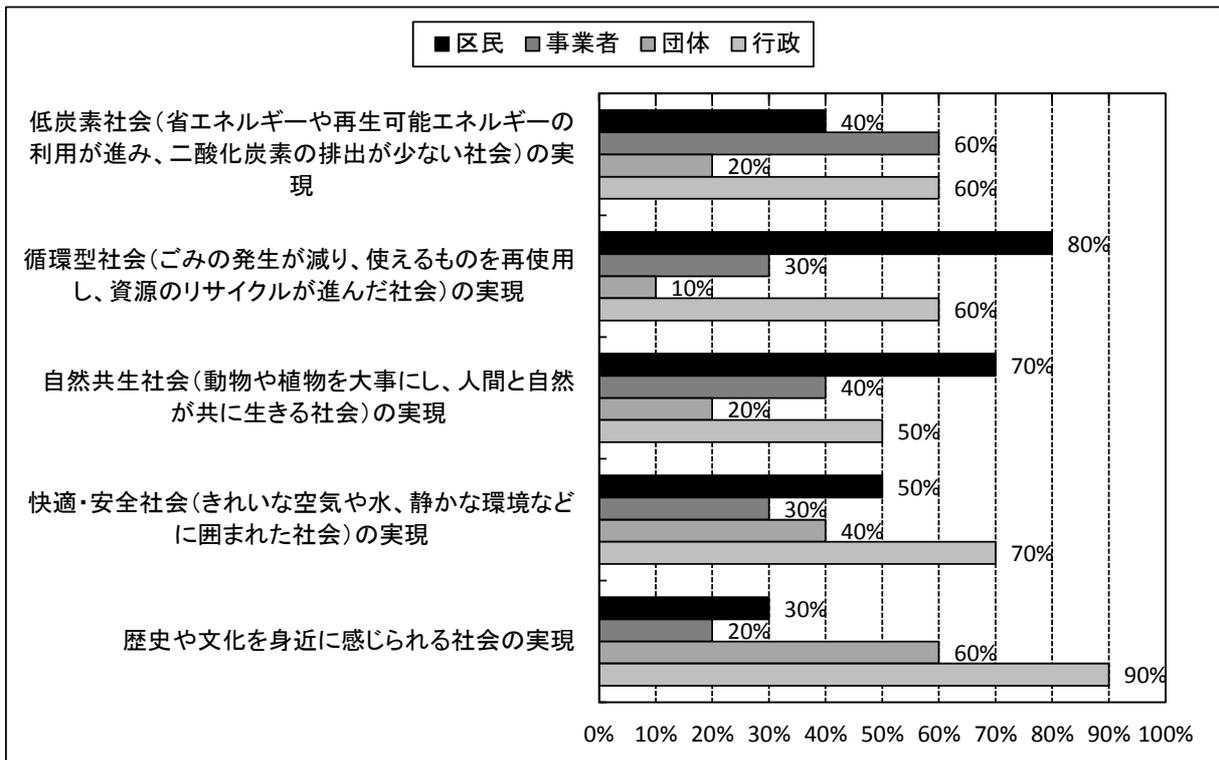


図 130 最も重要な役割を担う主体

表 51 最も重要な役割を担う主体

	区民	事業者	団体	行政	計(無回答を除く)
1. 低炭素社会(省エネルギーや再生可能エネルギーの利用が進み、二酸化炭素の排出が少ない社会)の実現	4	6	2	6	18
	40%	60%	20%	60%	-
2. 循環型社会(ごみの発生が減り、使えるものを再使用し、資源のリサイクルが進んだ社会)の実現	8	3	1	6	18
	80%	30%	10%	60%	-
3. 自然共生社会(動物や植物を大事にし、人間と自然が共に生きる社会)の実現	7	4	2	5	18
	70%	40%	20%	50%	-
4. 快適・安全社会(きれいな空気や水、静かな環境などに囲まれた社会)の実現	5	3	4	7	19
	50%	30%	40%	70%	-
5. 歴史や文化を身近に感じられる社会の実現	3	2	6	9	20
	30%	20%	60%	90%	-

1.4.9 区に期待する環境施策

文京区(行政)が取り組むべきと考える環境施策について、貴団体が特に重要だと考えるものは何ですか。該当する番号に○をつけてください(以下の1~15の中から○は5つまで)。

1. 区民・事業者に対する省エネルギー行動の普及啓発	9. 公害の改善
2. 省エネルギー機器・省エネルギー型建築物の普及促進	10. 地球温暖化に伴う異常気象や健康被害などへの対応
3. 再生可能エネルギーの普及促進	11. 歴史・文化の保全・継承
4. ごみになるものを減らすことの推進(リデュース)	12. 景観の保全・形成
5. ものをくりかえし何度も使うことの推進(リユース)	13. 区民の体験・知識習得の機会の提供
6. ものをもう一度資源として使うことの推進(リサイクル)	14. 環境学習・環境教育の推進
7. 植物や動物などの多様な生き物の保全	15. 環境に配慮した取組を行う事業者が評価される仕組みづくり
8. みどり・水辺の保全	

(1) 全体

「ごみになるものを減らすことの推進(リデュース)」、「みどり・水辺の保全」の割合が 60%と最も高い割合となっている。一方で、「省エネルギー機器・省エネルギー型建築物の普及促進」、「植物や動物などの多様な生き物の保全」、「地球温暖化に伴う異常気象や健康被害などへの対応」の割合が 10%と最も低い割合となっている。

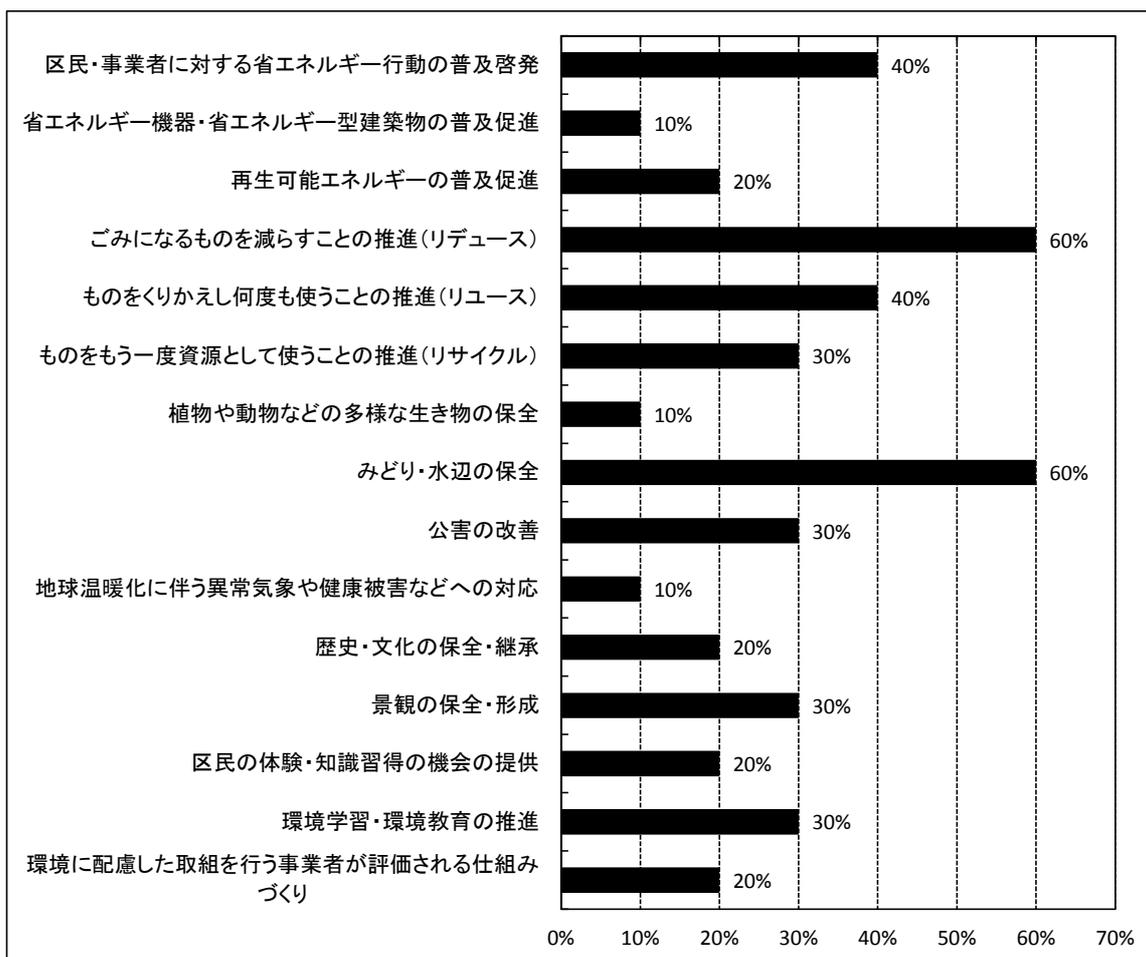


図 131 区に期待する環境施策

表 52 区に期待する環境施策

	H27 結果 (回答数)	H27 結果 (%)
1. 区民・事業者に対する省エネルギー行動の普及啓発	4	40%
2. 省エネルギー機器・省エネルギー型建築物の普及促進	1	10%
3. 再生可能エネルギーの普及促進	2	20%
4. ごみになるものを減らすことの推進(リデュース)	6	60%
5. ものをくりかえし何度も使うことの推進(リユース)	4	40%
6. ものをもう一度資源として使うことの推進(リサイクル)	3	30%
7. 植物や動物などの多様な生き物の保全	1	10%
8. みどり・水辺の保全	6	60%
9. 公害の改善	3	30%
10.地球温暖化に伴う異常気象や健康被害などへの対応	1	10%
11.歴史・文化の保全・継承	2	20%
12.景観の保全・形成	3	30%
13.区民の体験・知識習得の機会の提供	2	20%
14.環境学習・環境教育の推進	3	30%
15.環境に配慮した取組を行う事業者が評価される仕組みづくり	2	20%
計(無回答を除く)	43	-
無回答	-	-

1.5 小学生

1.5.4 小学生の属性

(1) 性別

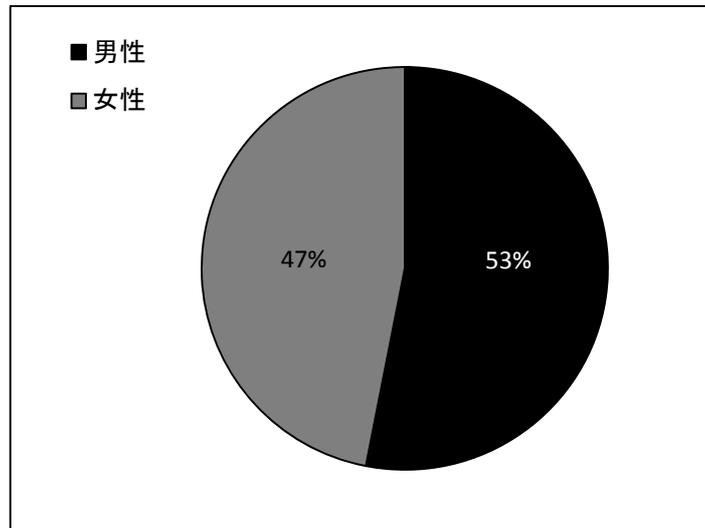


図 132 性別

表 53 性別

	H27 結果 (回答数)	H27 結果 (%)
1. 男性	630	53%
2. 女性	554	47%
計(無回答を除く)	1184	-
無回答	4	-

1.5.5 環境問題への関心

環境問題に関心がありますか。(○は1つ)	
1. とても関心がある	3. あまり関心がない
2. 少し関心がある	4. 全く関心がない

(1) 全体

「とても関心がある」、「少し関心がある」の割合が83%と比較的に高い割合となっている。
平成9年度と比較すると、「とても関心がある」、「少し関心がある」の割合が6%増加しているため、やや関心度が高くなっている可能性がある。

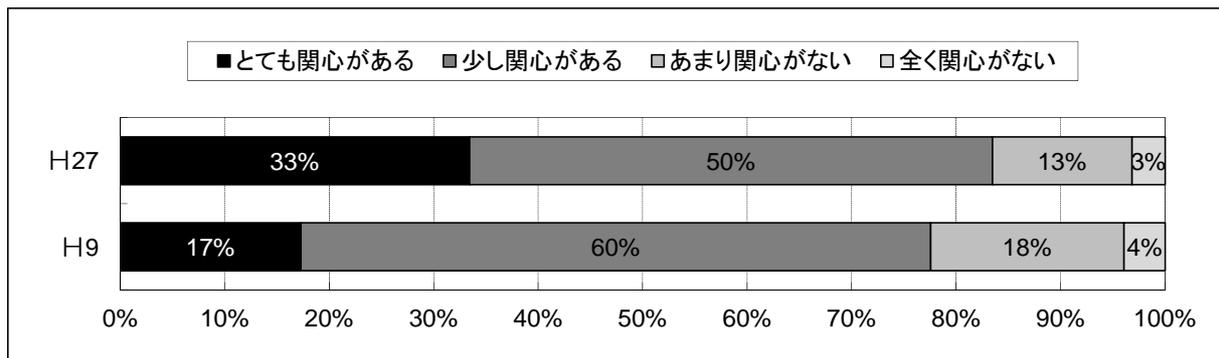


図 133 環境問題への関心

表 54 環境問題への関心

	H27 結果 (回答数)	H27 結果 (%)	H9 結果 (%)
1. とても関心がある	391	33%	17%
2. 少し関心がある	585	50%	60%
3. あまり関心がない	156	13%	18%
4. 全く関心がない	37	3%	4%
計(無回答を除く)	1169	-	-
無回答	19	-	-

1.5.6 知りたい環境問題

もっと知りたいと思う環境問題は何ですか。(○は3つまで)	
1. 地球の気温が上がり、気候が変化すること(地球温暖化)	6. 海や川の水が汚されること(水質汚濁)
2. 地球を紫外線から守ってくれるオゾン層が破壊されること(オゾン層の破壊)	7. 土や地下が汚されること(土壌汚染)
3. 多くのごみが出たり、捨ててはいけない場所にゴミが捨てられること(廃棄物の増加、ごみの不法投棄)	8. 道路や工場などのまわりがうるさいこと(騒音)
4. 木々や植物が少なくなったり、生き物の種類が減ること(自然環境の悪化)	9. 伝統ある歴史や文化が守られないこと(歴史・文化への配慮の不足)
5. 空気が汚されること(大気汚染)	10. その他

(1) 全体

「地球の気温が上がり、気候が変化すること(地球温暖化)」の割合が 48%と最も高い割合となっている。一方で、「土や地下が汚されること(土壌汚染)」の割合が 7%と最も低い割合となっている。

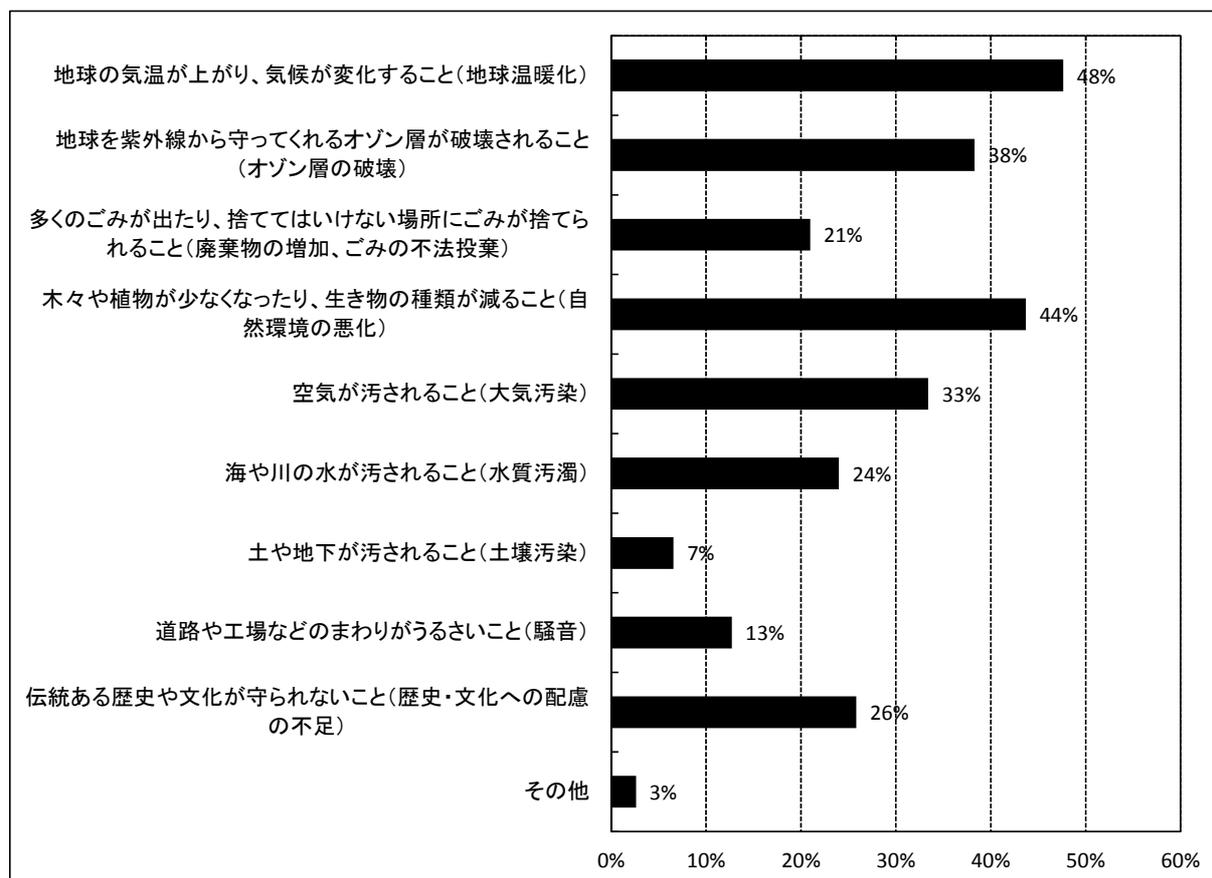


図 134 もっと知りたいと思う環境問題について

表 55 もっと知りたいと思う環境問題について

	H27 結果 (回答数)	H27 結果 (%)
1. 地球の気温が上がり、気候が変化すること(地球温暖化)	566	48%
2. 地球を紫外線から守ってくれるオゾン層が破壊されること(オゾン層の破壊)	455	38%
3. 多くのごみが出たり、捨ててはいけな場所にごみ捨てられること(廃棄物の増加、ごみの不法投棄)	249	21%
4. 木々や植物が少なくなったり、生き物の種類が減ること(自然環境の悪化)	519	44%
5. 空気が汚されること(大気汚染)	397	33%
6. 海や川の水が汚されること(水質汚濁)	285	24%
7. 土や地下が汚されること(土壌汚染)	78	7%
8. 道路や工場などのまわりがうるさいこと(騒音)	151	13%
9. 伝統ある歴史や文化が守られないこと(歴史・文化への配慮の不足)	307	26%
10.その他	31	3%
計(無回答を除く)	3038	-
無回答	-	-

その他

- ・海面の上昇による、国の水ぼつ
- ・過伐採、過放牧による砂ばく化
- ・酸性雨の問題
- ・外来種がふえることによって、もともとあるもの(生き物等)がへること

1.5.7 環境問題に配慮した取組の状況

あなたがやっていることは何ですか。(〇はいくつでも)	
1. こまめにスイッチを切るなど節電を行っている	4. 買い物に行くときはマイバッグを持っていっている
2. 水道やシャワーの水を出しっぱなしにしないで、こまめに止めている	5. 生き物(動物や植物)を大切にしたり、育てたりしている
3. ごみは分別して捨てている	6. 環境に関するイベントに参加したり、本を読むなどして学習している

(1) 全体

「水道やシャワーの水を出しっぱなしにしないで、こまめに止めている」の割合が73%と最も高い割合となっている。一方で、「環境に関するイベントに参加したり、本を読むなどして学習している」の割合が26%と最も低い割合となっている。

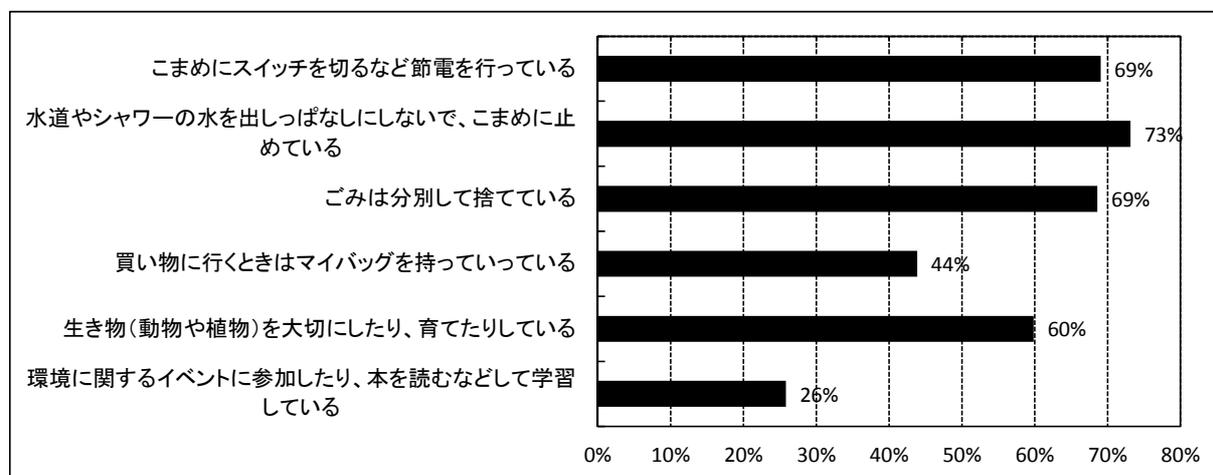


図 135 環境問題に配慮した取組について

表 56 環境問題に配慮した取組について

	H27 結果 (回答数)	H27 結果 (%)
1. こまめにスイッチを切るなど節電を行っている	820	69%
2. 水道やシャワーの水を出しっぱなしにしないで、こまめに止めている	869	73%
3. ごみは分別して捨てている	815	69%
4. 買い物に行くときはマイバッグを持っていっている	521	44%
5. 生き物(動物や植物)を大切にしたり、育てたりしている	711	60%
6. 環境に関するイベントに参加したり、本を読むなどして学習している	307	26%
計(無回答を除く)	4043	-
無回答	-	-

1.5.8 あなたが希望する文京区の未来の環境について

あなたはどんな文京区の未来を希望しますか。(○は2つまで)	
1. 省エネルギーや再生可能エネルギー(太陽の光や風の力など)の利用が進み、二酸化炭素の排出が少ない社会	4. きれいな空気や水、静かな環境などに囲まれた社会
2. ごみの発生が減り、使えるものを再使用し、資源のリサイクルが進んだ社会	5. 歴史や文化を身近に感じられる社会
3. 動物や植物を大事にし、人間と自然が共に生きる社会	

(1) 全体

「きれいな空気や水、静かな環境などに囲まれた社会」の割合が 52%と最も高い割合となっている。一方で、「歴史や文化を身近に感じられる社会」の割合が 17%と最も低い割合となっている。

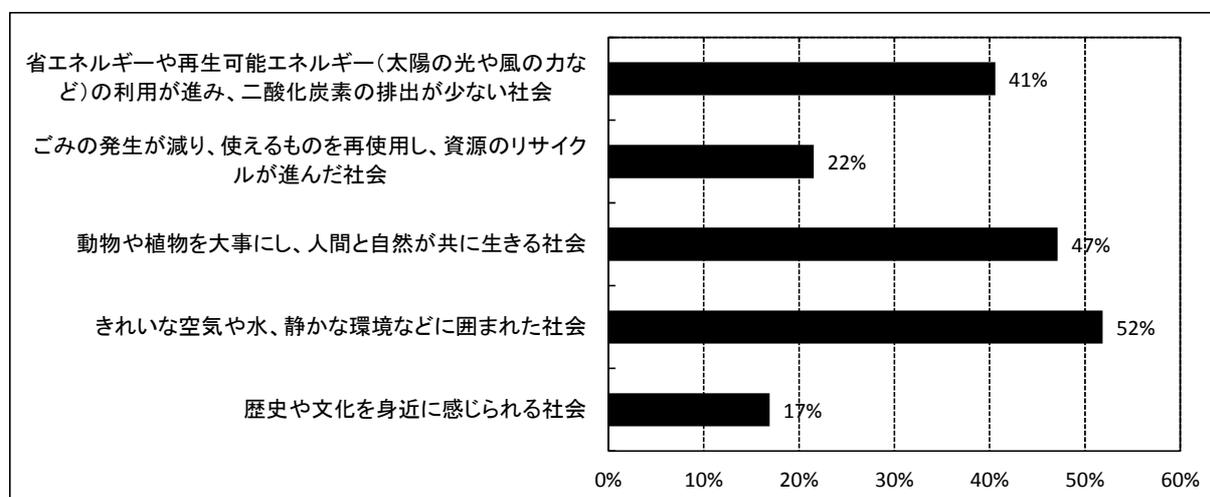


図 136 希望する文京区の未来環境

表 57 希望する文京区の未来環境

	H27 結果 (回答数)	H27 結果 (%)
1. 省エネルギーや再生可能エネルギー(太陽の光や風の力など)の利用が進み、二酸化炭素の排出が少ない社会	482	41%
2. ごみの発生が減り、使えるものを再使用し、資源のリサイクルが進んだ社会	256	22%
3. 動物や植物を大事にし、人間と自然が共に生きる社会	560	47%
4. きれいな空気や水、静かな環境などに囲まれた社会	616	52%
5. 歴史や文化を身近に感じられる社会	201	17%
計(無回答を除く)	2115	-
無回答	-	-

1.6 中学生

1.6.4 中学生の属性

(1) 性別

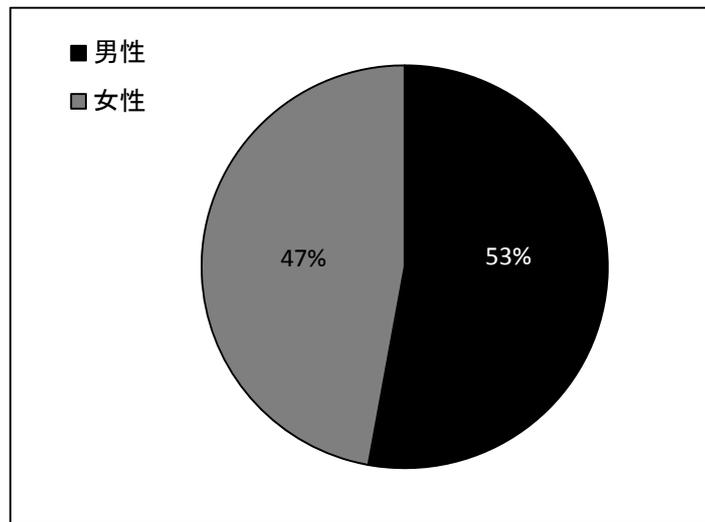


図 137 性別

表 58 性別

	H27 結果 (回答数)	H27 結果 (%)
1. 男性	331	53%
2. 女性	295	47%
計(無回答を除く)	626	-
無回答	8	-

1.6.5 環境問題への関心

環境問題に関心がありますか。(○は1つ)	
1. とても関心がある	3. あまり関心がない
2. 少し関心がある	4. 全く関心がない

(1) 全体

「とても関心がある」、「少し関心がある」の割合が70%と比較的高い割合となっている。

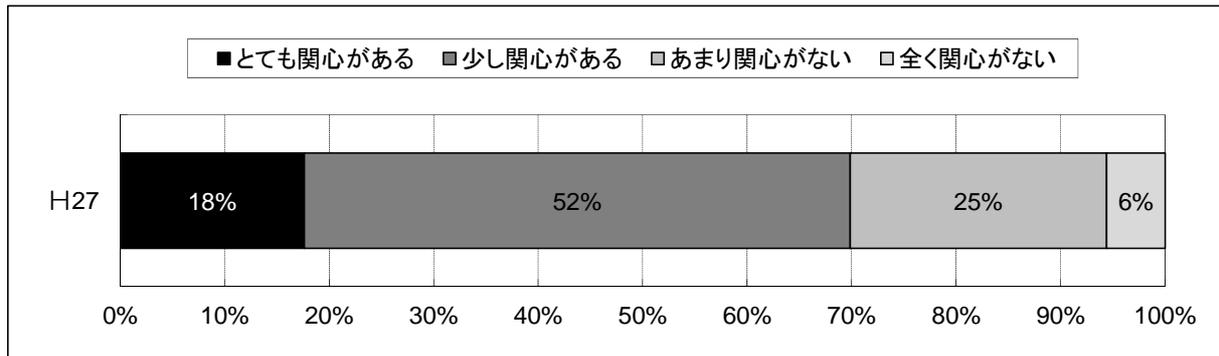


図 138 環境問題への関心

表 59 環境問題への関心

	H27 結果 (回答数)	H27 結果 (%)
1. とても関心がある	110	18%
2. 少し関心がある	326	52%
3. あまり関心がない	153	25%
4. 全く関心がない	35	6%
計(無回答を除く)	624	-
無回答	10	-

1.6.6 知りたい環境問題

もっと知りたいと思う環境問題は何ですか。(〇は3つまで)	
1. 地球温暖化(地球の気温が上がり、気候が変化すること)	6. 水質汚濁(海や川の水が汚されること)
2. オゾン層の破壊(地球を紫外線から守ってくれるオゾン層が破壊されること)	7. 土壌汚染(土や地下が汚されること)
3. 廃棄物の増加、ごみの不法投棄(多くのごみが出たり、捨ててはいけない場所にごみ捨てられること)	8. 騒音(道路や工場などのまわりがうるさいこと)
4. 自然環境の悪化(木々や植物が少なくなったり、生き物の種類が減ること)	9. 歴史・文化への配慮の不足(伝統ある歴史や文化が守られないこと)
5. 大気汚染(空気が汚されること)	10. その他

(1) 全体

「地球温暖化(地球の気温が上がり、気候が変化すること)」の割合が 54%と最も高い割合となっている。一方で、「土壌汚染(土や地下が汚されること)」の割合が 2%と最も低い割合となっている。

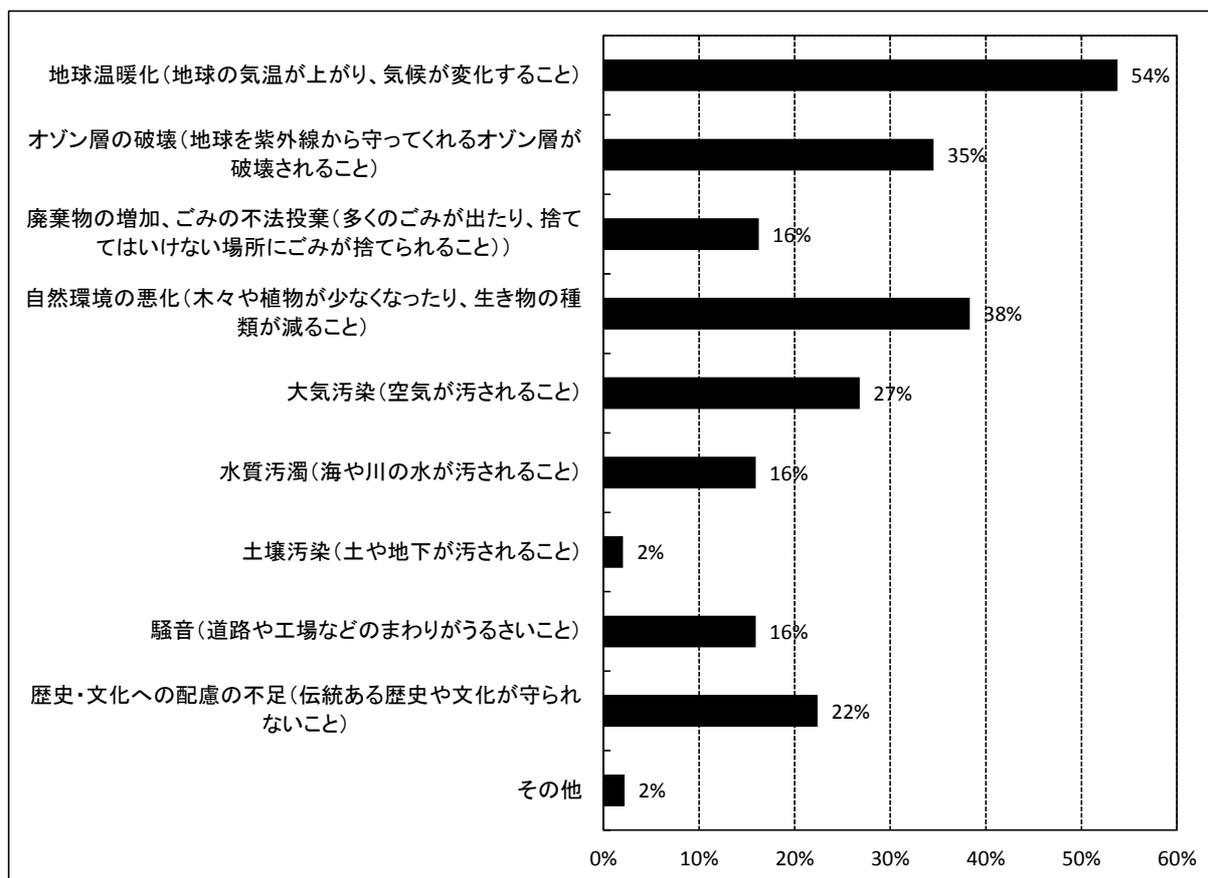


図 139 もっと知りたいと思う環境問題について

表 60 もっと知りたいと思う環境問題について

	H27 結果 (回答数)	H27 結果 (%)
1. 地球温暖化(地球の気温が上がり、気候が変化すること)	343	54%
2. オゾン層の破壊(地球を紫外線から守ってくれるオゾン層が破壊されること)	219	35%
3. 廃棄物の増加、ごみの不法投棄(多くのごみが出たり、捨ててはいけない場所にごみ捨てられること)	103	16%
4. 自然環境の悪化(木々や植物が少なくなったり、生き物の種類が減ること)	244	38%
5. 大気汚染(空気が汚されること)	171	27%
6. 水質汚濁(海や川の水が汚されること)	103	16%
7. 土壌汚染(土や地下が汚されること)	14	2%
8. 騒音(道路や工場などのまわりがうるさいこと)	101	16%
9. 歴史・文化への配慮の不足(伝統ある歴史や文化が守られないこと)	143	22%
10.その他	14	2%
計(無回答を除く)	1455	-
無回答	-	-

その他

- | |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・生態系のはかい ・放射能 |
|--|

1.6.7 環境問題に配慮した取組の状況

あなたが行っていることは何ですか。(〇はいくつでも)	
1. 節電(こまめにスイッチを切るなど)	4. マイバッグ持参(マイバッグを持って行き、レジ袋をもらわないなど)
2. 節水(水道やシャワーの水を出しっぱなしにしないで、こまめに止めるなど)	5. 動植物への配慮(生き物(動物や植物)を大切にしたり、育てたりしている。)
3. ごみの分別	6. 環境学習(環境に関するイベントに参加したり、本を読むなど)

(1) 全体

「節電(こまめにスイッチを切るなど)」の割合が71%と最も高い割合となっている。一方で、「環境学習(環境に関するイベントに参加したり、本を読むなど)」の割合が11%と最も低い割合となっている。

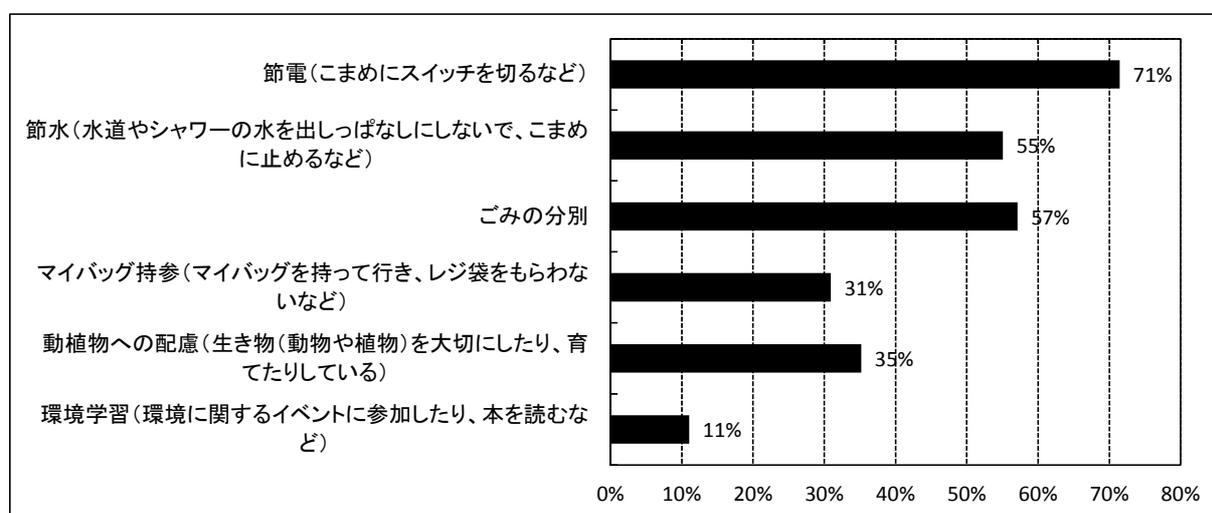


図 140 環境問題に配慮した取組について

表 61 環境問題に配慮した取組について

	H27 結果 (回答数)	H27 結果 (%)
1. 節電(こまめにスイッチを切るなど)	453	71%
2. 節水(水道やシャワーの水を出しっぱなしにしないで、こまめに止めるなど)	349	55%
3. ごみの分別	362	57%
4. マイバッグ持参(マイバッグを持って行き、レジ袋をもらわないなど)	196	31%
5. 動植物への配慮(生き物(動物や植物)を大切にしたり、育てたりしている。)	223	35%
6. 環境学習(環境に関するイベントに参加したり、本を読むなど)	70	11%
計(無回答を除く)	1653	-
無回答	-	-

1.6.8 あなたが希望する文京区の未来の環境について

あなたはどんな文京区の未来を希望しますか。(○は2つまで)	
1. 低炭素社会(省エネルギーや再生可能エネルギー(太陽の光や風の力など)の利用が進み、二酸化炭素の排出が少ない社会)	4. 快適・安全社会(きれいな空気や水、静かな環境などに囲まれた社会)
2. 循環型社会(ごみの発生が減り、使えるものを再使用し、資源のリサイクルが進んだ社会)	5. 歴史や文化を身近に感じられる社会
3. 自然共生社会(動物や植物を大事にし、人間と自然が共に生きる社会)	

(1) 全体

「快適・安全社会(きれいな空気や水、静かな環境などに囲まれた社会)」の割合が 55%と最も高い割合となっている。一方で、「歴史や文化を身近に感じられる社会」の割合が 11%と最も低い割合となっている。

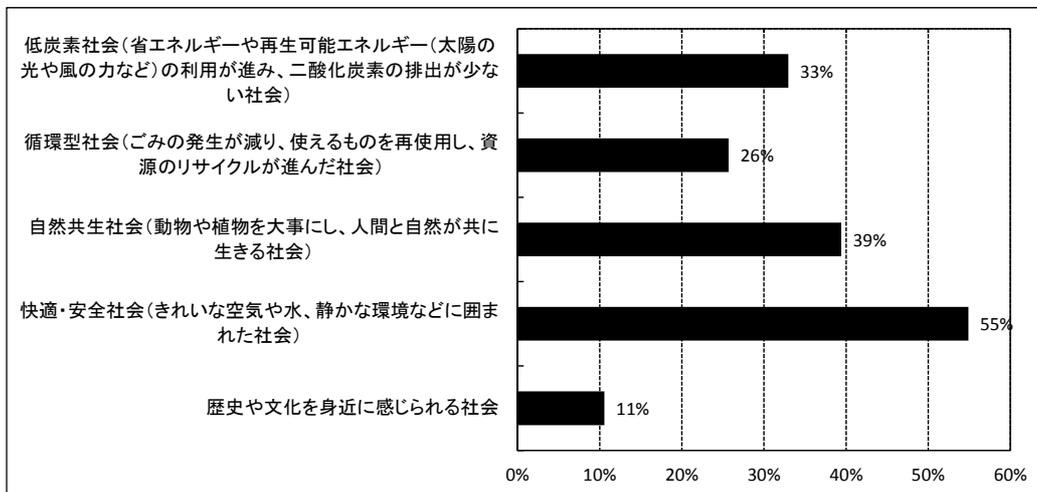


図 141 希望する文京区の未来の環境

表 62 希望する文京区の未来の環境

	H27 結果 (回答数)	H27 結果 (%)
1. 低炭素社会(省エネルギーや再生可能エネルギー(太陽の光や風の力など)の利用が進み、二酸化炭素の排出が少ない社会)	209	33%
2. 循環型社会(ごみの発生が減り、使えるものを再使用し、資源のリサイクルが進んだ社会)	163	26%
3. 自然共生社会(動物や植物を大事にし、人間と自然が共に生きる社会)	250	39%
4. 快適・安全社会(きれいな空気や水、静かな環境などに囲まれた社会)	348	55%
5. 歴史や文化を身近に感じられる社会	67	11%
計(無回答を除く)	1037	-
無回答	-	-